

第 16 章 東台遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみの駅の南約 1 km、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は狭山丘陵外縁に湧水を成し、武蔵野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は 24 ～ 26 m で砂川堀との比高差は約 5 m で急崖をなし、左岸が緩やかな傾斜を成すのとは対照的である。

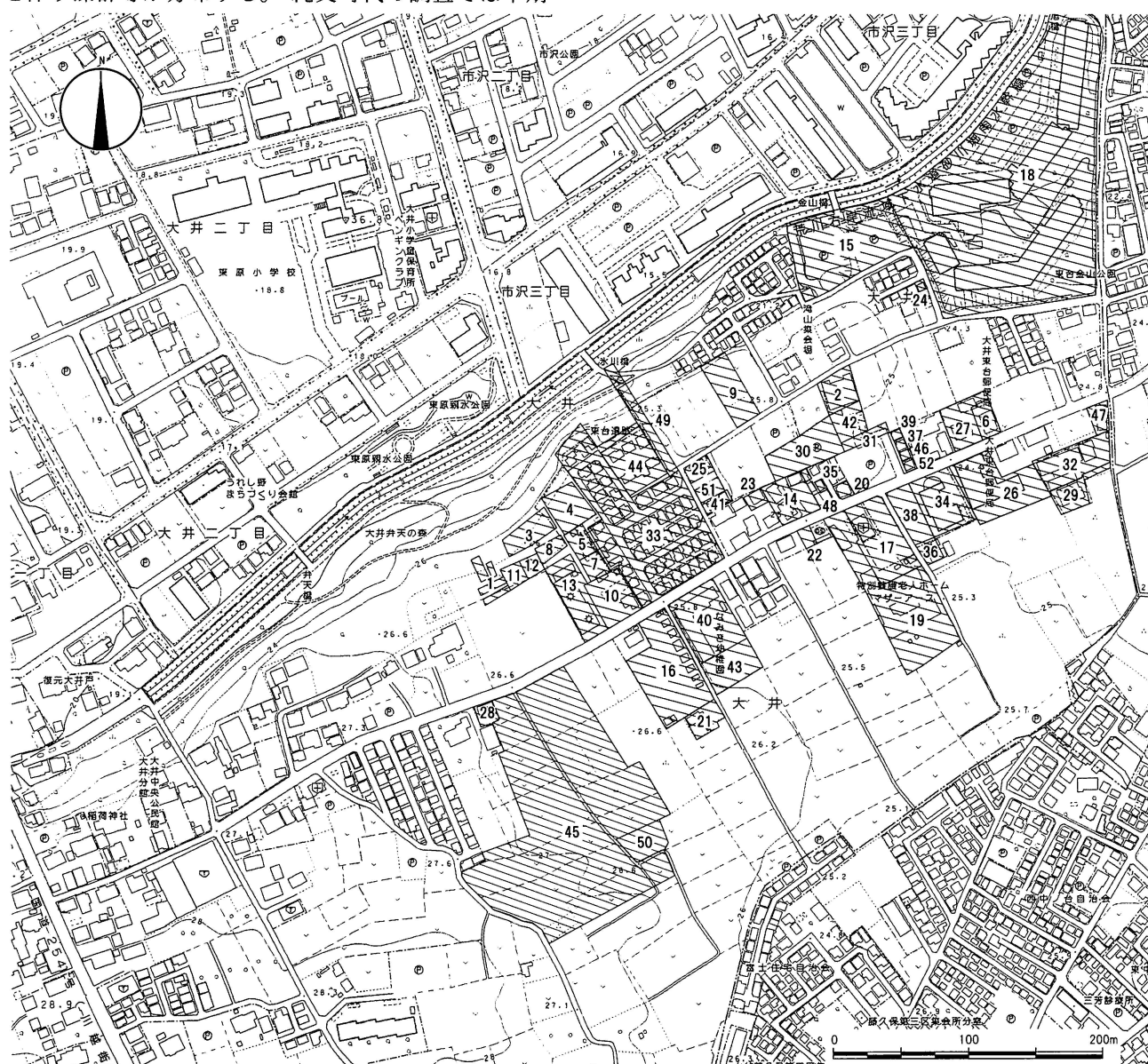
遺跡内には砂川堀に向かって小さな埋没谷が数本確認されている。遺跡の範囲は東西 700 m、南北 250 m、遺跡面積約 170,000 m²、市内で最大規模の遺跡であり、約 17% の 30,000 m² を調査している。

旧石器時代の調査では、第 18 地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いにⅥ・Ⅶ層～Ⅳ層下部のナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。縄文時代の調査では早期

1 軒、後期 7 軒、中期 146 軒、不明 24 軒の住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている（2010 年 3 月現在）。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武蔵野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第 15・18 地点で八世紀後半の製鉄炉や炭焼き窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約 50 m に大井戸上遺跡、西約 300 m に旧石器時代の西台遺跡が位置する。また砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代～近世の本村遺跡が位置する。今後旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡との関係が注目される。



第 112 図 東台遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第 113 図 東台遺跡遺構分布図 (1/2,000)

第 53 表 東台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 () は試掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井東台	1981.		町史編纂事業	遺構無し、縄文中期土器	
2	大井東台 640-7	1981.12.14 ~ 1982.2.13	667	宅地造成	縄文中期住居跡 12、旧石器時代石器	東部遺跡群Ⅲ
3	大井東台 672	1982.5.19 ~ 6.15	666	宅地造成	炉穴 7、土坑 2、柱穴群	東部遺跡群Ⅳ
4	大井東台 671	1982.6.17 ~ 11.18	587	農地転用	旧石器ユニット、縄文中期住居跡 3、後期住居跡 1、集石 4、土坑 14、溝	東部遺跡群Ⅳ
5	大井東台	1983.7.25 ~ 8.9	195	町史編纂事業	縄文中期住居跡 2、土坑 1	東台遺跡
6	大井東台	1984.1.9 ~ 1.12		宅地造成	縄文中期住居跡 1	
7	大井東台 670-2	1984.5.15 ~ 6.13		共同住宅	縄文中期住居跡 4、後期住居跡 1	
8	大井東台 672	1984.8.18 ~ 9.21	345	町史編纂事業	縄文中期住居跡 1、炉穴 2、土坑 14	東台遺跡Ⅱ
9	大井東台	1984.10.25 ~ 1985.2.15	1,000	駐車場造成	旧石器礫群、縄文中期住居跡 22、後期住居跡 1、炉穴、ピット群	大井町史資料Ⅰ
10	大井東台 670-1	1985.10.1 ~ 11.25	896	住宅建設	縄文中期住居跡 5、土坑 5	東部遺跡群Ⅵ
11	大井東台 673	1986.1.14 ~ 3.20	660	宅地造成	縄文中期住居跡 2、集石土坑 3、土坑 1、ピット	東部遺跡群Ⅵ
12	大井東台 673	1987.5.6 ~ 6.26	330	転地返し	縄文早期住居跡 1、土坑 18、平安時代住居跡 2、溝 1	東部遺跡群Ⅶ
13	大井東台 670-6	1988.1.14 ~ 2.27	971	倉庫建設	縄文中期住居跡 9、集石 1、土坑 9、ピット 20	東部遺跡群Ⅷ
14	大井東台 649-16 他	1988.1.27 ~ 2.24	735	住宅建設	縄文中期住居跡 12、屋外埋喪 1、集石土坑 1、土坑 8、ピット 38	東部遺跡群Ⅸ
15	大井市沢 577-1 他	(1989.10.17 ~ 11.10) 1989.11.17 ~ 1990.8.1	700	住宅建設	落とし穴 1、木炭窯 1、粘土探掘坑 2、奈良・平安土器	東部遺跡群Ⅹ
16	大井 713-4.5	(1990.8.1 ~ 4)	3,048	資材置場設置	縄文中期住居跡 1、土坑 1	東部遺跡群ⅩⅠ
17	大井 621-1	(1990.9.5 ~ 12) 1990.10.9 ~ 12.27	1,470	診療所建設	縄文中期住居跡 8、土坑 30、ピット 94、柵列	東部遺跡群ⅩⅠ
18	大井 529-1.588	(1991.3.11 ~ 5.20) 1992.2.24 ~ 1994.7.5	20,000	共同住宅	旧石器礫群、石器集中 17、落とし穴 1、整形製鉄炉 7、木炭窯 9、探掘坑 4、土坑 9、溝、柵列、道路跡、平安土器	東台製鉄遺跡
19	大井 621	(1992.5.31 ~ 6.7)	4,489	特養新設	縄文中期住居跡 8	町内遺跡群Ⅰ
20	大井 649-27	1992.1.30	5	個人住宅	縄文中期住居跡 1	町内遺跡群Ⅲ
21	大井 713-11.12	1992.3.7 ~ 11	299	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅲ
22	大井 651-6	(1994.5.10 ~ 11) 1994.5.30 ~ 7.30	146	店舗建設	縄文中期住居跡 6、土坑 1	調査会報告 13 集
23	大井 649-12.13	(1995.6.23 ~ 27)	285	個人住宅	縄文中期住居跡 2	町内遺跡群Ⅳ
24	大井 634-20	(1995.7.6)	58	個人住宅	縄文時代集石、土坑	町内遺跡群Ⅳ
25	大井 648-13.14	1995.10.22 ~ 12.16	296	個人住宅	縄文中期住居跡 5、後期住居跡 1、袋状土坑 1、土坑 10、ピット 6	町内遺跡群Ⅳ
26	大井東台 601-1.4.5	(1996.11.6 ~ 18) 1997.1.14 ~ 3.18	2,248	共同住宅	縄文中期住居跡 1、土坑 3、落とし穴 1、ピット 24	調査会報告 13 集
27	大井 600-1	(1997.2.19) 1997.2.19 ~ 3.14	965	個人住宅	縄文中期住居跡 1、炉穴 1、土坑 1、落とし穴 1、ピット 44	町内遺跡群Ⅵ
28	大井東台 710-4	(1997.3.17 ~ 19)	231	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅵ
29	大井東台 606-3	(1998.2.27 ~ 3.3) 1998.3.4 ~ 5	500	個人住宅	縄文早期炉穴 9、ピット 2	町内遺跡群Ⅶ
30	大井 640-1	(1998.11.4 ~ 12)	1,330	駐車場	縄文中期住居跡 1、屋外炉、ピット	町内遺跡群Ⅷ
31	大井 630-3.640-8	(1999.5.7 ~ 21)	186	道路築造	縄文中期住居跡 2	町内遺跡群Ⅸ
32	大井 603-1	(2000.8.4 ~ 9)	92	製茶工場	ピット 3	町内遺跡群Ⅹ
33	大井 662-1	(2000.8.4 ~ 8) 2000.8.10 ~ 2001.1.25	7,076	分譲住宅	石器群 4、礫群 4、縄文中期住居跡 30、後期住居跡 4、掘立柱建物跡 1、炉穴 14、集石土坑 4、他	町内遺跡群Ⅹ
34	大井東台 624-2	(2002.3.12 ~ 25) 2002.3.26 ~ 5.8	1,414	共同住宅	縄文中期住居跡 5、土坑 11、ピット 16	町内遺跡群ⅩⅠ
35	大井東台 649-31	(2001.9.6 ~ 8)	48	個人住宅	縄文中期住居跡 1	町内遺跡群ⅩⅠ
36	大井東台 614	(2001.10.15 ~ 11.2)	272	倉庫建設	ピット 5、土器片	町内遺跡群ⅩⅠ
37	大井東台 626-12	2001.10.12 ~ 11.5	100	個人住宅	縄文中期住居跡 2、ピット 1	町内遺跡群ⅩⅠ
38	大井東台 614-3	(2002.1.28 ~ 2.15)	787	駐車場	縄文中期住居跡 1、竪穴状遺構 1、集石土坑 2、土坑 2、ピット 2	町内遺跡群ⅩⅠ
39	大井 626-8	(2002.6.3 ~ 20)	100	個人住宅	ピット 3、縄文土器片、石屑	町内遺跡群ⅩⅡ
40	大井 661	(2003.10.6 ~ 11.4)	1,875	幼稚園	土坑 6、ピット 10、柵列	町内遺跡群ⅩⅡ
41	大井東台 648-4	(2004.5.11 ~ 14)	182	個人住宅	縄文中期住居跡 3、集石 1、土坑 1、屋外ピット 1	町内遺跡群ⅩⅡ
42	大井 640-4	(2004.9.7 ~ 17)	515	教会建築	縄文中期住居跡 2、落とし穴 1、土坑 3、ピット 20	町内遺跡群ⅩⅡ
43	大井東台 661-6	(2005.1.13)	964	駐車場	ピット 4	町内遺跡群ⅩⅡ
44	大井東台 664-15	2005.12.8 ~ 28	200	個人住宅	縄文中期住居跡 1、後期住居跡 2、土坑 5、ピット 9	市内遺跡群 2
45	大井東台 710-1 711-1.717-1.717-2	(2006.5.31 ~ 9.1) 2006.9.8 ~ 2007.3.7	7,971	小学校建設	縄文中期住居跡 1、後期住居 2、土坑 5、ピット 10	市内遺跡群 3
46	大井東台 626-11	(2006.9.4 ~ 6) 2006.9.15 ~ 28	100	個人住宅	縄文中期住居跡 2、集石 2、土坑 1	市内遺跡群 3
47	大井東台 602-4.602-5	(2006.9.19 ~ 20)	320	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡群 3
48	大井東台 649-21	(2007.1.16 ~ 26)	60	個人住宅	縄文中期住居跡 3	市内遺跡群 3
49	大井東台 646、647-1、 665	(2008.1.28 ~ 30、2.4 ~ 19) 2008.1.31 ~ 2.1	174	通学路築造	縄文時代中期～後期住居跡 1 検出・5 を確認、屋外埋喪 1、粘土探掘坑 1、土坑 1、ピット 1、溝 6	市内遺跡群 4
50	大井東台 716-1 の一部	2008.7.14 ~ 22	646	東台小学校 プール	遺構・遺物無し	市内遺跡群 6
51	大井東台 648-2	(2009.3.10 ~ 18) 2009.3.18 ~ 5.7	296	個人住宅	縄文時代中期住居跡 6、土坑 4、ピット 14、縄文土器、石器	市内遺跡群 6
52	大井東台 626-8.14	2009.5.12 ~ 19	100	分譲住宅	縄文時代中期住居跡 2 確認	未報告

第 54 表 東台遺跡住居跡一覽表 (單位 cm)

住居 番号	調査 率	平面形 ()は推定	規模	竪			埋 塀	拡 張	壁 溝	備考	時期	文献
				床 床	腰 窓	石 開						
1	80%	(円形)	(550×?)			○			有	○竹科系多い	EⅠ新	東Ⅲ
2	完備	(円形)	(400)	○						床まで削平	EⅠ古	東Ⅲ
3	80%	隅丸方形	(?×510)	○	○	○			○	大木系有り	EⅠ新古相	東Ⅲ
4	完備	隅丸方形	700×750	②						○拡張	EⅡ	東Ⅲ
5	完備	円形	460×470	○					○	床まで削平	EⅡ	東Ⅲ
6	完備	円形	420×430	○						床削平	EⅡ	東Ⅲ
7	完備	円形	510×525×25	②				○	○	竹科、連弧多い	EⅠ古	東Ⅲ
8	完備	隅丸方形	530×(465)×25	○					有	○7号に切られる	EⅠ新	東Ⅲ
9	50%	円形	約500	○						床削られる	EⅡ	東Ⅲ
10	完備	円形	410×400			○				掘丸	EⅠ新	東Ⅲ
11	完備	円形	410×420	○							EⅡ	東Ⅲ
12	20%	円形									EⅡ	東Ⅲ
13	完備	円形	300×270	○							EⅢ	資
14	完備	円形強凸	430×418	○			○	○	○		EⅠ新	資
15	完備	円形	514×520			○				連弧文多い	EⅡ古	資
16	完備	長円形	525×424	○						15号を切り、17号に切られる	EⅡ	資
17	完備	長円形、 円形	478×422			○		○	有	竹科系多い	EⅡ新	資
18	90%	円形	523	②					有	19号を切る	EⅠ新	資
19	完備	隅丸台	517	○	○	○			有	竹科系多い	EⅠ古	資
20	完備	長円形	658×583	○		○				21号を切る	EⅠ中	資
21	完備	隅丸台形	482×462			○				竹科系多い	EⅡ新	資
22	55%	円形?	切×292	○	○	○		○	有	○23号を切る	EⅡ	資
23	80%	長円形	622×約470						有	○竹科系多い	勝Ⅲ末	資
24	完備	長円形	東は区域外	○							EⅡ新	資
25	完備	長円形?	西南掘丸	○	○	○		○		24号に切られる	EⅡ	資
26											勝	資
27		長円形	部分発掘								時期不明	
28	完備	長円形	473×450	○	○	○					EⅡ新	資
29	完備	?	切×563	○	②		○	有		28号に切られる	EⅠ新	資
30	完備	長円形?	切×532							○31号に切られる	EⅡ	資
31	完備	長円形	618×472	○	○	○				○竹科系多い	勝Ⅲ新	資
32	完備	長円形	573×525	○						34号と複合	EⅡ	資
33	完備	橢圓形	?×520	○			③	○	○	32号に切られる	株古	資
34	完備	隅丸方形	720×628			○				○32号と複合	EⅠ	資
35	90%	長円形	510×540	○	○	○	○				EⅡ古	資
36	35%	円形	西半部不明	○		○	○			橢圓形?	EⅣ	資
37	完備	長円形	530×420×15		○	○	○	有		人口部に段	勝Ⅲ古	東Ⅲ
38	40%	隅丸方形	南半部未掘			○	○			○39号を切る	EⅠ新	東Ⅲ
39	15%	隅丸方形	大部分未掘			不明					EⅡ	東Ⅲ
40	35%	隅丸方形	南半部未掘	○					○		EⅠ新	東Ⅲ
41	完備	楕円形	480×390×20	○						44号に切られる	勝Ⅲ新	東Ⅲ
42	45%	不明	南部・東部未掘								EⅠ新	東Ⅲ
43	60%	長円形	650×600×60	②				有			EⅡ	東Ⅲ
44	完備	隅丸方形	550×(500)×20	○		○		有	○	41・47号を切る	EⅠ新	東Ⅲ
45	完備	長楕円形	740×600×25	③				有		44号に接する、 2号以上拡張	EⅡ	東Ⅲ
46	完備	楕円形	400×380×10	○						45号に切られる	E	東Ⅲ
47	30%	円形	300×未掘×25							44号に切られる	阿Ⅱ	東Ⅲ
48	20%	隅丸方形	南大部分未掘					○			EⅠ新	東Ⅲ
49	完備	円形	560×550×30		○	○					EⅡ	東Ⅲ
50	完備	長円形	420×380×30								阿Ⅱ	東Ⅲ
51	完備	円形	330×310×30							柱穴なし	阿Ⅱ	東Ⅲ
52	完備	円形	495×490×50	○	○	○		有			勝Ⅱ	東Ⅲ
53	完備	円形	340×310×30	○						8号土坑で壊れる	勝Ⅱ	東Ⅲ
54	40%	円形	?×460×65	○	○	○		○	有		EⅠ古	東Ⅲ
55	70%	(円形)	半掘550	○					有		阿Ⅱ	東Ⅲ
56	60%	(円形)	(480)×半掘	○	○	○					EⅢ	東Ⅲ
57	完備	円形	600×600				②				EⅡ	
58	完備	楕円形	520×420					○	○		勝Ⅲ末	
59	50%	(楕円形)	560×半掘					○	○		EⅠ新	
60	完備	円形	520×510					○	有		EⅠ新	
61	50%	(円形)	1/2調査								EⅡ	
62	25%	(楕円形)	1/4調査		○	○				北大部分未発掘	EⅠ古	
63	45%		一部調査	未掘		②	有	○			EⅠ古	
64	70%	(楕円形)	453×(408)×22			○				65、67住と複合	EⅢ	調Ⅲ集
65	55%	(楕円形)	502×不明×22					有	○	△北に複合、東半未発掘	EⅠ古	調Ⅲ集
66	完備	(楕円形)	(668×560)×48	○	○	○	○	○			EⅠ新古相	調Ⅲ集
67	完備	隅丸方形	667×590×72		○				有	○拡張、64住と複合	EⅠ古	調Ⅲ集
68	20%	(楕円形)	(480)×不明×47	未掘						北大部分未発掘	不明	調Ⅲ集
69	75%	(楕円形)	(580)×不明×50			○		有	○	○拡張、南部分未発掘	EⅡ	調Ⅲ集
70	90%	円形	570×(510)×30				○	○	有		EⅡ中相	町Ⅳ
71	完備	(楕円形)	440×410×16		○			有			勝Ⅲ新	町Ⅳ
72	15%	隅丸(長)方形	(480)×?	未掘					○	西大部分未発掘	EⅠ新	町Ⅳ
73	完備	楕円形	606×550×30	○			②	有		伏襲行、75住と重なる	EⅡ中相	町Ⅳ
74	完備	(楕円形)	612×514×40					有			勝Ⅲ古相	町Ⅳ
75	70%	橢圓形	(590)×?							73住・8号土坑と重なる	堀	町Ⅳ
76	完備	楕円形	391×366	○	○	○					EⅡ新	調Ⅲ集
77	完備	隅丸六角形	595×480×24	○	○	○					EⅡ	町Ⅵ
78	40%	不明	不明			○	○			床まで削平	EⅡ新相	町Ⅳ
79	40%	不明	不明	未掘							不明	町Ⅳ
80	20%	不明	不明	未掘							不明	町Ⅳ
81	40%	不明	不明	○							不明	町Ⅳ
82	65%	(円形)	(546)×?					有	○	○貫系統土器多し	EⅠ新古相	町Ⅳ
83	30%	(楕円形)	410×310×35		○					覆土内に土坑	勝Ⅱ	町Ⅳ、市Ⅲ
84	30%	(楕円形)	不明(南大部分未掘)	○						掘丸でかのみ検出	不明	町Ⅳ
85	完備	楕円形	530×476	○							不明	調Ⅲ集
86	完備	円形	464×492	○	○	○				○竹科多し	EⅡ古	調Ⅲ集
87	完備	橢圓形	415×552	○			②				田原、EV	調Ⅲ集
88	完備	不明	(465×380)	○		○				床削平	EⅢ	調Ⅲ集
89	完備	不明	(335×315)	○						削平	阿Ⅱ古	調Ⅲ集
90	30%	不明	(190×60×10)	未掘							町Ⅳ	

住居 番号	調査 年	平面形 () は推定	規模	か			埋 費	拡 張	壁 溝	備考	時期	文献		
				地盤	増設	石砌								
91	25%	(円形)	(200 × 170)	○					○	床面まで削平され、92 住に切られる		町XII		
92	25%	(円形)	(330 × 260 × 20)						○		跡未	町XII		
93		不明	(700)	○					○	床面まで削平される		町XII		
94	33%	隅丸方形	(370 × 180 × 10)									町XII		
95	50%	(円形)	(504 × 423)							96・97 住と複合		市 2		
96		円形	(560 × 555)							95・97 住と複合		市 2		
97		不明	不明							95・96 住と複合		市 2		
98	60%	(隅丸方形)	(7 × 610) × 35	○			△	有	○	覆土内に集石	E II 新	市 3		
99	10%	(楕円形)	(7) × 18			未掘				170 住より新、100 住より古	E II	市 3		
100	25%	(楕円形)	(7) × 12			未掘				99・170 住を埋める	E II	市 3		
101	完掘	円形	695 × 600								E I 新	東 IV		
102	完掘	円形	480 × 460	○							堀 I	東 IV		
103	完掘	隅丸方形	700 × 615	○						石籠付土器多い	E I 新	東 IV		
104	50%	円形	500 × 500			○					E I 新古相	東 IV		
105	完掘	楕円形	460 × 430			○		○		竹根系多い	E I 新古相	史 30 集		
106	完掘	円形	450 × 410								E II 古	史 30 集		
107	完掘	楕円形	380 × 390	○							E II 新	資		
108	完掘	長円形	395 × 325	○							E IV	資		
109		楕円形												
110	完掘	円形	406 × 406	○						北関東系有り	E I 新	資		
111	完掘	隅丸長方形	486 × 437	○				○			E I 新	資		
112	完掘	円形	約 420 × 408								E II	資		
113	完掘	隅丸方形	450 × 460	○		○		○		竹根系多い	E I 新	東台 II		
114	完掘	長円形	510 × 450								跡未	東 VI		
115	完掘	長円形	545 × 495	○							跡未～E I	東 VI		
116	完掘	長円形	575 × 520	○							E I 未	東 VI		
117	完掘	楕円形?	(640) × 590	○					有	○	入口有り	E IV	東 VI	
118	80%	隅丸方形	450 × 410 ~ 420	○				○	有	○		E I	東 VI、VII	
119	完掘	円形	770 × 750							120 住と重複	E II	東 VI、VII		
120	完掘	楕円形	390 × (750)	土器・石割材	○			有	○	竈、埋設 3	E IV	東 VI、VII		
121	完掘	長方形	530 × 430						有	○	北カマド・東カマド	平安	東 VII	
122	完掘	方形	400 × 370							○	東カマド、碁石土器 竈・竈穴	平安	東 VII	
123	完掘	円形	365 × 350						有					
124	完掘	正円形	465 × 455 × 7	○							E II	東 VII		
125	完掘	楕円形	420 × 370			○					阿 II	東 VII		
126	完掘	楕円形	465 × 420					○				E I 新	東 VII	
127	完掘	長楕円形	565 × 485 × 10	○					有	○		E I 新	東 VII	
128	完掘	隅丸方形	510 × 480	○		○		○	有	○	129 住に切られる	E I 新	東 VII	
129	完掘	隅丸方形	560 × 530	○							○	E II	東 VII	
130	70%	楕円形	540 × 510 × 20	○					有	○		E I 新	東 VII	
131	完掘	不整円形	600 × 580	○		○						E I	東 VII	
132	完掘	隅丸方形	494 × (480)	○					有	○	複合著しい	E I 新	調 17 集	
133	完掘	隅丸方形	580 × 520	○					有	○	円盤、耳栓	E I 新古相	調 17 集	
134	70%	隅丸方形	(434 × 344)	○					有	○		E I 古	調 17 集	
135	完掘	長円形	532 × 452	○								E II	調 17 集	
136	完掘	楕円形	460 × 396			○			有	○		E I 新	調 17 集	
137	完掘	不整形	(836 × 820)	○					有		粘土	調 17 集		
138	完掘	不明	470 × 490	○		○				139 住と複合	跡 II 新	調 17 集		
139	完掘	楕円形	556 × 566	○			○	○		138 住と複合、土製品	E IV	調 17 集		
140	完掘	隅丸方形	372 × 340	○				○			跡 II 未	調 17 集		
141	完掘	(楕円形)	(536 × 512)	○		○				西部 155 住と複合	跡 II	調 17 集		
142	完掘	楕円形	414 × 396			○	○				E 最古	調 17 集		
143	完掘	楕円形	446 × 340	○		○		○	有	○	E I	調 17 集		
144	完掘	隅丸方形	520 × 556	○				2 回	○	複合か	E I 新古相	調 17 集		
145	完掘	楕円形	536 × 448					2 回	○	か内(北関東加賀)	E I 新古相	調 17 集		
146	完掘	(隅丸方形)	(526 × 454)	○					有		E I 新古相	調 17 集		
147	95%	楕円形	564 × 560			○		3 回	○		E I 新古相	調 17 集		
148	35%	不明	436 × ?			未掘			有		E I 新古相	調 17 集		
149	完掘	楕円形	388 × 410			○					E II	調 17 集		
150	65%	(楕円形)	632 × ?	○						151 住と複合、 埋溝、土器多い	E II 新相	調 17 集		
151	40%	(隅丸方形)	(508 × ?)	○		○		○	有	○	150 住と複合	E I 新相	調 17 集	
152	完掘	(楕円形)	556 × 500	○	○	○		○	有	○	か内土器	E 最古	調 17 集	
153	完掘	(楕円形)	(616 × 544)			○			有		跡 II	調 17 集		
154	60%	(隅丸方形)	(364 × 544)	○					有		E II 古相	調 17 集		
155	完掘	楕円形	670 × 708					○	有		141 住と複合、竪形土器、土三	E 古	調 17 集	
156	完掘	楕円形	366 × 304						有			E I 新	調 17 集	
157	完掘	楕円形	530 × 526	○				○	有	○		E I 新新相	調 17 集	
158	完掘	楕円形	372 × 438	○		○			有			E I 新古相	調 17 集	
159	完掘	(楕円形?)	(686 × 530)											
160	完掘	(楕円形)	(488 × 484)								跡 II 新	調 17 集		
161	完掘	隅丸方形	504 × 514	○		○			有	○	床直ミニチュア土器 2 個	E II 新、跡 II	調 17 集	
162	完掘	楕円形	不明	○				IR		削平	E IV、跡 II	調 17 集		
163	30%	(隅丸方形)	(216) × 288								E II	調 17 集		
164	60%	(円形)	(566 × 416)	○							E II 新相	調 17 集		
165	40%	不明	(350 × 496)	○							E 堀	調 17 集		
166	完掘	不明	(300 ? × 250 ?)	○							不明	未報告		
167	70%	不明	(400 ? × ?)	○							不明	未報告		
168	完掘	不明	(300 ? × 300 ?)	○							不明	未報告		
169	完掘	不明	(270 ? × 270 ?)	○							不明	未報告		
170	10%	不明	(?) × 10								不明	市 3		
171	50%	楕円形	(450)	○						部分発掘、保存	不明	市 4		
172	トレンチ	不明	(510)			未検出				173 住より新しい、未調査、保存	不明	市 4		
173	トレンチ	不明	不明			未検出				172 住より古い、未調査、保存	不明	市 4		
174	トレンチ	不明	(630)			未検出				173 住より新しい、未調査、保存	不明	市 4		
175	トレンチ	不明	(690)			未検出				未調査、保存	不明	市 4		
176	トレンチ	不明	(460)			未検出				未調査、保存	不明	市 4		
177	10%	(楕円形)	(330) × 405 × 27			○				部分発掘、保存、182 住より旧	跡未	市 6		
178	50%	(円形)	430 × (235) × 49				○			181 住より新	加 E II	市 6		
179	60%	(円形)	(385) × (225) × 31	○		○					加 E II	市 6		
180	完掘	楕円形	482 × 440 × 42	○							跡未	市 6		
181	50%	不明	不明						○	○	178 住より旧	加 E II	市 6	
182	10%	円形	410 × 362 × 23	○						部分発掘、保存、 177 住より新	跡 II	市 6		

湖 = 上井町遺跡調査会 資 = 上井町中資料組 山 = 上井町中材 東 = 東部遺跡群 町 = 町内遺跡群 市 = 市内遺跡群

Ⅲ 東台遺跡第51地点

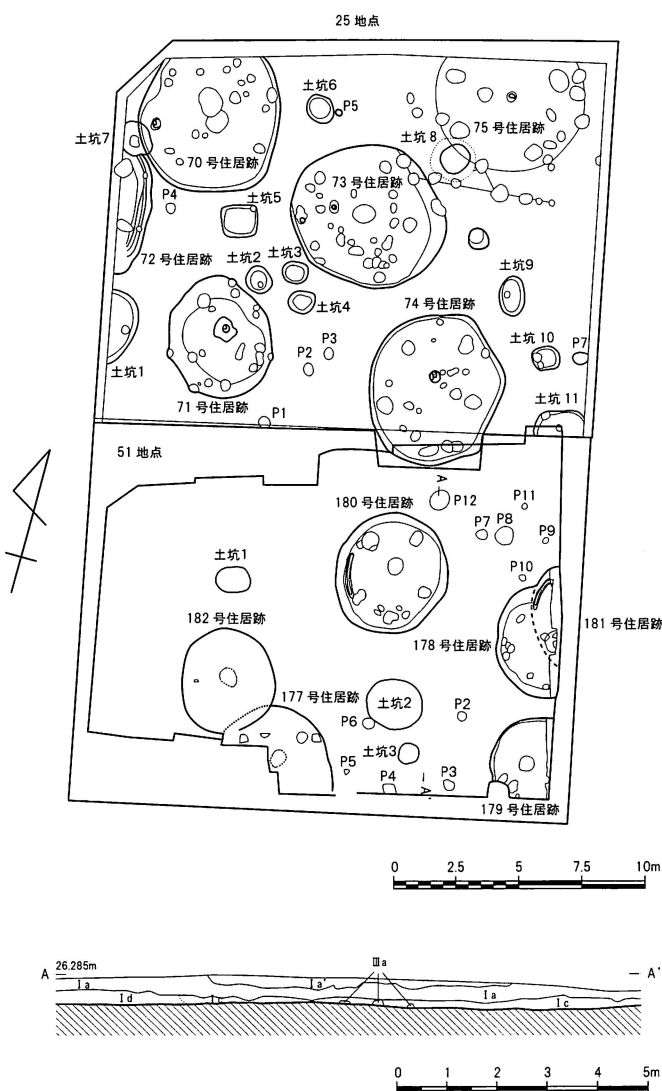
(1) 調査の概要

調査は個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より2009年2月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地し、隣接地では縄文時代の住居跡等多数検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は2009年3月10日から同年3月18日まで行なった。幅約2mのトレンチを4本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なっ

たところ、縄文時代の遺構・遺物を確認した。遺構確認面まで40～50cmと浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、住宅建設部分については本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。

本調査は2009年3月18日から同年5月7日まで、試掘調査で確認した遺構の場所を重機で表土除去後、調査を行なった。調査の結果、縄文時代の住居跡6軒、土坑、ピットを検出した。写真撮影・全測図作成・平板および遣り方測量による遺構図面作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。



トレンチ

I a. 黒褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、ローム粒2mm以下少し、色調やや灰色味あり、部分的に炭化物・ロームブロックを含む

I a'. I aよりロームブロック多く含む

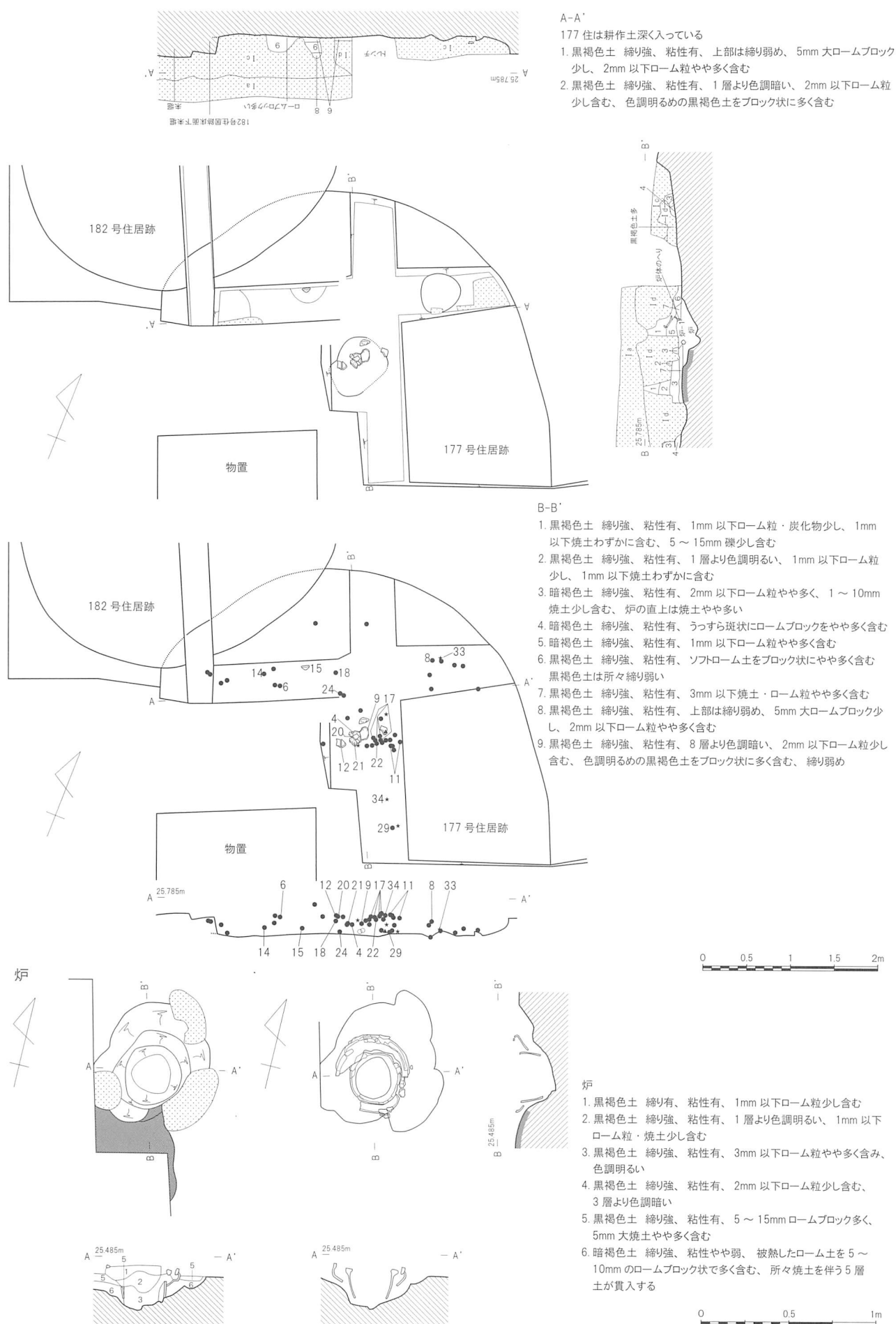
I b. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、30mm以下ロームブロック多量、100mm以下硬質の黒褐色土ブロックを少し含む

I c. 黒褐色土 締り強、粘性有、30mm以下ロームブロックをやや多く含む

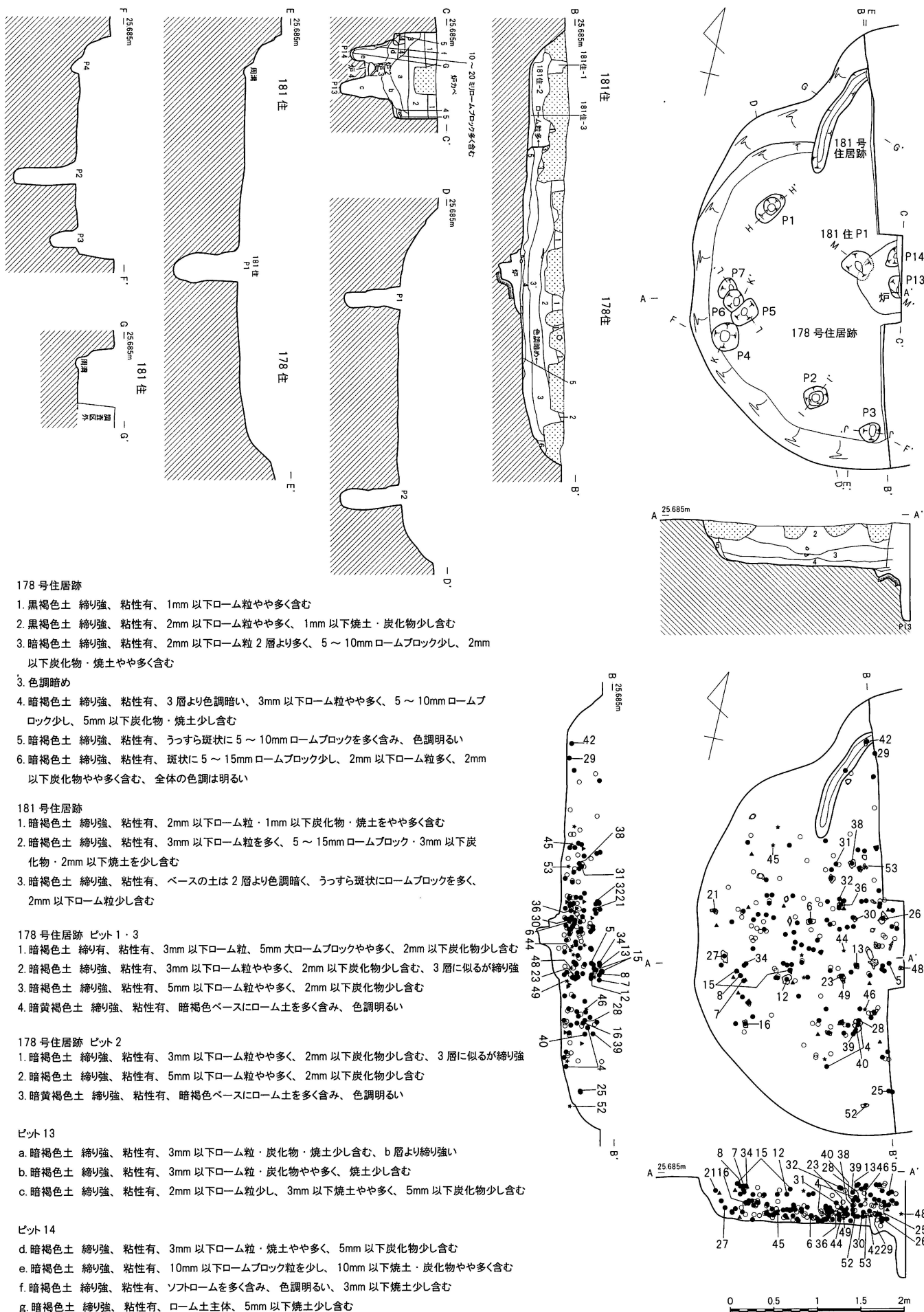
I d. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し、10mm以下炭化物・礫少し含む、住居跡付近は暗褐色土ブロック20mm以下含む

III a. 暗褐色土 地山漸移層

第115図 東台遺跡第51地点遺構配置図(1/300)、土層図(1/150)



第 116 図 東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)、炉 (1/30)

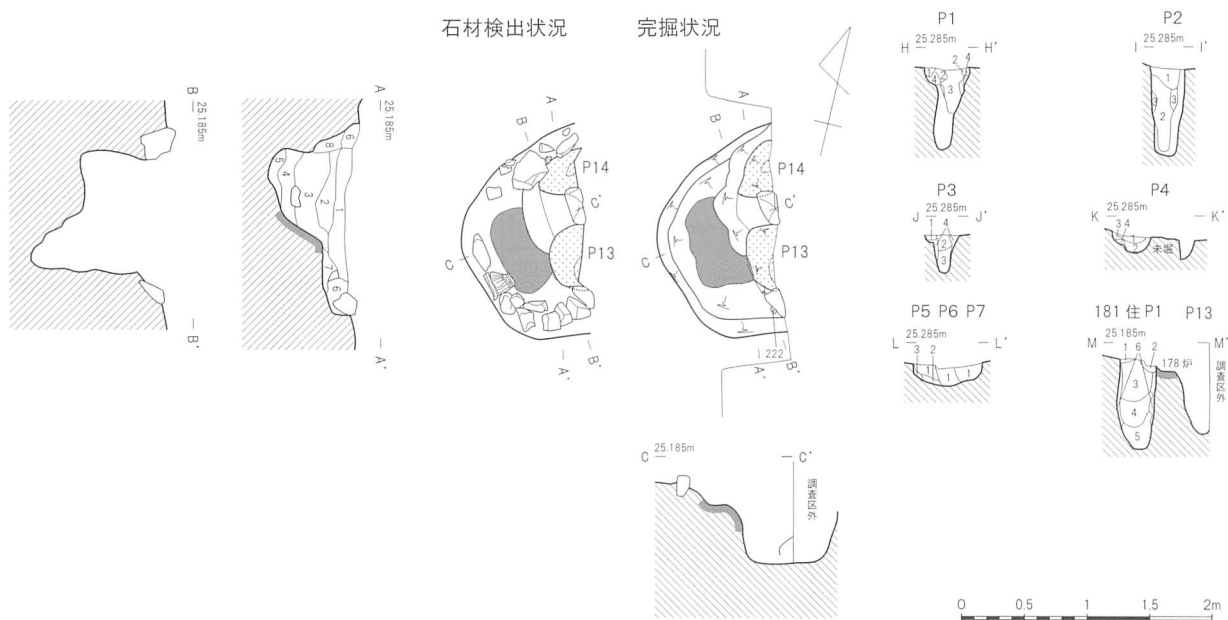


第 117 図 東台遺跡第 51 地点 178・181 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)

炉

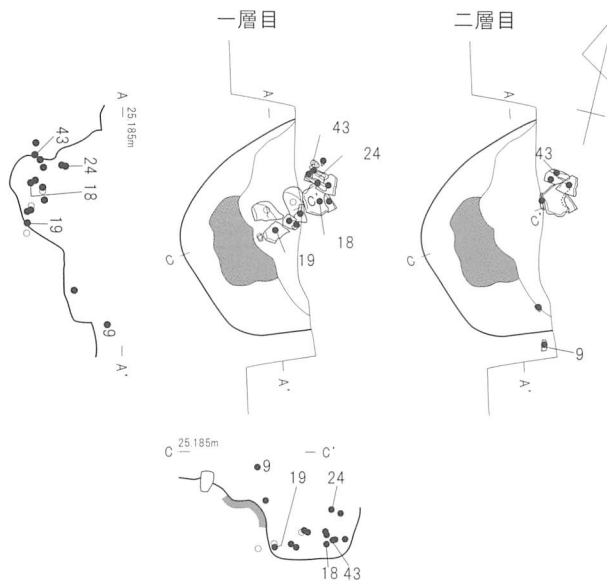
石材検出状況

完掘状況



一層目

二層目



178 号住居跡 石囲い炉

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒・焼土をやや多く、炭化物少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、しみ状の黒褐色土、5mm 以下焼土やや多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下焼土多く、炭化物少し含む、被熱したローム粒も多く含み、黄褐色味を呈する
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、10mm 大焼土ブロック少し、2mm 以下焼土・ローム粒やや多く含む（炭化物のような色調）
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒多く、焼土やや多く含む
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒・焼土やや多く、炭化物少し含む、1 層に比べ締り強い、石材を支える土
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒、3 ～ 10mm 赤褐色土を多く含むやや黒色味がある
8. 黒褐色土 5mm 以下焼土やや多く含む、2mm 以下ローム粒少し含む

178 号住居跡 ビット 4

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、1mm 以下炭化物・焼土少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、暗褐色土ベースで、斑状に 50mm 以下ロームブロック多く含む

178 号住居跡 ビット 5

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、斑状にローム土やや多く、15mm 大礫少し含む
3. 暗黄褐色土 締り強、粘性有、暗褐色土ベースに 15mm 以下ロームブロック多く含む

178 号住居跡 ビット 6

1. P1 の 3 層に似る（色調暗い）

178 号住居跡 ビット 7

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、5 ～ 20mm ロームブロック多く含む

181 号住居跡 ビット 1

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土を含み、色調明るい、2mm 以下ローム粒多く、焼土・炭化物少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土を含み、色調明るい、3 ～ 10mm 焼土少し含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒・5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、3 層より色調暗め、3mm 以下ローム粒やや多く含む

第 118 図 東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡炉（1/30）、ビット（1/60）

(2) 遺構と遺物

【177 号住居跡】調査区南端に位置し、東台遺跡縄文集落全体の分布では中央部環状集落の西側に位置する。北側で 176 号住居跡と重複するが、本住居跡埋没後に 176 号住居を構築している。

家屋の建築予定地外のため本調査をせず、プラン確認後、深さや炉の位置確認のため幅 30cm のサブトレントを十字に設定して調査した。

住居全体の 1/3 ～ 1/2 程度の検出で、南側は調査区域外である。平面形態は楕円形を呈すると思われる。東西 405 cm、確認面からの深さ 27 cm である。

炉は住居の中央やや北寄りに位置し、平面形態は楕円形である。炉は北側に土器を二重に埋設して土器囲い炉とし、南側は火床面で僅かにくぼみ、焼けて赤化している。炉体土器は内側に深鉢、外側に浅鉢を使用している。

床面は比較的硬く平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。径 40 ～ 50 cm のピットプランを 3 カ所検出した。

出土遺物は点上げ遺物、一括遺物の総計 701 点中、土器 495 点、石器 15 点、礫 191 点である。時期の明確な破片では中期前半が 67 点で最も多い。

時期は炉体土器から勝坂末期である。

【178 号住居跡】調査区東端に位置し、東台遺跡縄文集落全体の分布では中央部環状集落の西側に位置する。北側で 181 号住居跡と重複するが、181 号住居埋没後に本住居を構築している。

住居全体の 1/2 程度の検出で、東側は調査区域外である。平面形態は楕円形を呈すると思われる。南北 430 cm、確認面からの深さ 49 cm である。

炉は住居のほぼ中央に位置し、平面形態は楕円形である。炉は石囲い炉で、中央の火床面は深く窪み、焼けて赤化している。礫は炉の西側で 18 点検出したが、東側は新しいピットの P13、14 により壊れているため残っていない。また、炉は 181 号住居跡の柱穴と思われるピットの埋没後に構築している。

ピットは 7 基検出し、P1 と P2 が主柱穴と思われる。

床面は比較的硬く平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。

遺物は細片が多く、住居全体に出土する。点上げ遺物、一括遺物の総計 1,716 点中、土器 902 点、石器 54 点、礫 760 点である。時期の明確な破片では中期後半が 76 点で最も多い。

時期は出土遺物から加曾利 E II 式期である。

第 56 表 東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	楕円形	39 × 23	8 × 8	67	主柱穴
P2	隅丸長方形	38 × 23	8 × 8	77	主柱穴
P3	楕円形	25 × 20	14 × 7	34	主柱穴
P4	円形	33 × 31	12 × 10	15	主柱穴、P11 より新
P5	楕円形	32 × 20	9 × 7	23	P6・7 より旧
P6	円形	24 × 22	11 × 7	26	P7 より旧、P5 より新
P7	円形	23 × 22	7 × 5	18	P5・6 より新

【179 号住居跡】調査区中央に位置し、東台遺跡縄文集落全体の分布では中央部環状集落の西側に位置する。

住居全体の 2/3 程度の検出で、南東側は調査区域外である。平面形態は円形を呈すると思われる。確認面からの深さ 31 cm である。

炉は住居の中央あたりに位置し、平面形態は隅丸方形である。炉は幅 5 cm 程度の輪状の窪みが認められ、礫 3 点が残っていることから、本来は石囲い炉で、礫が抜き取られたと思われる。中央の火床面は浅く窪み、焼けて赤化している。

第 57 表 東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡ピット一覧表 (単位 cm)

No.	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	楕円形	40 × 29	13 × 9	22	
P2	楕円形	45 × 30	15 × 12	30	
P3	楕円形	21 × 16	5 × 5	16	

ピットは 3 基検出した。床面は比較的硬く平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。

出土遺物は点上げ遺物、一括遺物の総計 568 点中、土器 275 点、石器 11 点、礫 282 点で、礫が多い。時期の明確な破片では中期後半が 10 点で最も多い。

時期は出土遺物から加曾利 E II 式期である。

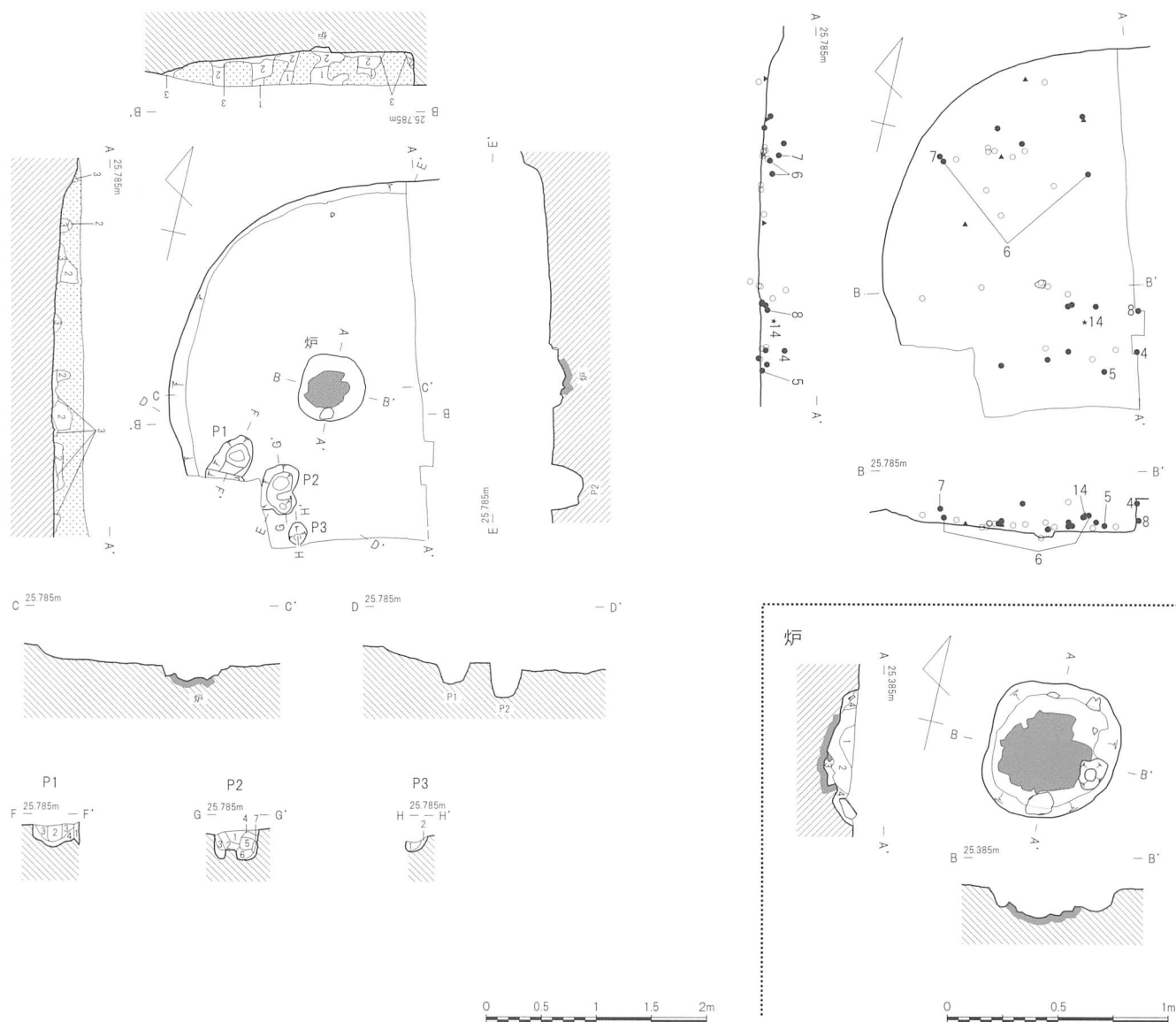
【180 号住居跡】調査区南東端に位置し、東台遺跡縄文集落全体の分布では中央部環状集落の西側に位置する。

平面形態は楕円形を呈し、長軸 482cm、短軸 440cm、確認面からの深さ 42 cm である。

炉は住居の中央やや北寄りに位置し、平面形態は楕円形である。炉は中央に土器を埋設する土器囲い炉である。土器の東側には土器破片が残り、埋設土器が二重になっている。お土器外側の地面は、被熱し硬化している。

周溝は南西部の P4 ～ P5 の間にのみある。

ピットは 12 基検出した。P1 ～ P5 が主柱穴で、P11 も P4 より古い主柱穴である。柱穴間は 150 ～



179 号住居跡

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、3mm 以下焼土わずかに含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、1 層より色調暗く、2mm 以下ローム粒少し、2mm 以下焼土・炭化物わずかに含む、炉の直上は 3mm 以下焼土やや多い
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状に 15mm 以下ロームブロックをやや多く含む、3mm 以下ローム粒やや多く、2mm 以下炭化物わずかに含む

ピット 1

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む、2 層より色調暗い
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒少し、1mm 以下炭化物・焼土わずかに含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、20mm 以下ロームブロック多く含む、色調明るい

ピット 2

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒・5mm 大ハードロームブロック少し含む、2mm 以下焼土わずかに含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状に 20mm 大ロームブロック多く、1mm 以下焼土・炭化物少し含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、(色調明るめ) 1mm 以下ローム粒・炭化物少し含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、柱痕か、5 ~ 20mm ハードロームブロック少し、1mm 以下ローム粒少し含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、柱痕か、うっすら斑状にロームブロックを多く、2mm 以下ローム粒少し含む
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土を多く含む、色調明るい

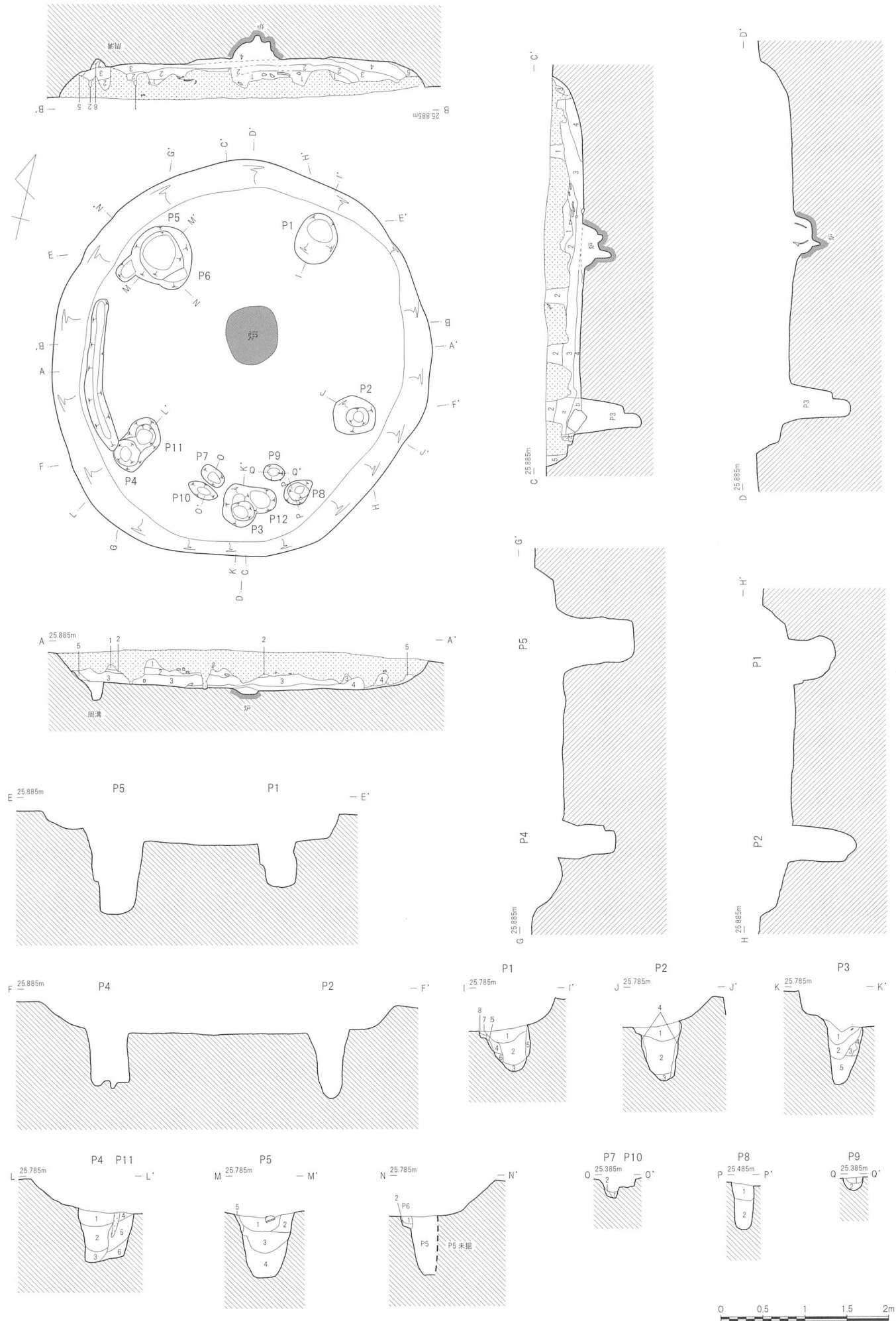
ピット 3

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒・5mm 大ハードロームブロック少し含む、2mm 以下焼土わずかに含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状に 20mm 大ロームブロック多く、1mm 以下焼土・炭化物少し含む

炉

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下焼土やや多く、2mm 以下炭化物少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下焼土多く含む (10mm 大焼土ブロック少し)
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、色調赤褐色味あり、5mm 以下焼土多く含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む、60 ~ 110mm 円礫伴う

第 119 図 東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡・遺物出土状況図 (1/60)、炉 (1/30)



第 120 図 東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡 (1/60)

180 号住居跡

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し、3mm 以下炭化物やや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒をやや多く含む、1 層より色調明るい、2mm 以下炭化物やや多く含む、南半に 2mm 焼土少し含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒をやや多く含む、3mm 以下炭化物少し含む（遺物は上層より少なめ）、西半下部に 15 ～ 20mm ロームブロック少し含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒やや多く（3 層より少）、下部に 5 ～ 15mm ロームブロックやや多く混ざる、3mm 以下炭化物少し含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にロームブロックを多く含む、色調 4 層より明るい、2mm 以下ローム粒も含む
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒、3mm 以下焼土多く含む
- a. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒多く、2mm 以下炭化物・焼土少し含む
- b. 黒褐色土 締り強、粘性有、a 層より黒色味強い、平均 2mm 以下ローム粒多く含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、10mm ロームブロック少し、3mm 以下ローム粒多量
8. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多量（主体）

ビット 1・2

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒を多く、5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
2. 暗褐色土（色調暗い）締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒をやや多く、2mm 以下炭化物、5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
3. 暗褐色土（色調暗い）締り強、粘性有、斑状にソフト質の暗褐色ロームブロックをやや多く含む、2mm 以下ローム粒少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状に暗褐色土を多く含む、色調明るめ、2mm 以下ローム粒少し含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、5 ～ 10mm ロームブロックをやや多く含む、色調明るめ、2mm 以下ローム粒少し含む
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、色調暗いロームブロック主体、3mm 以下明黄褐色ローム粒少し含む
7. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒多く（1 層より多）含む、色調明るめ
8. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム粒を多く含む色調明るめ、2mm 以下ローム粒多く含む

ビット 3

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒多く、1 ～ 3mm 焼土・炭化物少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒を多く、5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、斑状にソフト質の暗褐色ロームブロックをやや多く含む、2mm 以下ローム粒少し含む
4. 暗褐色土（色調暗い）締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒をやや多く、2mm 以下炭化物、5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
5. 暗褐色土（色調暗い）締り強、粘性有、斑状にソフト質の暗褐色ロームブロックをやや多く含む、2mm 以下ローム粒少し含む

ビット 4

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒を多く、5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
2. 暗褐色土（色調暗い）締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒をやや多く、2mm 以下炭化物、5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
3. 暗褐色土（色調暗い）締り強、粘性有、斑状にソフト質の暗褐色ロームブロックをやや多く含む、2mm 以下ローム粒少し含む
4. ビット 1 ～ 7 層に似るが、1mm 以下焼土少し含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状に暗褐色土を多く含む、色調明るめ、2mm 以下ローム粒少し含む
6. 暗褐色土 締り強、粘性有、15mm 以下ロームブロック少し含む、地山？

ビット 5

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒を多く、5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒多く、10mm 大ロームブロック少し含む
3. 暗褐色土（色調暗い）締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒をやや多く、2mm 以下炭化物、5 ～ 10mm ロームブロック少し含む
4. 暗褐色土（色調暗い）締り強、粘性有、斑状にソフト質の暗褐色ロームブロックをやや多く含む、2mm 以下ローム粒少し含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒多く（1 層より多）含む、色調明るめ

ビット 6

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く含む、硬い
2. 黄褐色土 締り強、粘性有、ローム主体、2mm 以下ローム粒やや多く含む

ビット 7

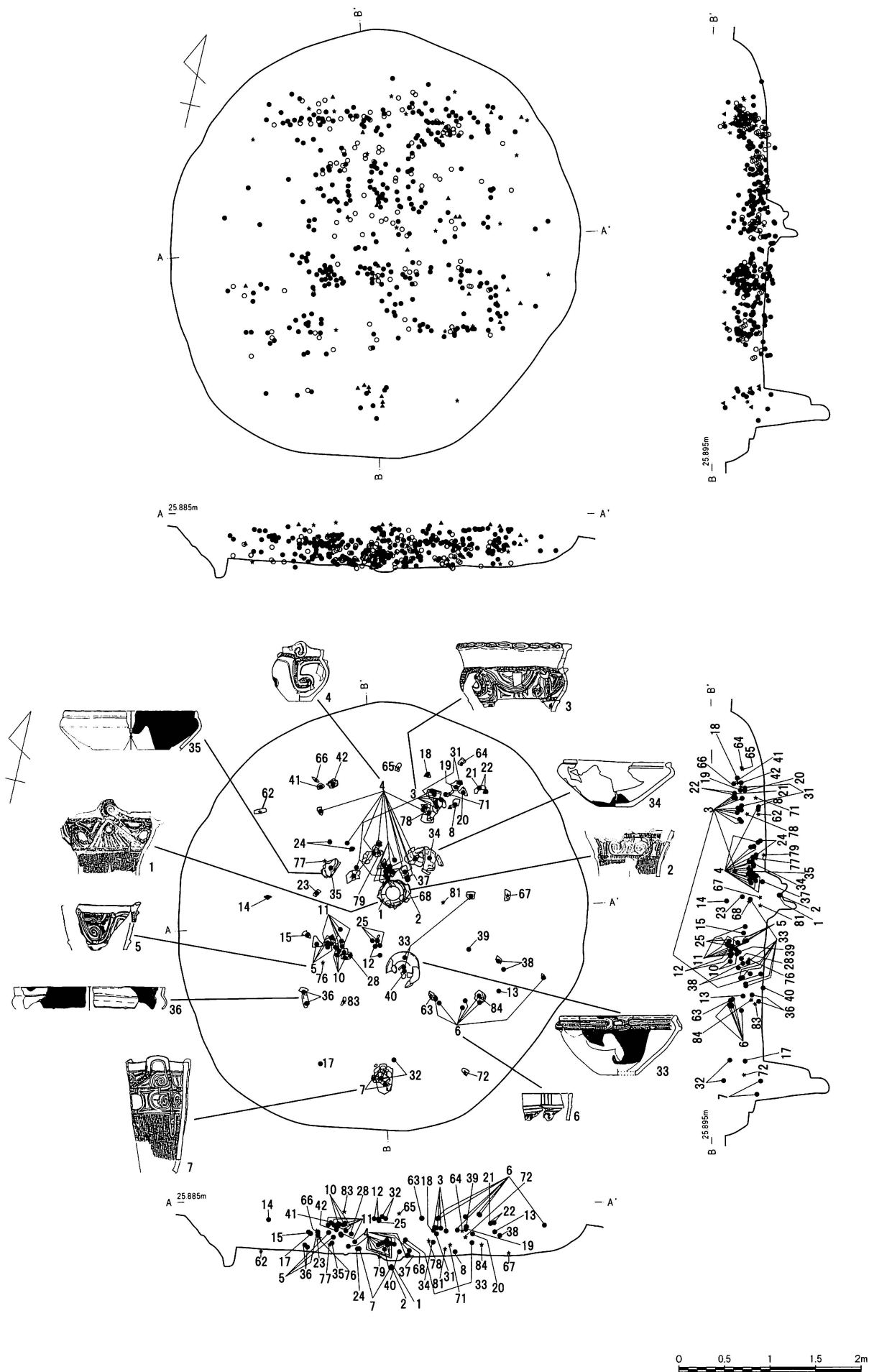
1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多く、色調明るい

ビット 8

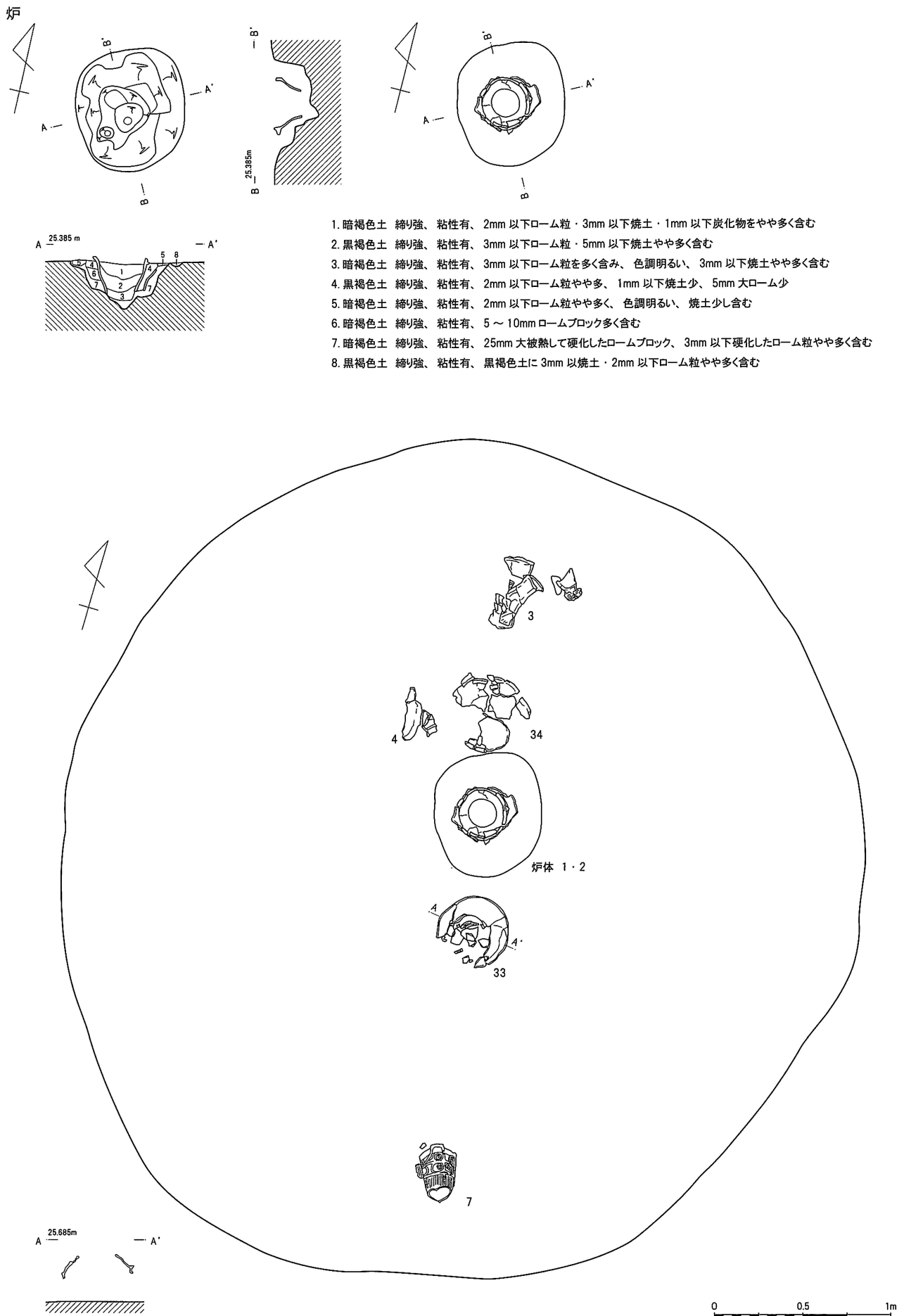
1. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多、5 ～ 20mm ロームブロック少
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、100mm 以下大型のロームブロックを多く含む

ビット 9

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒やや多く、炭化物・焼土少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状に 20mm 以下ロームブロック多く含む



第 121 図 東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡遺物出土状況図 (1/60)



第 122 図 東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡炉、遺物出土状況図 (1/30)

240cm である。床面は比較的硬く平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。

出土遺物は床面から 15cm 上の土層から多量に出土する。点上げ遺物、一括遺物の総計 5,941 点中、土器 2,890 点、石器 135 点、礫 2,916 点で、礫が多い。時期の明確な破片では中期前半が 350 点で最も多い。また、黒曜石の剥片も 58 点出土している。

時期は炉体土器から勝坂末期である。

第 58 表 東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	楕円形	61 × 47	32 × 25	52	主柱穴
P2	楕円形	51 × 45	12 × 12	77	主柱穴
P3	楕円形	52 × 40	18 × 15	72	主柱穴
P4	楕円形	45 × 38	20 × 12	66	主柱穴、P11 より新
P5	円形	70 × 65	38 × 37	83	主柱穴、P6 より新
P6	(円形)	40 × (18)	28 × (12)	22	P5 より旧
P7	楕円形	30 × 18	17 × 12	24	
P8	楕円形	38 × 26	13 × 8	54	
P9	楕円形	26 × 20	14 × 11	15	
P10	楕円形	36 × 17	16 × 9	10	
P11	円形	38 × 35	18 × 17	66	主柱穴、P4 より旧
P12	楕円形	32 × 30	24 × 20	24	

【181 号住居跡】調査区東端に位置し、東台遺跡縄文集落全体の分布では中央部環状集落の西側に位置する。南側で 178 号住居跡と重複するが、178 号住居に本住居が壊される。

住居全体の 1/4 程度の検出で、東側は調査区域外である。平面形態は円形を呈すると思われる。確認面からの深さ 42 cm である。

周溝は西側で検出した。また、178 号住居跡の炉下から本住居跡の柱穴と思われるピットを検出した。主柱穴と思われる。

床面は比較的硬く平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。

出土遺物は 8 点中、土器 5 点、礫 3 点である。

時期は出土遺物から加曾利 E II 式期である。

第 59 表 東台遺跡第 51 地点 181 号住居跡ピット一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
P1	隅丸方形	34 × 30	14 × 7	74	

【182 号住居跡】調査区南西部に位置し、東台遺跡縄文集落全体の分布では中央部環状集落の西側に位置する。南側で 177 号住居跡と重複するが、177 号住居埋没後に本住居を構築している。

家屋の建築予定地外のため本調査をせず、プラン確認後、深さや炉の位置確認のため幅 30cm のサブトレントを十字に設定して調査した。

平面形態は円形。南北 410 cm、東西 362 cm、確認面からの深さ 23 cm である。

炉は住居のほぼ中央に位置し、平面形態は長軸 80 cm の楕円形である。

床面は比較的硬く平坦である。壁は緩やかに立ち上がる。

出土遺物は点上げ遺物、一括遺物の総計 323 点中、土器 205 点、石器 6 点、礫 112 点である。時期の明確な破片では中期前半が 6 点で最も多い。

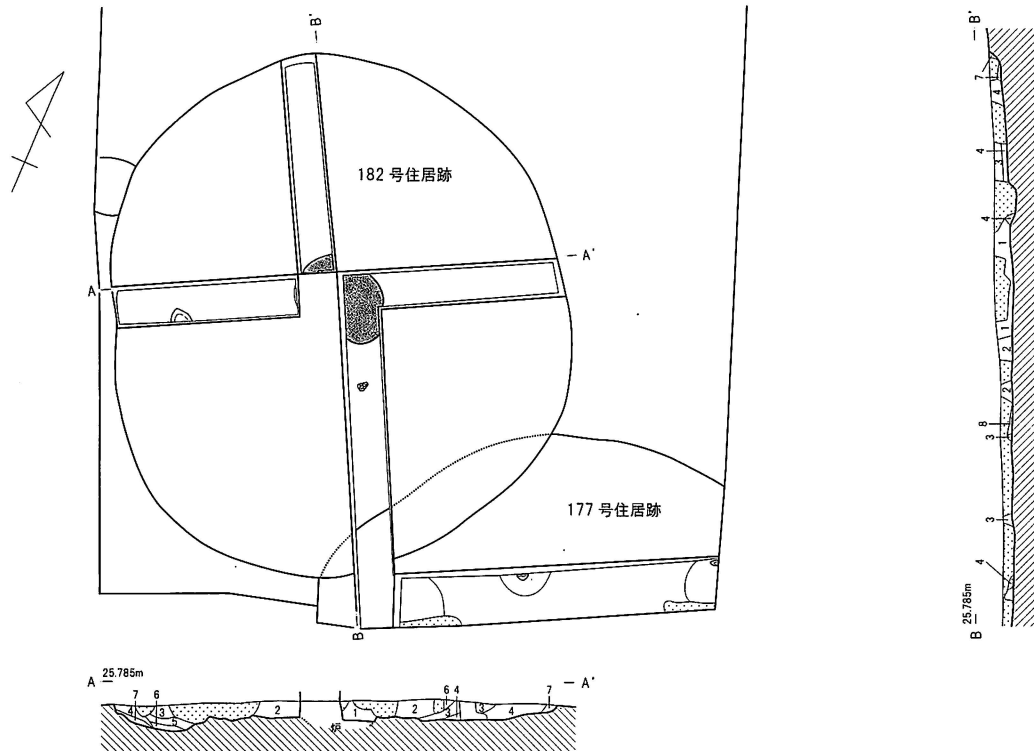
時期は出土遺物から勝坂末期である。

【土坑】土坑 1、2 とともに耕作による攪乱で残りは良くない。土坑 3 は上層が焼土層で、暗褐色土上で焼成が行なわれていた様子がある。土坑 4 は北側の第 25 地点で検出した土坑 11 の続きで、同一遺構である。

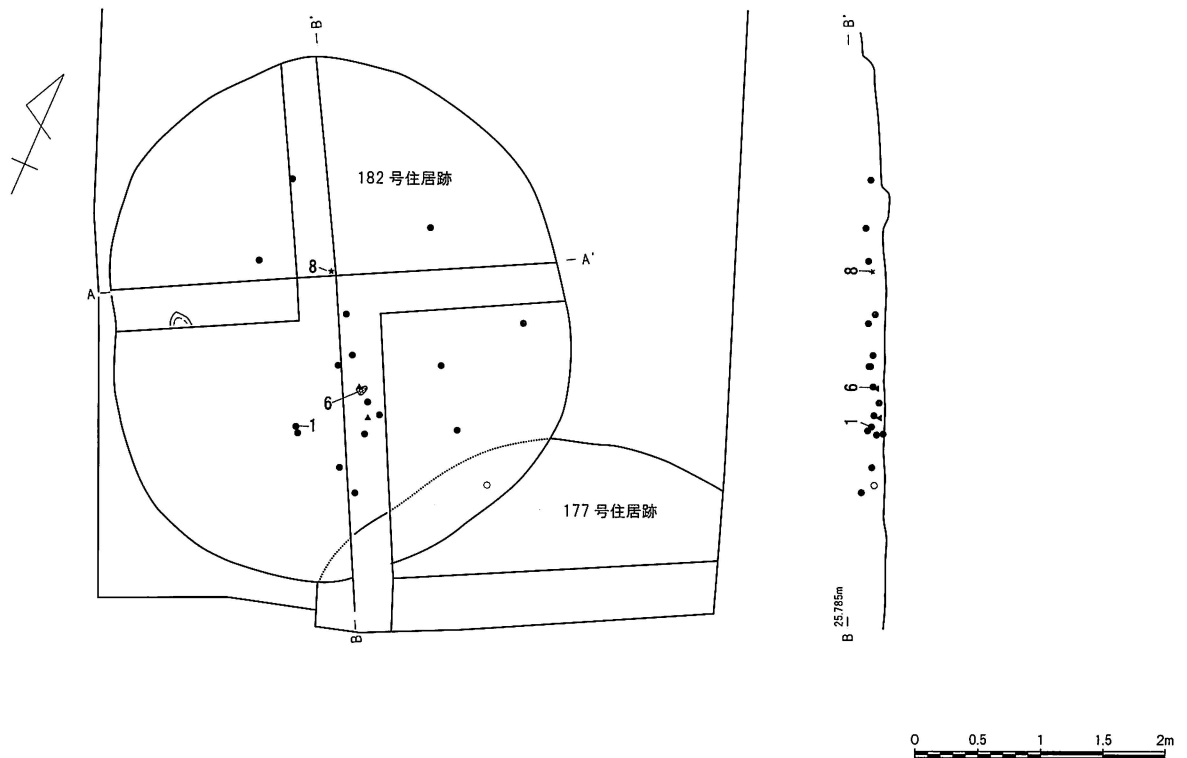
【ピット】14 基検出したが、全て時期は縄文時代である。P13、P14 は 178 号住居跡埋没後に掘られたピットで、178 号住居跡炉を壊している。同炉の遺物と思われる礫や土器が出土した。

第 60 表 東台遺跡第 51 地点遺構一覧表 (単位cm)

No	平面形態	確認面	底面	深さ	備考
土坑 1	楕円形	137 × 97	126 × 78	17	周囲は耕作で壊される
土坑 2	楕円形	225 × 195	135 × 110	27	上層に焼土層
土坑 3	楕円形	80 × 71	61 × 49	22	土 1、2 より新
土坑 4	隅丸長方形	(190) × 150	(170) × 115	20	25 地点土坑 11
P1	楕円形	80 × 60	×		未掘
P2	楕円形	41 × 25	27 × 15	14	
P3	隅丸方形	28 × 24	18 × 16	36	
P4	(楕円形)	51 × (30)	13 × 13	23	
P5	円形	26 × 25	8 × 7	6	
P6	楕円形	57 × 34	7 × 6	16	
P7	円形	45 × 43	28 × 16	22	
P8	円形	74 × 70	54 × 46	17	
P9	隅丸方形	27 × 27	18 × 16	12	
P10	円形	26 × 25	12 × 5	17	
P11	円形	31 × 30	16 × 16	14	
P12	楕円形	90 × 80	55 × 38	29	
P13	(楕円形)	25 × (15)	10 ×	68	178 住居の炉を切る
P14	(楕円形)	22 × (15)	5 ×	55	178 住居の炉を切る

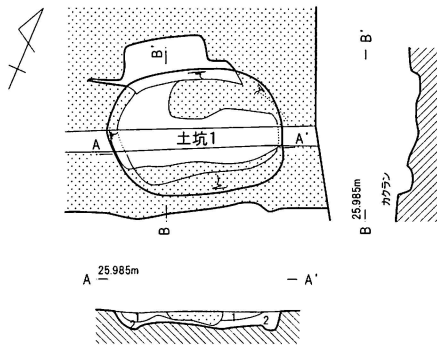


1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒・焼土をやや多く含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1 より色調明るい、2mm 以下ローム粒をやや多く含む
3. 暗褐色土（2 より明るい程度）締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒をやや多く、3mm 以下炭化物少し含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、3 より色調明るい、2mm 以下ローム粒をやや多く、炭化物少し含む、5 ～ 20mm ロームブロック少し含む
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒多く含む
6. 黒褐色土 締り強、粘性有、5 ～ 10mm ロームブロック、2mm 以下ローム粒多く含む
7. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土を含み、色調明るい 5 ～ 30mm ロームブロック・3mm 以下ローム粒をやや多く含む
8. 攪乱されているが、3mm 以下ローム粒を多く含む、硬質の暗褐色土ブロック（床面の土）主体

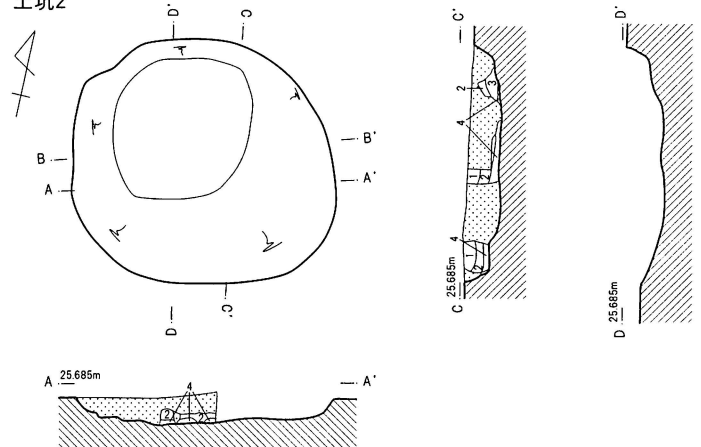


第123図 東台遺跡第51地点 182号住居跡・遺物出土状況図（1/60）

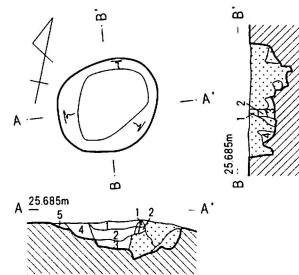
土坑1



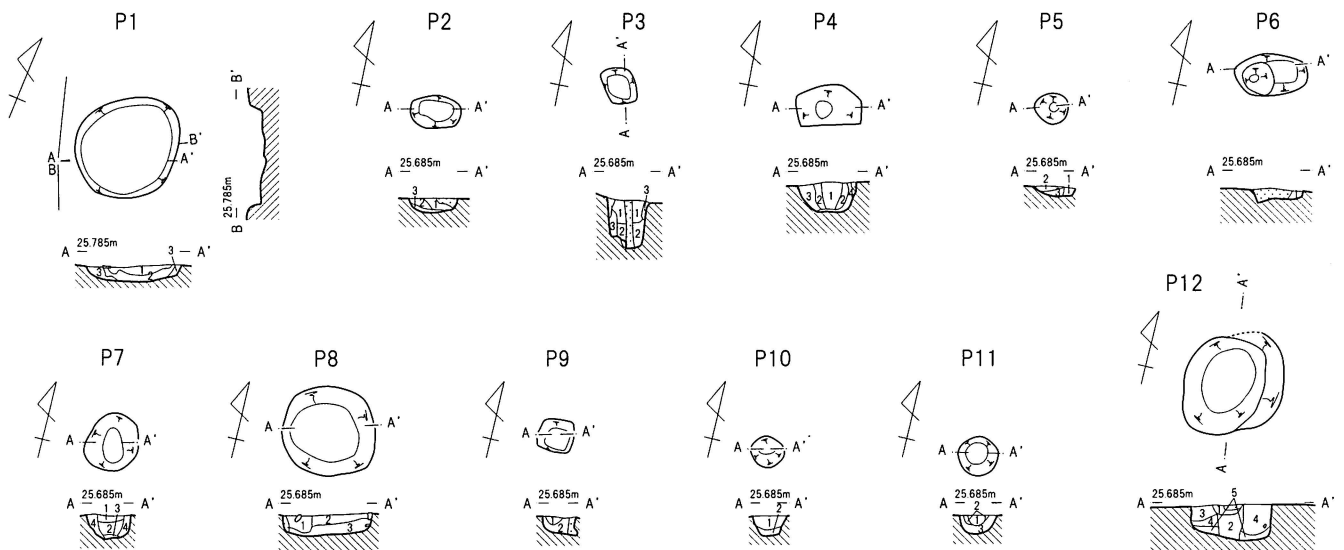
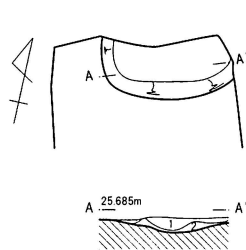
土坑2



土坑3



土坑4



土坑1

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～30mm 色調明るいブロックをうすら斑状にやや多く含む、2mm 以下ローム粒をやや多く、1mm 以下焼土・炭化物を少し含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土含み色調明るい、10～20mm ロームブロック多く斑状を呈する、1mm 以下炭化物少し含む

土坑2

1. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒少し、2mm 以下炭化物わずかに含む
2. 暗褐色土 締り強、粘性有、やや黒色味強い、2mm 以下ローム粒やや多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、やや黒色味強い、3mm 以下ローム粒やや多く、1mm 以下炭化物少し含む
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、5～10mm ロームブロックやや多、5mm 以下ローム粒多く含み、色調明るい

土坑3・4

1. 赤褐色土 締り強、粘性有、粒径細かな焼土主体、2mm 以下焼土粒多く含む、黒褐色土が上部に貫入する
2. 赤褐色土 締り強、粘性有、粒径細かな焼土主体、2mm 以下焼土粒多く含む
3. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム土主体、2mm 以下焼土粒やや多く含み、赤味を帯びる
4. 暗褐色土 締り強、粘性有、焼土を含み、赤味を帯びる、3mm 以下焼土少し含む
5. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下焼土少（4層より少ない）

ピット 1

- I a. 黒褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少し含む、焼礫・土器片含む
- I b. 黄褐色土 締り強、粘性有、5 ～ 10mm ソフトロームブロック、5 ～ 20mm 黒褐色土をやや多く含む、斑状を呈する
- I c. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム分を含み、色調明るい、1mm 大炭化物・ローム粒少し含む

ピット 2

- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、ソフトローム土やや多、3mm 大炭化物少
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、斑状にソフト質ロームブロック多

ピット 3

- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒少し、2mm 以下炭化物少
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多
- 3. 暗褐色土 締り強、5mm 以下ローム粒多く色調明るい

ピット 4

- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒少し、2mm 以下炭化物少
- 2. ピット 3 の 2 層に似る、ローム粒はうっすら斑状に見られる（締り強い）
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状に 20mm 以下ロームブロックを多く含む
- 4. 暗褐色土 締り強、5mm 以下ローム粒多く色調明るい

ピット 5

- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、1mm 以下ローム粒少し、2mm 以下炭化物少
- 2. 暗褐色土 締り強、5mm 以下ローム粒多く色調明るい
- 3. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多

ピット 6

- 1. 黒褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒やや多

ピット 7

- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒・炭化物やや多
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多
- 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を含み、色調明るい、2mm 以下炭化物少

ピット 8

- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒・炭化物やや多
- 2. 黒褐色土 締り強、粘性有、5 ～ 10mm ロームブロック少し、2mm 以下焼土・炭化物少
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、ローム主体、斑状に黒褐色土をやや多く含む

ピット 9

- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を含み、色調明るい、2mm 以下炭化物少

ピット 10

- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を含み、色調明るい、2mm 以下炭化物少
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多

ピット 11

- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒・炭化物やや多
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、うっすら斑状にローム土を含み、色調明るい、2mm 以下炭化物少

ピット 12

- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有、2mm 以下ローム粒少
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有、3mm 以下ローム粒・炭化物やや多
- 3. 暗褐色土 締り強、粘性有、締り強い、2mm 以下ローム粒わずか
- 4. 暗褐色土 締り強、粘性有、15mm 大ロームブロック少、1mm 以下ローム粒少、5 ～ 15mm 土器細片、30mm 大礫わずかに含む

第 61 表 東台遺跡第 51 地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定 生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
125 図	1	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	(30.0)	—	(18.9)	輪積み成形 / 口縁部は突帯上に連鎖状隆帯。胴部は楕円形区画の隆帯上に連鎖状刺突し、区画内は縦沈線列や三叉文を太い単沈線で施文 / 砂粒多量含む / 注№ 炉体 1、H 7 炉		縄文中期・勝坂 3	口縁部 1/2 以上残存
	2	177 号住居跡	縄文土器・浅鉢	(42.0)	—	(13.3)	輪積み成形 / 無文 / 内外面塗彩。外面一部に赤色塗彩の痕跡有 / 砂粒多量含む / 黒斑有 / 注№ 炉体 2、№ 380、H10 炉		縄文中期	口縁部 1/4 以下残存
	3	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯上に連鎖状刺突。口縁内側に幅広突帯 / 砂粒多量含む / 注№ H6		縄文中期・勝坂 3	口縁部片
	4	177 号住居跡	縄文土器・深鉢				波状口縁。口縁は内側に屈曲する / 砂粒多量含む / 注№ 56		縄文中期・阿玉台	口縁部片
	5	177 号住居跡	縄文土器・深鉢				輪積み成形 / 口縁幅広突帯。胴部、半截竹管で半隆起状の区画割をおこなう / 砂粒多量含む / 注№ H6		縄文中期・勝坂 3	口縁部片
	6	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁幅広突帯。胴部は隆帯上に連鎖状刺突 / 砂粒多量含む / 注№ 8		縄文中期・勝坂 3	口縁部片
	7	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL 縄文を横位に施文後、隆帯を貼付し、脇に波状沈線 / 砂粒多量含む / 注№ H1		縄文中期	口縁部片
	8	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯脇を連鎖爪形刺突し、その内側を波状沈線で施文 / 砂粒多量含む / 注№ 1		縄文中期・勝坂 2	胴部片
	9	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯上に連鎖状刺突し、区画内は沈線列や交互刺突、三叉文を太い単沈線で施文 / 砂粒多量含む / 注№ 38		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	10	177 号住居跡	縄文土器・鉢	—	—	—	輪積み成形 / 幅広隆帯で区画 / 砂粒多量含む / 注№ H5		縄文中期	胴部片
	11	177 号住居跡	縄文土器・深鉢				輪積み成形 / 隆帯上に連鎖状刺突 / 砂粒多量含む / 注№ 25、45		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	12	177 号住居跡	縄文土器・深鉢				輪積み成形 / 隆帯上に連鎖状刺突 / 砂粒多量含む / 注№ 54		縄文中期・勝坂 3	胴部片 / № 6 と同一個体
	13	177 号住居跡	縄文土器・深鉢				注№ H5		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	14	177 号住居跡	縄文土器・深鉢				輪積み成形 / 太い単沈線で施文 / 砂粒多量含む / 注№ 10		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	15	177 号住居跡	縄文土器・浅鉢				輪積み成形 / 体部から口縁への屈曲部に連鎖状隆帯。口縁は、区画内は太い単沈線で施文 / 砂粒多量含む / 注№ 7		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	16	177 号住居跡	縄文土器・深鉢				輪積み成形 / 体部から口縁への屈曲部の隆帯上に連鎖状刺突 / 砂粒多量含む / 注№ H7		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	17	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL 縄文を縦位に施文後、口縁部へは渦巻状に隆帯を貼付、頸部へも隆帯を巡らし、胴部は沈線による懸垂文 / 砂粒多量含む / 注№ 29、30、33、34		縄文中期・加曾利 E I 古	口縁部片
	18	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 半截竹管で半隆起状の渦巻文 / 砂粒多量含む / 注№ 4		縄文中期・加曾利 E I	口縁部片
	19	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯上に交互刺突 / 砂粒多量含む / 注№ H1		縄文中期・加曾利 E、連弧	口縁部片
	20	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 前々段多条の RL 縄文を縦位に施文後、沈線による懸垂文 / 砂粒多量含む / 注№ 52、H6		縄文中期・加曾利 E II	胴部片
	21	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	(9.0)	(4.3)	輪積み成形 / 前々段多条の RL 縄文を縦位に施文 / 砂粒多量含む / 注№ 57		縄文中期	底部片
	22	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	(7.6)	(4.0)	輪積み成形 / RL 縄文を縦位に施文後、懸垂隆帯貼付け / 砂粒多量含む / 注№ 35		縄文中期・加曾利 E I	底部片
	23	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL 縄文を横位に施文 / 砂粒多量含む / 注№ H6		縄文中期	胴部片
126 図	24	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 波状口縁の口唇部へ沈線を巡らし、沈線端部は円形刺突。懸垂隆帯上も連鎖円形刺突。地文は RL 縄文を横位に施文。胴部との境に沈線を巡らす / 砂粒多量含む / 注№ 6、H5・6 床直		縄文後期・堀之内 1 式	口縁部片
	25	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 波状口縁の口唇部へ沈線を巡らし、波頂部は円形刺突 / 砂粒多量含む / 注№ H5		縄文後期・堀之内 1 式	口縁部片
	26	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / LR 縄文を横位に施文後、沈線で区画史、沈線間を磨り消す / 砂粒多量含む / 注№ H2		縄文後期・堀之内	胴部片
	27	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 懸垂沈線で区画した中を縦位の LR 縄文で充填 / 砂粒多量含む / 注№ H2		縄文後期・堀之内	胴部片
	28	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	(7.1)	(5.6)	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 内面にタール状付着 / 注№ H7		縄文時代	底部片
	29	177 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	9.1	(2.9)	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注№ 43 床直		縄文時代	底部片
	30	177 号住居跡	縄文土器・土製円盤	—	—	—	破片を円形に打ち欠く。地文は RL 縄文 / 注№ H1		縄文中期	胴部片
	31	177 号住居跡	縄文土器・土製円盤	—	—	—	破片を円形に打ち欠く。地文は RL 縄文 / 注№ H3		縄文中期	胴部片
	32	177 号住居跡	石器・打製石斧	(6.95)	4.7	1.8	重量 65.83g 両極敲打技法 / 注№ H2	玄武岩?	縄文時代	刃部欠
	33	177 号住居跡	石器・打製石斧	9.7	6.5	2.85	重量 228.70g 両極敲打技法 / 注№ 18 床直	片岩	縄文時代	完形
	34	177 号住居跡	石器・打製石斧	(6.1)	(4.60)	1.74	重量 63.30g 両極敲打技法 / 注№ 42	ホルンフェルス	縄文時代	刃部欠
	35	177 号住居跡	石器・打製石斧	6.7	4.9	2.1	重量 83.67g 両極敲打技法 / 注№ H6	ホルンフェルス	縄文時代	刃部欠
	36	177 号住居跡	石器・打製石斧	4.8	4.2	1.2	重量 36.90g 両極敲打技法 / 注№ H10	ホルンフェルス	縄文時代	完形
	37	177 号住居跡	石器・磨石	4.2	3.9	2.5	重量 58.46g 側面敲打痕有。表裏面磨跡有 / 注№ H3	安山岩	縄文時代	一部
	1	74 号住居跡	縄文土器・鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁直下に沈線。R 右巻きの燃系文を横位に施文 / 砂粒多量含む / 注№ H1		縄文後期・称名寺	口縁部片
	2	74 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 条線を縦に施文。3 本組みの沈線で連弧を巡らす / 砂粒多量含む / 注№ H1		縄文中期・加曾利 E、連弧	胴部片
	3	74 号住居跡	縄文土器・鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁部は折返される。L 左巻きの燃系文を横位に施文する / 砂粒多量含む / 注№ H1		縄文中期・加曾利 E	口縁部片
	4	74 号住居跡	縄文土器・鉢	—	(13.0)	3.8	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注№ H2		縄文	底部片
	1	182 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁内面に小渦巻。外面無節 L 縄文を横位に施文 / 内外面赤色塗彩 / 砂粒多量含む / 注№ 16		縄文後期・堀之内	口縁部片
	2	182 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁無文の幅広突帯 / 砂粒多量含む / 内外面煤付着 / 注№ H3		縄文中期・勝坂	口縁部片
	3	182 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯脇を爪形連鎖状刺突、反対側を半截竹管による平行沈線と波状沈線 / 砂粒多量含む。輝石多量含む / 注№ H2		縄文中期・阿玉台 II 期	胴部片

図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定 生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
126 図	4	182 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / R 右巻きの燃糸文を縦位に施文 / 砂粒多量含む / 注No D トレ-2		縄文中期	胴部片
	5	182 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯上に爪形刺突、隆帯脇は単沈線で囲う / 砂粒多量含む / 注No AB トレ中央 3		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	6	182 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	双環状把手。隆帯上を爪形刺突。区画内は刃先の丸い押引文で充填 / 砂粒多量含む / 注No 4		縄文中期・勝坂 3	口縁部片
	7	182 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯脇を爪形連続刺突 / 砂粒多量含む / 注No D トレ-1		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	8	182 号住居跡	石器・打製石斧	(5.8)	(3.70)	1.94	重量 54.4g 両極敲打技法 / 注No H4	緑泥片岩	縄文時代	基部
	9	182 号住居跡	石器・打製石斧	6.98	4.37	2.5	重量 84.91g 両極敲打技法 / 注No 8	ホルンフェルス	縄文時代	刃部一部欠
	10	182 号住居跡	石器・石匙	4.3	4.8	0.8	重量 17.15g 横長剥片。押圧剥離で加工 / 注No H3	ホルンフェルス	縄文時代	基部、先端欠
127 図	1	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	19.1	—	—	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注No 219、221、224、227、228、231			口縁部片
	2	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口唇部は内側に折り返され、沈線列で施文。口縁部は半蔵竹管を利用した直角の沈線列。頸部には粘土紐を波状に貼付 / 砂粒多量含む / 注No 炉 13 炉		縄文中期・曾利Ⅱ	口縁部片
	3	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	(8.0)	(2.5)	輪積み成形 / 無文 / 内外面塗彩の痕跡有 / 砂粒多量含む / 黒斑有 / 注No 炉 4 炉		縄文中期	底部片
	4	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯による区画内を沈線列で充填する。隆帯脇を連続爪形刺突 / 砂粒多量含む / 注No 107、155		縄文中期・勝坂 3	口縁部片
	5	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯脇を幅広角押文で押さえる。三角押文も平行させる / 砂粒多量含む / 注No 211		縄文中期・新道	胴部片
	6	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯脇を沈線で押さえ、区画内は沈線と連続爪形文で充填する / 砂粒多量含む / 注No 50		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	7	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	注No 135		縄文中期	口縁部片
	8	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 波状口縁 / 砂粒多量含む / 注No 134		縄文中期	口縁部片
	9	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文縄文に、口縁は隆帯で渦巻きと栴門区画、胴部は沈線による懸垂文 / 砂粒多量含む。角閃石含む / 注No 223 炉		縄文中期・加曾利 EⅡ	口縁部片
	10	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は RL 縄文を縦位に施文後、口唇部直下に沈線を 2 条巡らし、蛇行懸垂沈線を胴部へ施文 / 砂粒多量含む / 注No B 区-2		縄文中期・加曾利 EⅡ	口縁部片
	11	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は RL 縄文を縦位に施文後、蛇行懸垂沈線を胴部へ施文 / 砂粒多量含む / 注No A 区-2		縄文中期・加曾利 EⅡ	胴部片
	12	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は RL 縄文を縦位に施文後、蛇行と直線の懸垂文を 3 本組み沈線で施文 / 砂粒多量含む / 注No 122		縄文中期・加曾利 EⅡ	胴部片
	13	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は LR 縄文を縦位に施文後、頸部へ 2 列 (以上) の沈線を巡らし、胴部へ懸垂文を沈線で施文 / 砂粒多量含む / 注No 90		縄文中期・加曾利 EⅡ	胴部片
	14	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は RL 縄文を縦位に施文後、直線の懸垂文を 3 本組み沈線で施文 / 砂粒多量含む / 注No A 区-2		縄文中期・加曾利 EⅡ	胴部片
	15	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	(8.6)	(5.0)	輪積み成形 / 地文は RL 縄文を縦位に施文後、直線の懸垂文を 2 本組み沈線で施文 / 砂粒多量含む / 注No 120、133		縄文中期・加曾利 EⅡ	底部片
	16	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は R 右巻きの燃糸文を縦位に施文後、隆帯を貼付け脇を沈線で押さえる / 砂粒多量含む / 注No 142		縄文中期・加曾利 EⅠ	胴部片
	17	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は R 右巻きの燃糸文を縦位に施文後、口縁直下に 3 本の沈線を巡らし、上 2 本の沈線上には列点文を施文。胴部は沈線による連弧文 / 砂粒多量含む / 注No A 区-2		縄文中期・加曾利 EⅡ、連弧	口縁部片
	18	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は R 右巻きの燃糸文を縦位に施文後、口縁直下に 3 本の沈線を巡らす。胴部は 2 本組み沈線による円形文や懸垂文 / 砂粒多量含む / 注No 230		縄文中期・加曾利 EⅡ	口縁部片
	19	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は RI 縄文を縦位に施文後、2 本組み沈線の懸垂文と単線の波状文を施文 / 砂粒多量含む / 注No 炉 2、No 217		縄文中期・加曾利 EⅡ	胴部片
	20	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は条線、口縁直下に 3 本の沈線を巡らし、その上へ伏せた半蔵竹管による波状文を巡らす / 砂粒多量含む / 注No H1		縄文中期・加曾利 EⅡ	口縁部片
	21	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文条線の上に粘土紐による蛇行懸垂文を貼付 / 砂粒多量含む / 注No 82		縄文中期・加曾利 EⅡ	胴部片
	22	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文条線 / 砂粒多量含む / 注No A 区-2		縄文中期・加曾利 EⅡ	胴部片
	23	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は条線。伏せた半蔵竹管による 2 本組み沈線で、頸部へ 3 本の沈線を巡らし、胴部へは蛇行懸垂文 / 砂粒多量含む / 注No 95		縄文中期・加曾利 EⅡ	胴部片
	24	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文条線 / 砂粒多量含む / 注No 225		縄文中期・加曾利 EⅡ	胴部片
	25	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文条線へ 2 本組み沈線による懸垂文 / 砂粒多量含む / 注No 152		縄文中期・加曾利 EⅡ	底部片
	26	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯で口縁と胴部を区画。口縁は沈線で渦巻文などを施文。胴部は上端が逆 U 字の 3 本組み沈線による懸垂文。懸垂文間は斜位の沈線列 / 砂粒多量含む / 注No 203		縄文中期・加曾利 EⅡ	口縁部片
	27	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は縦位の沈線列。曲線文様を平行沈線列で施文 / 砂粒多量含む。輝石含む / 注No 199		縄文中期・加曾利 EⅡ	口縁部片
	28	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は斜位の沈線列。頸部に粘土紐を波状に貼付 / 砂粒多量含む / 注No 108		縄文中期・加曾利 EⅡ	胴部片
	29	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は斜位の沈線列。口縁直下に 2 本の沈線列を巡らす。内面は断面三角に突出し、斜位の沈線文列を施文 / 砂粒多量含む。輝石含む / 注No 2		縄文中期・曾利Ⅲ	口縁部片
	30	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は斜位の沈線列。内面は断面三角に突出し、斜位の沈線文列を施文 / 砂粒多量含む。輝石含む / 注No 163		縄文中期・曾利Ⅲ	口縁部片
	31	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は縦位の沈線列。粘土紐を波状に貼付 / 砂粒多量含む / 注No 25		縄文中期・曾利Ⅲ	口縁部片
	32	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 沈線による綾形文に懸垂隆帯 / 砂粒多量含む / 注No 39		縄文中期・曾利Ⅲ	胴部片
	33	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 沈線による懸垂文 / 砂粒多量含む / 注No 垢		縄文中期・加曾利 EⅡ	底部片
	34	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 管状工具による列点文 / 砂粒多量含む / 注No 131		縄文中期・加曾利 EⅡ	口縁部片
	35	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁部へ列点文列を巡らす / 砂粒多量含む / 注No B 区-2		縄文中期・加曾利 EⅡ	口縁部片

図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定 生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
127 図	36	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 管状工具による列点文 / 砂粒多量含む / 注No 36		縄文中期・ 加曾利 E II	胴部片
	37	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注No A 区 -2		縄文中期	口縁部片
	38	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注No 23		縄文中期	口縁部片
	39	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注No 109		縄文中期	口縁部片
	40	178 号住居跡	縄文土器・鉢	—	—	—	輪積み成形 / 無文。内面に赤色塗彩 / 砂粒多量含む / 注No 173		縄文中期	口縁部片
	41	178 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 無文。高台状の底部片 / 砂粒多量含む / 注No A 区 -1		縄文中期	底部片
	42	178 号住居跡	縄文土器・深鉢		(9.0)	(2.2)	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注No 1		縄文中期	底部片
	43	178 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	(8.0)	(2.2)	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注No 229		縄文中期	底部片
	44	178 号住居跡	石器・ナイフ形	(1.3)	(1.33)	0.4	重量 0.68g 縦長剥片を素材とし、基部の両側片をブランディング / 注No 179	黒曜石	縄文時代	基部片
	45	178 号住居跡	石器・石鏃	1.5	1.3	0.34	重量 0.50g 押圧剥離 / 注No 15	黒曜石	縄文時代	完形
	46	178 号住居跡	石器・石鏃	(1.6)	(0.9)	0.28	重量 0.34g 押圧剥離 / 注No 104	黒曜石	縄文時代	基部欠
	47	178 号住居跡	石器・打製石斧	8.33	6.63	1.7	重量 112.69g 両極敲打技法 / 注No A 区 -2	砂岩	縄文時代	完形
128 図	48	178 号住居跡	石器・打製石斧	8.82	4.04	1.38	重量 55.90g 両極敲打技法 / 注No 214	ホルンフェ ルス	縄文時代	完形
	49	178 号住居跡	石器・打製石斧	8	(3.6)	2.3	重量 78.40g 両極敲打技法 / 注No 96	ホルンフェ ルス	縄文時代	刃部一部欠
	50	178 号住居跡	石器・打製石斧	4.15	4.1	1	重量 21.55g 両極敲打技法 / 注No B 区 -1	ホルンフェ ルス	縄文時代	基部欠
	51	178 号住居跡	石器・打製石斧	6.1	3.9	1.4	重量 55.34g 両極敲打技法 / 注No A 区 -2	砂岩	縄文時代	刃部、基部 一部欠
	52	178 号住居跡	石器・打製石斧	8.2	4.5	2.3	重量 136.40g 両極敲打技法 / 注No 153 床直	泥岩?	縄文時代	刃部、基部 一部欠
	53	178 号住居跡	石器・敲石	12.7	4.2	1.1	重量 107.43g 図右側面に敲打痕有 / 注No 22	チャート	縄文時代	裏半分欠
	54	178 号住居跡	石器・くぼみ石	12	9.6	2.4	重量 346.36g 径 2.5 cm、深さ 1 cm の孔 1 ケ所有 / 注No P 1	片岩	縄文時代	左上、下部欠
	1	179 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 半截竹管による斜向沈線列を口唇部から口縁部に掛けて施文 後、粘土紐を波状に貼付 / 砂粒多量含む / 注No A 区 -1		縄文中期・曾利 II	口縁部片
	2	179 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	口縁部の渦巻状突起の一部 / 注No B 区 -1		縄文中期・加曾利 E	口縁部片
	3	179 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は条線。口縁部へ 2 本の沈線を巡らす / 砂粒多量含む / 注 No B 区 -2		縄文中期・ 加曾利 E II	口縁部片
	4	179 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文縦位の沈線列 / 砂粒多量含む / 注No 28		縄文中期・加曾利 E	口縁部片
	5	179 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 連鎖状懸垂隆帯脇を 2 本組みの沈線列や押引文で抑え、隆帯間 も同一工具で蛇行懸垂文を施文 / 砂粒多量含む / 注No 21		縄文中期・加曾利 E	胴部片
129 図	6	179 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文縦位の条線 / 砂粒多量含む / 注No 13、19		縄文中期・ 加曾利 E	胴部片
	7	179 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯脇を沈線で押さえた区画内を、管状工具による列点文で充 填 / 砂粒多量含む / 注No 11		縄文中期・加曾利 E	胴部片
	8	179 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は無節 L 縄文を斜位に施文後、平行沈線の波状文 / 砂粒多 量含む / 注No 29 床直		縄文中期・加曾利 E	胴部片
	9	179 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は RL 縄文を縦位に施文後、直線の懸垂文を 3 本組み沈線 で施文 / 砂粒多量含む / 注No H2		縄文中期・ 加曾利 E II	胴部片
	10	179 号住居跡	縄文土器・鉢	—	—	—	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注No B 区 -1		縄文中期	底部片
	11	179 号住居跡	縄文土器・鉢	—	(12.4)	(1.8)	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注No B 区 -2		縄文中期	底部片
	12	179 号住居跡	縄文土器・鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯貼付 / 砂粒多量含む。雲母片多量含む / 注No P2 P2 内		縄文中期	胴部片
	13	179 号住居跡	石器・石鏃未成品	1.9	2.1	0.55	重量 1.91g 押圧剥離。下部からの剥離時に先端部が欠けたと思われる / 注No H2	黒曜石 (未成品)	縄文時代	一部欠
	14	179 号住居跡	石器・磨製石斧	7.9	2.4	0.7	重量 22.8g 刃部が蛤状に磨製された小形石斧の両側片を、両極敲打技法で 成形 (途中) / 注No 23	片岩	縄文時代	基部欠
	1	180 号住居跡	縄文土器・深鉢	(3.18)	—	(22.1)	輪積み成形 / 口縁は 4 ケ所に把手突起が有ると思われ、2 ケ所残存する。図 正面と裏面は沈線による渦巻文を隆帯で囲う。右側は立体の把手が備わると 思われる。口縁文様の基本は、隆帯により横「S」字状に文様を配置する。 隆帯上はへら状工具による連続刺突、もしくは管状工具による交互刺突であ る。区画内は円形、三角形を基本に、沈線による囲いと連続刺突や交互刺突 及び沈線列で充填する。胴部との境界に三角押文を施文した隆帯を巡らせる。 胴部は R 右巻きの燃糸文を縦位、時計回りに重ねる / 砂粒多量含む / 注No 炉 体 1、炉 H1		縄文中期・勝坂 3	胴部下半欠、 口縁一部欠
	2	180 号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯により楕円区画を配置する。隆帯上はへら状工具による連 続刺突。区画内は沈線による渦巻き文。楕円区画内は沈線による三叉文で充 填する。胴部は R 右巻きの燃糸文を縦位、時計回りに重ねる / 砂粒多量含む / 注No 炉体 1、2		縄文中期・勝坂 3	胴部中位の 1/2 以下残存
	3	180 号住居跡	縄文土器・深鉢	34.0	—	(20.2)	輪積み成形 / 口唇部は内外に突出し、連鎖状隆帯にする。口縁は無文。胴部 との境界は平行沈線間を交互刺突する。胴部上半は隆帯により円形、半月 形、波状に文様を配置する。隆帯上は一部へら状工具による連続刺突。区 画内は沈線による円形文や三叉文で、連続刺突や交互刺突及び列点文で充填 する。胴部は LR 縄文を縦位に重ねる / 砂粒多量含む / 注No 41、43、45、 66、347、356、357、359、360、362、390、758、A 区 3・4・8		縄文中期・勝坂 3	胴部下半欠
	4	180 号住居跡	縄文土器・ 小形深鉢	12.0	17.6	15.8	輪積み成形 / 口縁は 1 ケ所に把手突起が有り渦巻きの隆帯が張り付く。口縁 は無文、頸部に隆帯が 1 条巡り、交互刺突される。胴部は頸部隆帯から伸び る懸垂隆帯で四分割され、うち 3 ケ所は端部が「b」字状に回る。隆帯上 はへら状工具による連続刺突。把手反対側の懸垂は十字に沈線で分割される / 砂粒多量含む / 注No 44、76～79、427、434、435、442、477、478、 480、481、482、487、ベルト 1		縄文中期・勝坂 3	ほぼ完形
	5	180 号住居跡	縄文土器・深鉢	22.0	—	(14.5)	輪積み成形 / 口縁は最低 1 ケ所に把手突起が有る。幅広突帯下の文様態は隆 帯で「U」字形等に区画し、区画内は沈線で渦巻きや半円区画などがなされ、 沈線列、連続刺突、半截竹管による半円形刺突などで充填する / 砂粒多量含 む / 注No 223、230、233、234		縄文中期・勝坂 3	口縁部 1/2 以上残存

図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定 生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
129 図	6	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁は3本組み平行沈線でおそらく四分割される。胴部との境は3本組みの平行沈線が巡り、若干半降帯になる。胴部はRL縄文を縦位に施文する / 砂粒多量含む / 外面、煤や炭化物が付着する / 注Na 119、158、160、162、167、173、274		縄文中期・勝坂3	口縁部 1/4 以上残存
	7	180号住居跡	縄文土器・深鉢	18.0	—	(32.3)	輪積み成形 / 口縁は、2ヶ所に大形、2ヶ所に小形の計4ヶ所に把手突起があり、直下に懸垂降帯を降ろして、文様帯が四分割される。文様帯は降帯でさらに上下二分割される。降帯の交差部分は降帯中央へ十字形に沈線を入れ、その間は交互刺突する。上部文様帯は3ヶ所が降帯上を矢羽状に刺突した斜向降帯で分割され、1ヶ所は降帯で半円に分割される。下部文様帯は懸垂降帯で貫くように、降帯による楕円区画を配置する。上下各区画内は沈線による渦巻文、三叉文、沈線列等で充填されるが、無文の区画もある。胴部はR左巻きの燃糸文を縦位、時計回りに重ねる / 砂粒多量含む / 注Naが H1、Na 461、462		縄文中期・勝坂3	底部欠
130 図	8	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 大形の中空把手の口縁部片。把手は円形や渦巻きを主体とし、沈線で降帯上をなぞる。口縁部はRL縄文を横位に施文後、2本組み降帯を貼付、沈線で脇を撫で付ける。口縁上端には波状沈線を巡らす / 砂粒多量含む / 注Na 366		縄文中期・勝坂末、中峠式	口縁部片
	9	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁は幅広の無文突帯の下へR右巻きの燃糸文を縦位、時計回りに重ねる。胴部との境は降帯が巡り降帯上はへう状工具による連続刺突である / 砂粒多量含む / 注Na B区-5、C区-1・4、D区-3、H1		縄文中期・勝坂3	口縁部片 / Na 9～11は 同一個体
	10	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 胴部文様帯は降帯による楕円区画で、降帯上はへう状工具により連続刺突される。区画内は平行沈線と連続刺突である。胴部はR右巻きの燃糸文を縦位、時計回りに重ねる / 砂粒多量含む / 注Na 206～208、213、B区-5、C区-2・4		縄文中期・勝坂3	胴部片 / Na 9 ～11は 同一個体
	11	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文はR右巻きの燃糸文を縦位、時計回りに重ねる / 砂粒多量含む / 注Na 209～211、219、220、231、B区-5、C区-4・7		縄文中期・勝坂3	胴部片 / Na 9 ～11は 同一個体
	12	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 大形把手の口縁部片。降帯上は一部へう状工具による連続刺突 / 砂粒多量含む / 注Na 197、200		縄文中期・勝坂3	口縁部片
	13	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 大形把手の口縁部片。降帯縁は爪形連続刺突。降帯内や脇は三角押文 / 砂粒多量含む。雲母片多量含む / 注Na 127		縄文中期・勝坂3	口縁部片
	14	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 把手突起から、直下に懸垂降帯を降ろし、降帯上をへう状工具により矢羽状に連続刺突。幅広の無文口縁突帯を持つ / 砂粒多量含む / 注Na 115		縄文中期・勝坂3	口縁部片
	15	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 把手突起から、直下に懸垂降帯を降ろし、降帯上をへう状工具により矢羽状に連続刺突。幅広の無文口縁突帯を持つ / 砂粒多量含む / 注Na 228、C区-4		縄文中期・勝坂3	口縁部片
	16	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 小形把手突起から、直下に懸垂降帯を降ろし、降帯上をへう状工具により連続刺突。幅広の無文口縁突帯を持つ / 砂粒多量含む / 注Na H1		縄文中期・勝坂3	口縁部片
	17	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 三角形把手の口縁部片。降帯縁は連続刺突、降帯上を連鎖状にする。口縁内面は沈線で三叉文 / 砂粒多量含む / 注Na 269		縄文中期・勝坂3	口縁部片
	18	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 降帯脇は三角押文 / 砂粒多量含む。雲母片多量含む / 注Na 270		縄文中期・阿玉台 1 b 期	胴部片
	19	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 三角形把手の口縁部片。縁は内側へ突出する。頂点から懸垂降帯 / 砂粒多量含む。角閃石含む / 注Na 15		縄文中期・阿玉台	口縁部片
	20	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁は内側へ突出する / 砂粒多量含む。角閃石含む / 注Na 300、ABベルト 1		縄文中期	口縁部片
	21	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁へ懸垂降帯 / 砂粒多量含む / 注Na 12		縄文中期・勝坂3	口縁部片
	22	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁へ懸垂降帯 / 砂粒多量含む / 注Na 11、12、A区-1		縄文中期・勝坂3	口縁部片
	23	180号住居跡	縄文土器・小形 深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 胴部へ降帯を貼付け脇を沈線で押さえる / 砂粒多量含む / 注Na 425、H4		縄文中期・勝坂3	口縁部片
	24	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 降帯上を連続刺突した渦巻き文と、半截竹筥による半降帯で区画し、区画内は横位の沈線列で充填する / 砂粒多量含む / 注Na 93、440		縄文中期・勝坂3	胴部片
	25	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 上を連続刺突した降帯で区画し、区画内は縦位の沈線列で充填する / 砂粒多量含む / 注Na 196、199、279、H1		縄文中期・勝坂3	胴部片
	26	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL縄文を横位に施文する / 砂粒多量含む / 注Na P5-1		縄文中期	胴部片
	27	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	(10.0)	(8.1)	輪積み成形 / RL縄文を横位に施文する / 砂粒多量含む / 注Na CDベルト 1		縄文中期	底部片
	28	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	9.6	(5.2)	輪積み成形 / RL縄文を横位に施文する / 砂粒多量含む / 注Na 382		縄文中期	底部片
	29	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	(11.4)	(5.5)	輪積み成形 / RL縄文を横位に施文する / 砂粒多量含む / 注Na B区-5、C区-4		縄文中期	底部片
	30	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	(12.2)	(4.5)	輪積み成形 / 縄文を施文する / 砂粒多量含む / 注Na BCベルト 1		縄文中期	底部片
	31	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	(7.0)	(3.0)	輪積み成形 / 縄文を施文する / 砂粒多量含む / 注Na 302、364		縄文中期	底部片
	32	180号住居跡	縄文土器・深鉢	—	(12.6)	(7.0)	輪積み成形 / RL縄文を縦位に施文後懸垂降帯と波状降帯を貼付する / 砂粒多量含む / 注Na 178、179		縄文中期・加曾利 E 1	底部片
131 図	33	180号住居跡	縄文土器・浅鉢	24.5	10.5	17.2	輪積み成形 / 口縁は内側に湾曲し、降帯による楕円区画で四分割する。降帯上はへう状工具による連続刺突。降帯脇は角押文。区画内は沈線を横一文字に施文する / 砂粒多量含む。雲母片多量含む / 黒斑付着 / 注Na 349～353、355、394		縄文中期・勝坂3	1/2 以上残存
	34	180号住居跡	縄文土器・浅鉢	(31.1)	10.0	13.0	輪積み成形 / 口縁は内側に湾曲し、口唇は内外に突出する。無文 / 砂粒多量含む / 外面一部に赤色塗彩痕有。内面黒斑付着 / 注Na 484、ABCベルト		縄文中期	3/4 以上残存
132 図	35	180号住居跡	縄文土器・浅鉢	(39.0)	—	(11.4)	輪積み成形 / 口縁は内側に湾曲し、やや幅広の突帯が巡る / 砂粒多量含む / 内外面に赤色塗彩痕有。内面は半円形や矩形の模様を描かれる / 注Na 347		縄文中期	1/4 以下残存
	36	180号住居跡	縄文土器・浅鉢	(44.0)	—	(6.5)	輪積み成形 / 口縁は内側に湾曲し、やや幅広の突帯が巡る / 砂粒多量含む / 内外面に赤色塗彩痕有。内面黒斑付着 / 注Na 248、249		縄文中期	1/4 以下残存

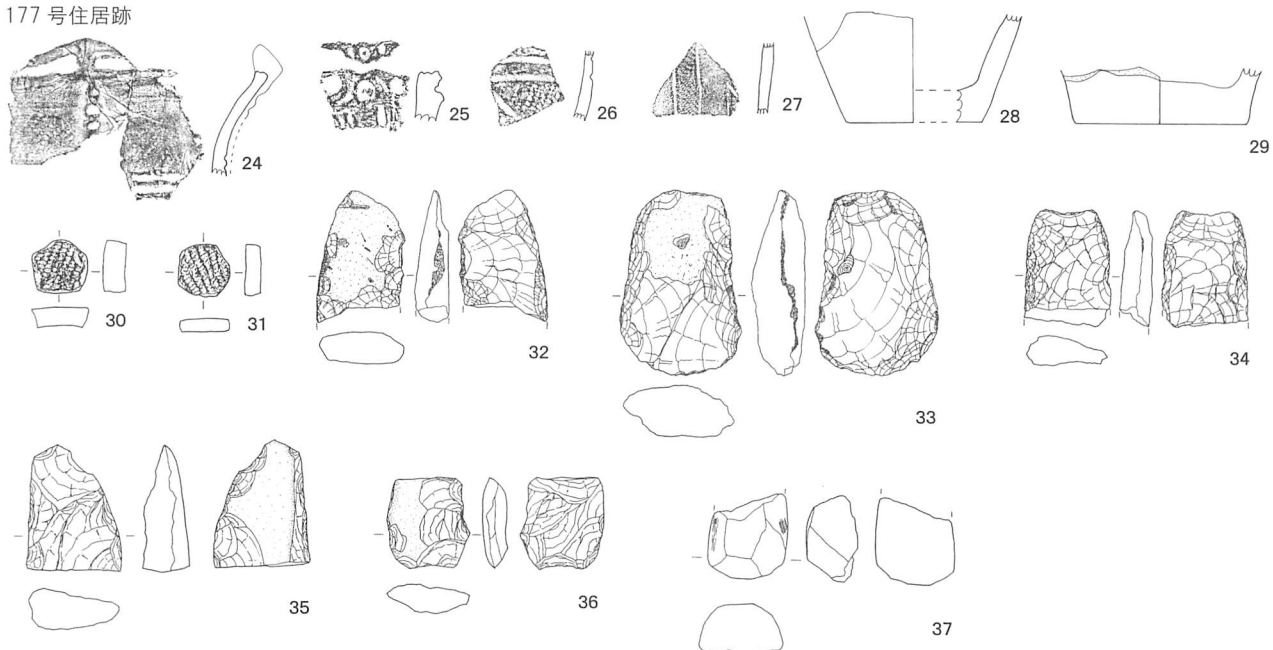
図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	口径・ 長	口径・ 長	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定 生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
132 図	37	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁は内側に湾曲し、隆帯が貼付される / 砂粒多量含む / 内外面に赤色塗彩痕有。内面黒斑付着 / 注№ 488		縄文中期	口縁部片
	38	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁は内側に湾曲し、隆帯が貼付される / 砂粒多量含む / 内外面に赤色塗彩痕有。内面黒斑付着 / 注№ 134、137		縄文中期	口縁部片
	39	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁は内側に湾曲し、突帯が巡る / 砂粒多量含む / 外面に赤色塗彩痕有 / 注№ 145、B 区 -4		縄文中期	口縁部片
	40	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口唇部に連続爪形文。 / 砂粒多量含む。雲母片多量含む。 / 焼成後の穿孔有。 / 注№ 373		縄文中期	口縁部片
	41	180 号住居跡	縄文土器・ 注口土器	—	—	—	地文に R 右巻きの燃糸文を縦位に施文後、沈線で文様帯を区画、渦巻文や交互刺突を施文する / 砂粒多量含む。角閃石含む / 注№ 81		縄文中期・勝坂 3	注口部
	42	180 号住居跡	縄文土器・ 有孔鏝付土器	—	—	—	輪積み成形 / 直立する口縁下端に径 3.5 mm の孔が 3cm 間隔で並ぶ。穿孔は焼成前。鏝は 2 重に巡り、幅広の環状把手が付く / 砂粒多量含む。角閃石含む / 内外面に赤色塗彩痕有 / 注№ 337		縄文中期・新道	口縁部片 / № 43 と 同一個体
	43	180 号住居跡	縄文土器・ 有孔鏝付土器	—	—	—	輪積み成形 / 幅広の環状把手が付く鏝部分 / 砂粒多量含む。角閃石含む / 内面に赤色塗彩痕有 / 注№ B 区 -4		縄文中期・新道	鏝部片 / № 42 と同一個体
	44	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / やや幅広の突帯が巡る / 砂粒多量含む。角閃石含む / 内外面に赤色塗彩痕有 / 注№ C 区 -4		縄文中期	口縁部片
	45	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁は内側に湾曲する / 砂粒多量含む / 内外面に赤色塗彩痕有 / 注№ B 区 -2		縄文中期	口縁部片
	46	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁は内側に湾曲する / 砂粒多量含む / 内外面に赤色塗彩痕有 / 注№ C 区 -4		縄文中期	口縁部片
	47	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 砂粒多量含む / 内面は黒斑もしくは黒色塗彩の上に赤色塗彩痕有 / 注№ C 区 -5		縄文中期	胴部片
	48	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 砂粒多量含む / 内面は黒斑もしくは黒色塗彩の上に赤色塗彩痕有 / 注№ C 区 -3		縄文中期	胴部片
	49	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 砂粒多量含む / 内面は黒斑もしくは黒色塗彩の上に赤色塗彩痕有 / 注№ B 区 -3		縄文中期	胴部片
	50	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 砂粒多量含む / 内面には赤色塗彩痕有。外面は黒斑もしくは黒色塗彩の上に赤色塗彩痕有 / 注№ P4-2		縄文中期	胴部片
	51	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 砂粒多量含む / 内外面に黒斑もしくは黒色塗彩の上に赤色塗彩痕有 / 注№ B 区 -5、CD ベルト 1		縄文中期	胴部片
	52	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 砂粒多量含む。 / 内面は黒斑もしくは黒色塗彩の上に赤色塗彩痕有。 / 注№ C 区 -3		縄文中期	胴部片
	53	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 砂粒多量含む / 外面は黒斑もしくは黒色塗彩の上に赤色塗彩痕有 / 注№ C 区 -5		縄文中期	胴部片
	54	180 号住居跡	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 砂粒多量含む / 内面は黒斑もしくは黒色塗彩の上に赤色塗彩痕有 / 注№ B 区 -4		縄文中期	胴部片
	55	180 号住居跡	縄文土器・ 土製円盤	—	—	—	土器片を円形に打ち欠く / 砂粒多量含む / 内面に赤色塗彩痕有 / 注№ B 区 -5		縄文中期	胴部片
	56	180 号住居跡	土製品・燭笛	—	—	—	型合わせ成形 / 透明釉 / 注№ BC ベルト 1		19C 後半	吹き口部
	57	180 号住居跡	焼成粘土塊	—	—	—	注№ CD ベルト 1			
	58	180 号住居跡	炉壁	—	—	—	製鉄関連の炉壁片 / 注№ D 区 -4		奈良・平安	
	59	180 号住居跡	土製品・泥面子	2.7	2.3	0.8	型押成形 / ヒョットコ。裏面に指頭圧痕 / 砂粒少量含む / 注№ B 区 -2		1790 年代～ 1890 年代	完形
133 図	60	180 号住居跡	石器・石鏃	(1.71)	1.34	0.37	重量 0.74g 押圧剥離 / 注№ C 区 -1	チャート	縄文時代	先端欠
	61	180 号住居跡	石器・楔形	1.5	1.4	0.7	重量 0.95g 両極技法 / 注№ C 区 -2	黒曜石	縄文時代	完形
	62	180 号住居跡	石器・打製石斧	11.2	4.4	1.55	重量 106.39g 両極敲打技法 / 注№ 113 周溝	砂岩	縄文時代	完形
	63	180 号住居跡	石器・打製石斧	(9.43)	4.85	1.45	重量 71.62g 両極敲打技法 / 注№ 172	片岩	縄文時代	刃部欠
	64	180 号住居跡	石器・打製石斧	(8.20)	5.13	2.60	重量 123.7g 両極敲打技法 / 注№ 57	ホルンフェ ルス	縄文時代	刃部欠
	65	180 号住居跡	石器・打製石斧	(8.95)	4.90	3.10	重量 134.4g 両極敲打技法 / 注№ 60	砂岩	縄文時代	刃部欠
	66	180 号住居跡	石器・打製石斧	(7.90)	5.88	1.78	重量 79.72g 両極敲打技法 / 注№ 103	ホルンフェ ルス	縄文時代	基部欠
	67	180 号住居跡	石器・打製石斧	(9.85)	5.40	2.90	重量 189.3g 両極敲打技法 / 注№ 390 床直	砂岩	縄文時代	刃部欠
	68	180 号住居跡	石器・打製石斧	(9.10)	5.30	1.60	重量 88.1g 両極敲打技法 / 注№ 407	砂岩	縄文時代	基部欠
	69	180 号住居跡	石器・打製石斧	(9.73)	5.08	1.48	重量 66.65g 両極敲打技法 / 注№ D 区 -4	ホルンフェ ルス	縄文時代	刃部欠
	70	180 号住居跡	石器・打製石斧	(10.20)	5.00	1.95	重量 108.98g 両極敲打技法 / 注№ CD ベルト 1	片岩	縄文時代	基部欠
	71	180 号住居跡	石器・打製石斧	9.60	4.77	1.87	重量 106.8g 両極敲打技法 / 注№ 308	黒色安山岩	縄文時代	完形
	72	180 号住居跡	石器・打製石斧	(6.78)	(4.90)	1.13	重量 45.2g 両極敲打技法 / 注№ 177	ホルンフェ ルス	縄文時代	刃部欠
	73	180 号住居跡	石器・打製石斧	(6.45)	4.65	2.17	重量 70.80g 両極敲打技法 / 注№ C 区 -2	ホルンフェ ルス	縄文時代	基部欠
	74	180 号住居跡	石器・打製石斧	(6.80)	(3.68)	1.80	重量 50.31g 両極敲打技法 / 注№ C 区 -5	片岩	縄文時代	刃部欠
	75	180 号住居跡	石器・打製石斧	(8.40)	4.90	1.27	重量 60.71g 両極敲打技法 / 注№ C 区 -2	黒色頁岩	縄文時代	基部欠
	76	180 号住居跡	石器・打製石斧	4.5	4.90	2.0	重量 53.24g 両極敲打技法 / 注№ 216	ホルンフェ ルス	縄文時代	刃部欠
	77	180 号住居跡	石器・打製石斧	7.9	5.30	4.20	重量 193.60g 両極敲打技法 / 注№ 96	砂岩	縄文時代	刃部、基部欠
	78	180 号住居跡	石器・敲石	6.8	4.20	0.8	重量 38.64g / 注№ 365	頁岩	縄文時代	破片
	79	180 号住居跡	石器・磨製石斧	11.0	4.40	4.1	重量 306.1g 敲打後磨製成形 / 注№ 483 床直	凝灰岩	縄文時代	基部欠
	80	180 号住居跡	石器・敲石	6.7	1.90	1.6	重量 33.45g 先端に敲打痕有 / 注№ B 区 -3	安山岩？	縄文時代	基部欠
	81	180 号住居跡	石器・磨製石斧、 敲石	7.6	4.50	3.1	重量 176.2g 先端に敲打痕有 / 注№ 401	凝灰岩	縄文時代	基部欠
	82	180 号住居跡	石器・敲石	11.0	5.10	2.0	重量 170.29g 側面に敲打痕有 / 注№ C 区 -2	砂岩	縄文時代	一部欠
	83	180 号住居跡	石器・敲石	11.6	3.10	1.2	重量 69.4g 先端に敲打痕有 / 注№ 236 床直	砂岩	縄文時代	一部欠
	84	180 号住居跡	石器・くぼみ石	11.0	13.90	1.9	重量 422.3g 径 2.0 cm の孔 1 ヶ所有 / 注№ 271	片岩	縄文時代	一部欠

図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定 生産地	推定年代・時期	残存 / 備考
134 図	1	土坑 1	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 幅広突帯に沈線による文様。砂粒多量含む。角閃石含む / 注No 1D-2		縄文中期・勝坂 3	口縁部片
	2	土坑 1	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯による区画。隆帯上はへら状工具による連続刺突と交互刺突。区画内は沈線による三叉文と連続刺突で充填する / 砂粒多量含む / 注No 1D-3		縄文中期・勝坂 3	口縁部片
	3	土坑 1	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL 縄文を縦位に施文 / 砂粒多量含む / 注No 1D-2		縄文中期	口縁部片
	4	土坑 1	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL 縄文を横位に施文 / 砂粒多量含む / 注No 1D-1		縄文中期	口縁部片
	5	土坑 1	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / R 右巻きの燃糸文を縦位に施文後、2 本組みの隆帯を貼付、脇を沈線で押さえる / 砂粒多量含む / 注No 1D-1		縄文中期・加曾 利 E I	胴部片
	6	土坑 1	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / R 右巻きの燃糸文を縦位に施文 / 砂粒多量含む / 注No 1D-3		縄文中期	胴部片
	7	土坑 1	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL 縄文を縦位に施文後、沈線で蛇行懸垂文を描く / 砂粒多量含む / 注No 1D-3		縄文中期・加曾 利 E II	胴部片
	8	土坑 1	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / LR 縄文を横位に施文 / 砂粒多量含む / 注No 1D-3		縄文中期	胴部片
	9	土坑 1	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁は内側に屈曲する。沈線による施文 / 砂粒多量含む / 注No 1D-2		縄文中期	胴部片
	10	土坑 1	縄文土器・鉢	—	(8.0)	(2.65)	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注No 1D-2		縄文時代	底部片
	11	土坑 2	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 三角押文で文様描写 / 砂粒多量含む / 注No 2D-2		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	12	土坑 2	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は R 右巻きの燃糸文を縦位に施文。隆帯で囲い、脇を沈線で押さえる / 砂粒多量含む / 注No 2D-2		縄文中期・加曾 利 E I	口縁部片
	13	土坑 2	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL 縄文を縦位に施文後、平行沈線内を内形工具で連続刺突 / 砂粒多量含む / 注No 2D-2		縄文中期・加曾 利 E II、連弧	口縁部片
	14	土坑 2	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は R 右巻きの燃糸文を縦位に施文 / 砂粒多量含む / 注No 2D-2		縄文中期	胴部片
	15	土坑 2	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は R 右巻きの燃糸文を縦位に施文 / 砂粒多量含む / 注No 2D-3		縄文中期	胴部片
	16	土坑 2	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL 縄文を縦位に施文後、沈線で蛇行懸垂文を描く / 砂粒多量含む / 注No 2D-2		縄文中期・加曾 利 E II	胴部片
	17	土坑 2	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 沈線で波状文を描く / 砂粒多量含む / 注No 2D-4		縄文中期	胴部片
	18	土坑 2	縄文土器・鉢	—	(10.0)	(2.3)	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注No 2D-4		縄文時代	底部片
	19	土坑 3	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯による格門区画。区画内は縦位の沈線列で充填する / 砂粒多量含む / 注No 3D-2		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	20	土坑 3	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 沈線列で充填する / 砂粒多量含む / 注No 3D-1		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	21	土坑 3	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL 縄文を縦位に施文 / 砂粒多量含む / 注No 3D-1		縄文中期	胴部片
	22	土坑 3	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL 縄文を縦位に施文 / 砂粒多量含む / 注No 3D-1		縄文中期	胴部片
	23	P3	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯貼付 / 砂粒多量含む / 注No P3-2		縄文中期	胴部片
	24	P6	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯による文様区画。隆帯上は爪形連続刺突 / 砂粒多量含む / 注No P6		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	25	P6	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁部の小把手。隆帯を貼付する / 砂粒多量含む。雲母片含む / 注No P6		縄文中期・阿玉台	口縁部片
	26	P7	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文はし右巻きの燃糸文を縦位に施文。粘土紐の波状懸垂文を貼付 / 砂粒多量含む / 注No P7-2		縄文中期・曾利 II	胴部片
	27	P8	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁部の小把手。隆帯を貼付する。隆帯上は連続刺突 / 砂粒多量含む。雲母片含む / 注No P8-2		縄文中期・勝坂 3	口縁部片
	28	P8	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL 縄文を縦位に施文 / 砂粒多量含む / 注No P8-1		縄文中期	胴部片
	29	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 波状口縁部。隆帯による区画内脇を、半蔵竹管により平行した連続刺突を巡らせる / 砂粒多量含む。雲母片含む / 注No H2		縄文中期・ 阿玉台 I b 期	口縁部片
	30	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯脇に連続刺突 / 砂粒多量含む。雲母片含む / 注No H1		縄文中期・ 阿玉台 I b 期	胴部片
	31	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 隆帯脇に角押文を 3 列施文 / 砂粒多量含む。雲母片含む / 注No H1		縄文中期・ 阿玉台 II 期	胴部片
	32	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁部の小把手。環状の隆帯を内外面に貼付する。隆帯端に連続刺突 / 砂粒多量含む。雲母片含む / 注No H5		縄文中期・勝坂 3	口縁部片
	33	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 沈線に平行して連続刺突と半円形刺突を施文 / 砂粒多量含む / 注No H5		縄文中期・勝坂 3	胴部片
	34	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 波状口縁部。口縁は幅広の突帯。胴部は地文 R 右巻きの燃糸文を縦位に施文 / 砂粒多量含む / 注No H5		縄文中期・勝坂 3	口縁部片
	35	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁部は無文。胴部は RL 縄文を縦位に施文。口縁部の隆帯を貼付後脇を沈線で押さえる。沈線による懸垂文を施文 / 砂粒多量含む / 注No H1		縄文中期・ 加曾利 E I	口縁部片
	36	遺構外	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注No 1 トレ H1		縄文中期	口縁部片
	37	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁部は僅かに波状。地文は縦位の沈線列。隆帯で円形と格門区画を配し、脇を沈線で押さえる / 砂粒多量含む / 注No H1		縄文中期・ 加曾利 E II	口縁部片
	38	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / RL 縄文を横位に施文 / 砂粒多量含む。角閃石含む / 注No H5		縄文中期	口縁部片
	39	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は条線を縦位に施文。口縁へ沈線を 2 列巡らす / 砂粒多量含む / 注No 1 トレ H1		縄文中期・加曾 利 E II、連弧	口縁部片
	40	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は条線を縦位に施文。口縁へ沈線を 2 列と 3 列の連弧文 / 砂粒多量含む / 注No 1 トレ H1		縄文中期・加曾 利 E II、連弧	口縁部片
	41	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 沈線による施文 / 砂粒多量含む / 注No H5		縄文中期	胴部片
	42	遺構外	縄文土器・深鉢	—	—	—	輪積み成形 / 地文は条線を縦位に施文。沈線で文様を描く / 砂粒多量含む / 注No H3		縄文中期	胴部片
	43	遺構外	縄文土器・浅鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁の断面三角。無文 / 砂粒多量含む / 注No H5		縄文中期	口縁部片
	44	遺構外	縄文土器・鉢	—	—	—	輪積み成形 / 口縁の断面三角。斜位の沈線列 / 砂粒多量含む / 注No H1		縄文中期・曾利 II	口縁部片
	45	遺構外	縄文土器・鉢	—	(6.4)	(1.5)	輪積み成形 / 無文 / 砂粒多量含む / 注No H5		縄文時代	底部片
	46	遺構外	鉄製品・刀子	—	—	—	鍛造品 / 注No H8			破片
	47	遺構外	鉄製品・釘	—	—	—	鍛造品 / 注No H4			頭部・先端欠
	48	遺構外	石器・打製石斧?	4.3	5.3	1.0	重量 33.56g / 注No H1	ホルン フェルス	縄文時代	
	49	遺構外	石器・打製石斧	16.37	8.05	4.35	重量 429.90g 両極敲打技法 / 注No H1	頁岩	縄文時代	完形
	50	遺構外	石器・ナイフ形	(2.90)	1.22	0.67	重量 1.49g 縦長剥片を素材に、基部両側片を調整剥離する / 注No H1	黒曜石	旧石器時代	先端欠
	51	遺構外	石器・楔形	2.1	1.5	0.6	重量 1.99g 両極技法 / 注No 2 トレ 1	黒曜石	縄文時代	完形

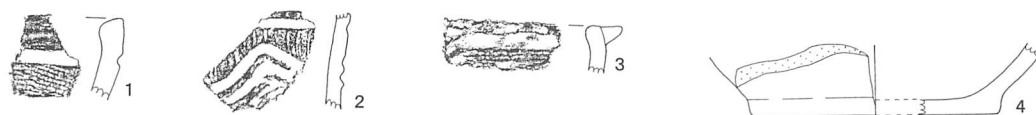


第 125 図 東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡出土遺物① (1/4)

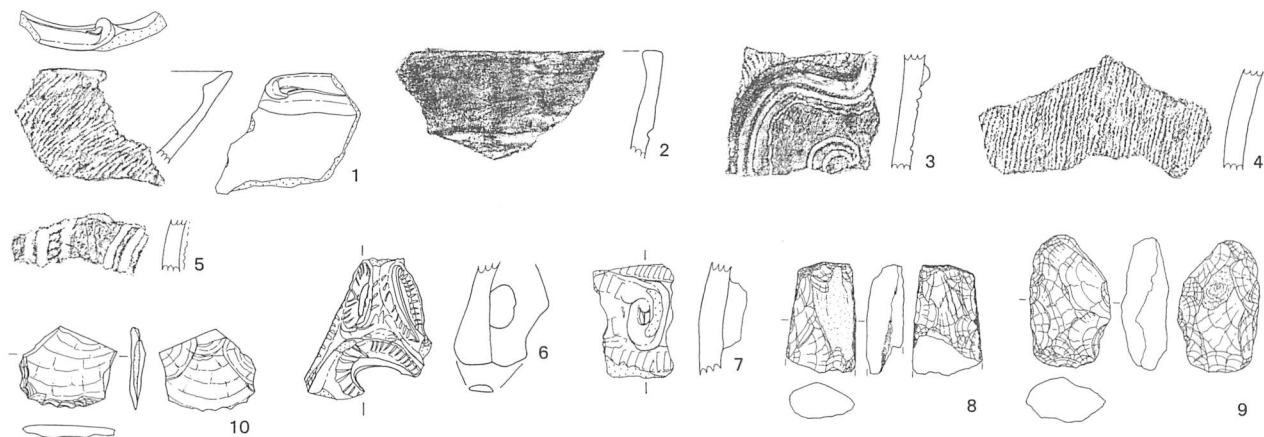
177 号住居跡

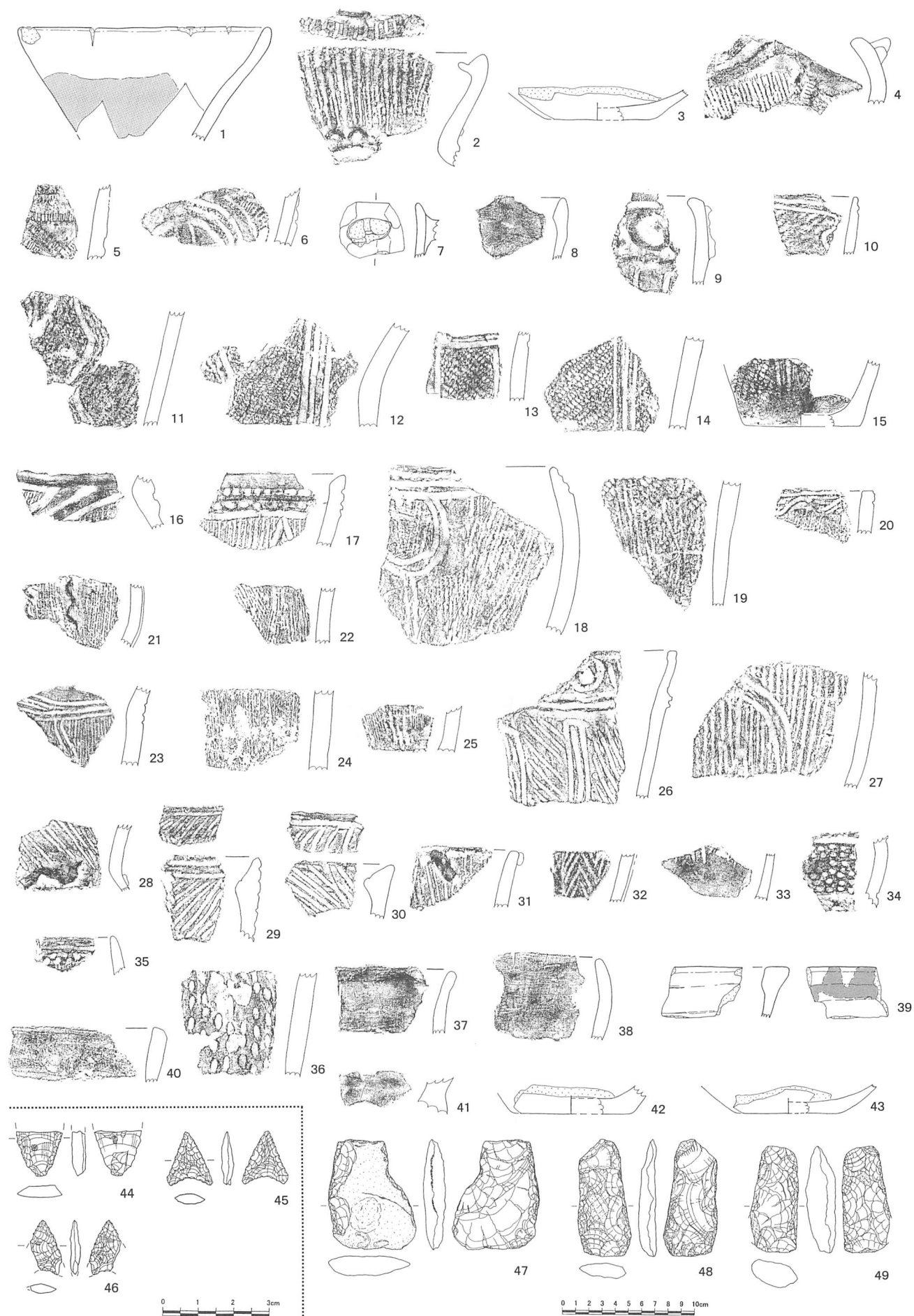


74 号住居跡



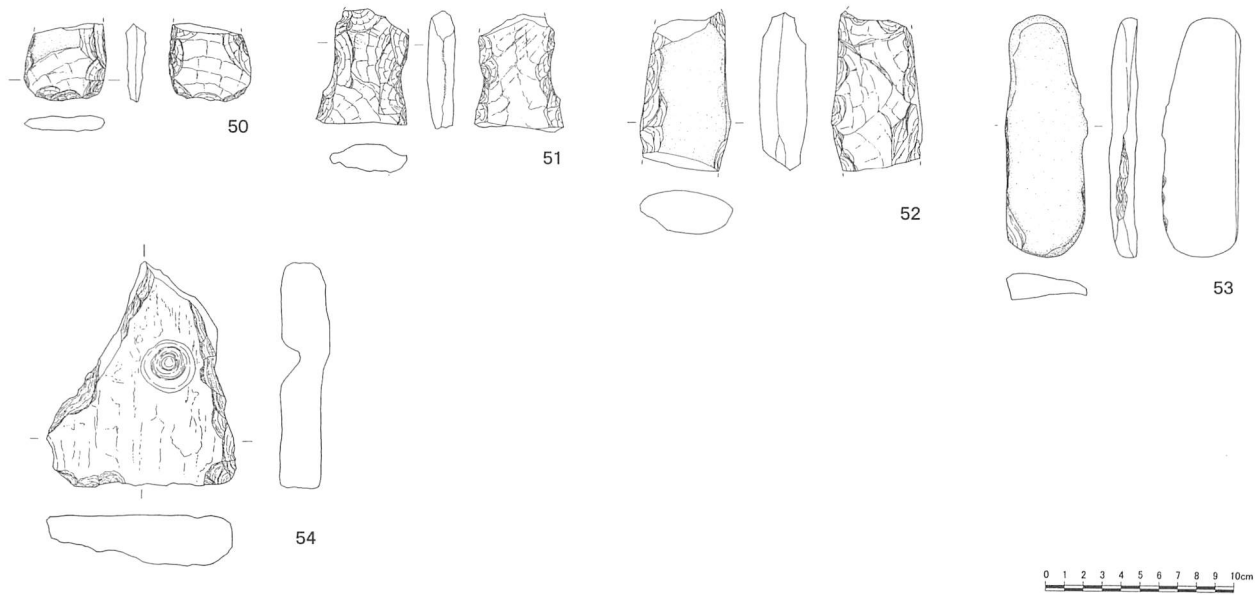
182 号住居跡



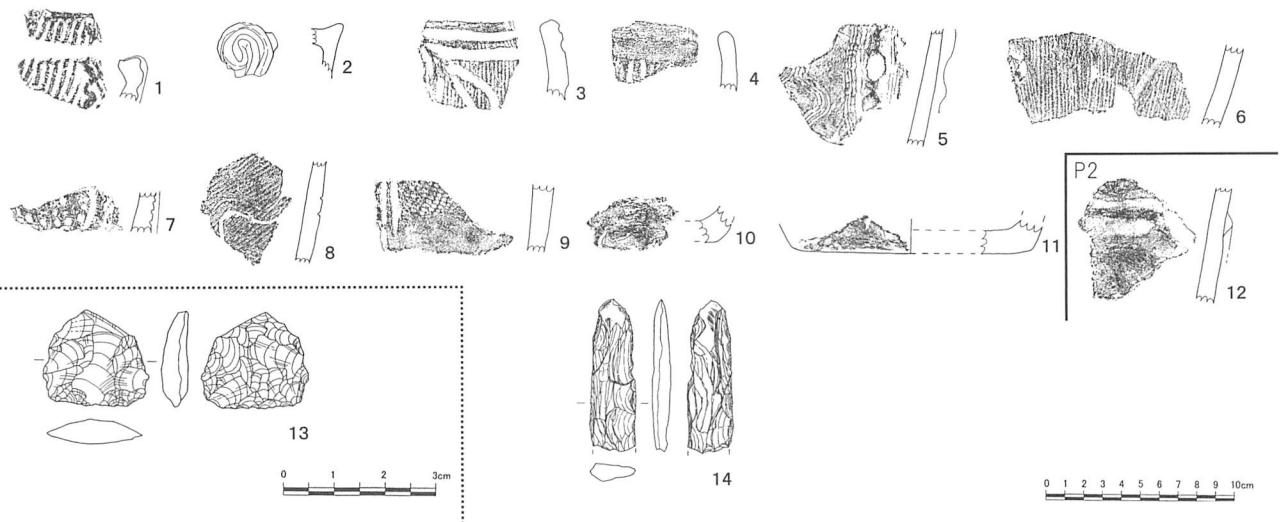


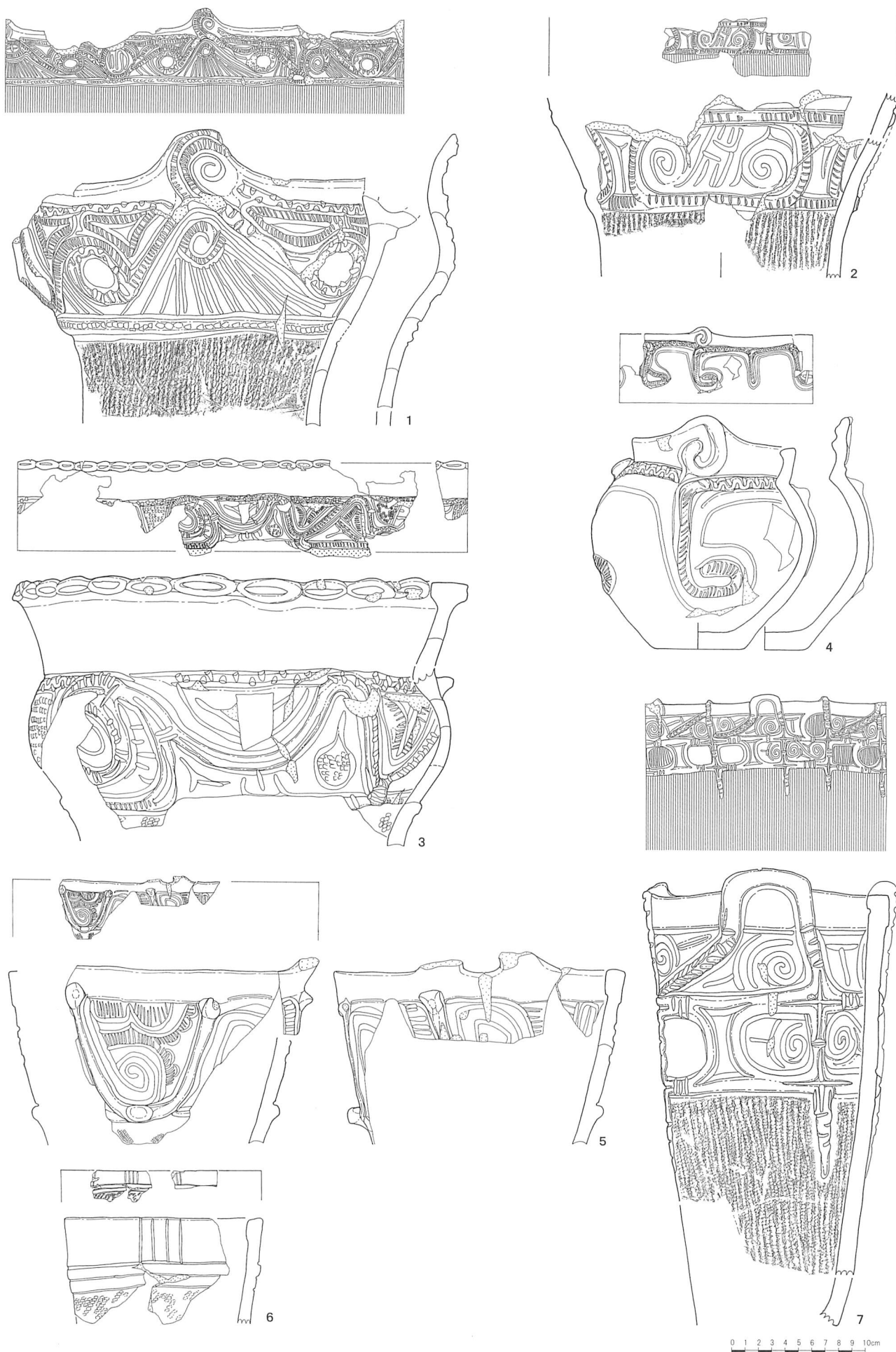
第127図 東台遺跡第51地点178号住居跡出土遺物① (1/4・2/3)

178 号住居跡

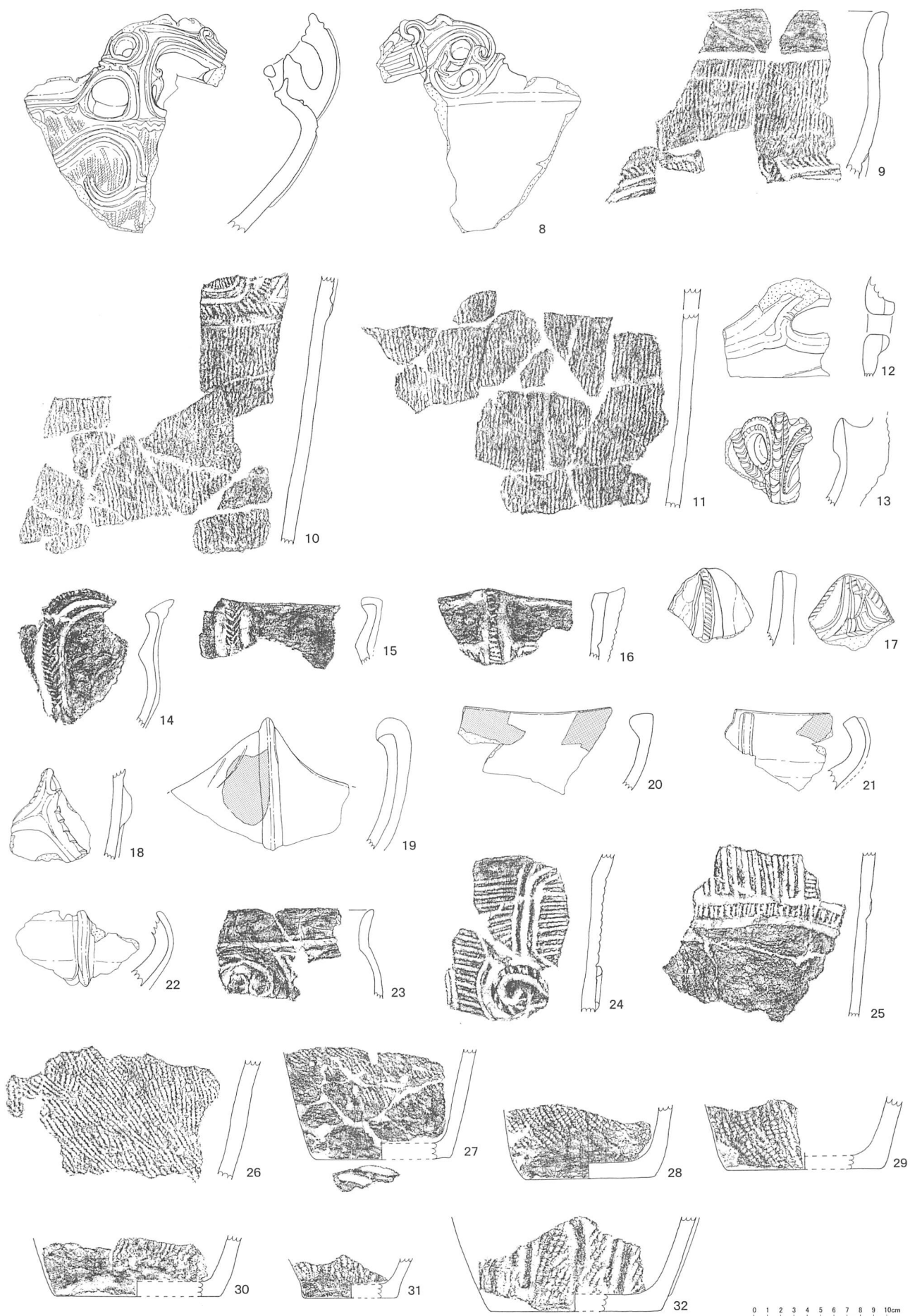


179 号住居跡

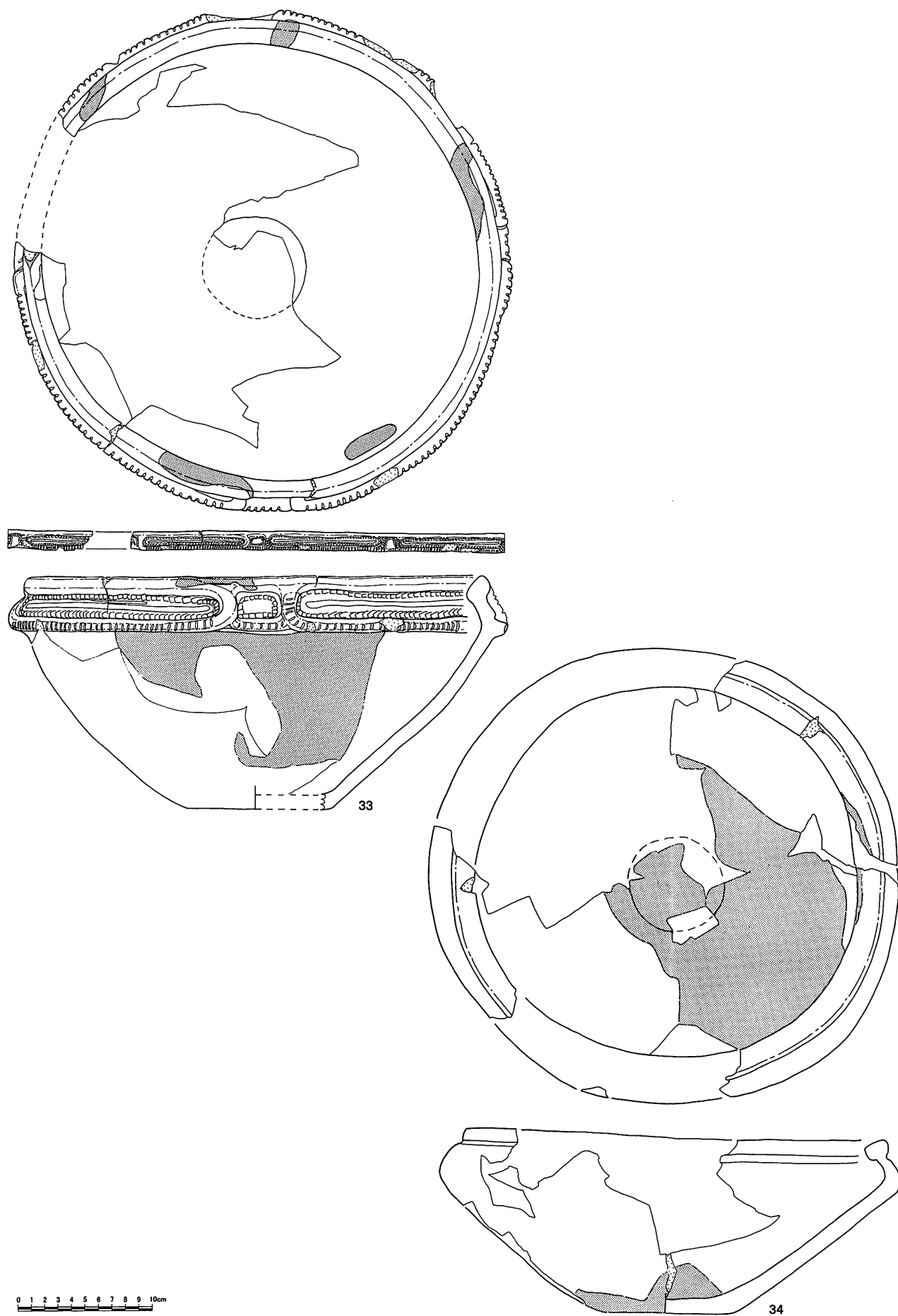




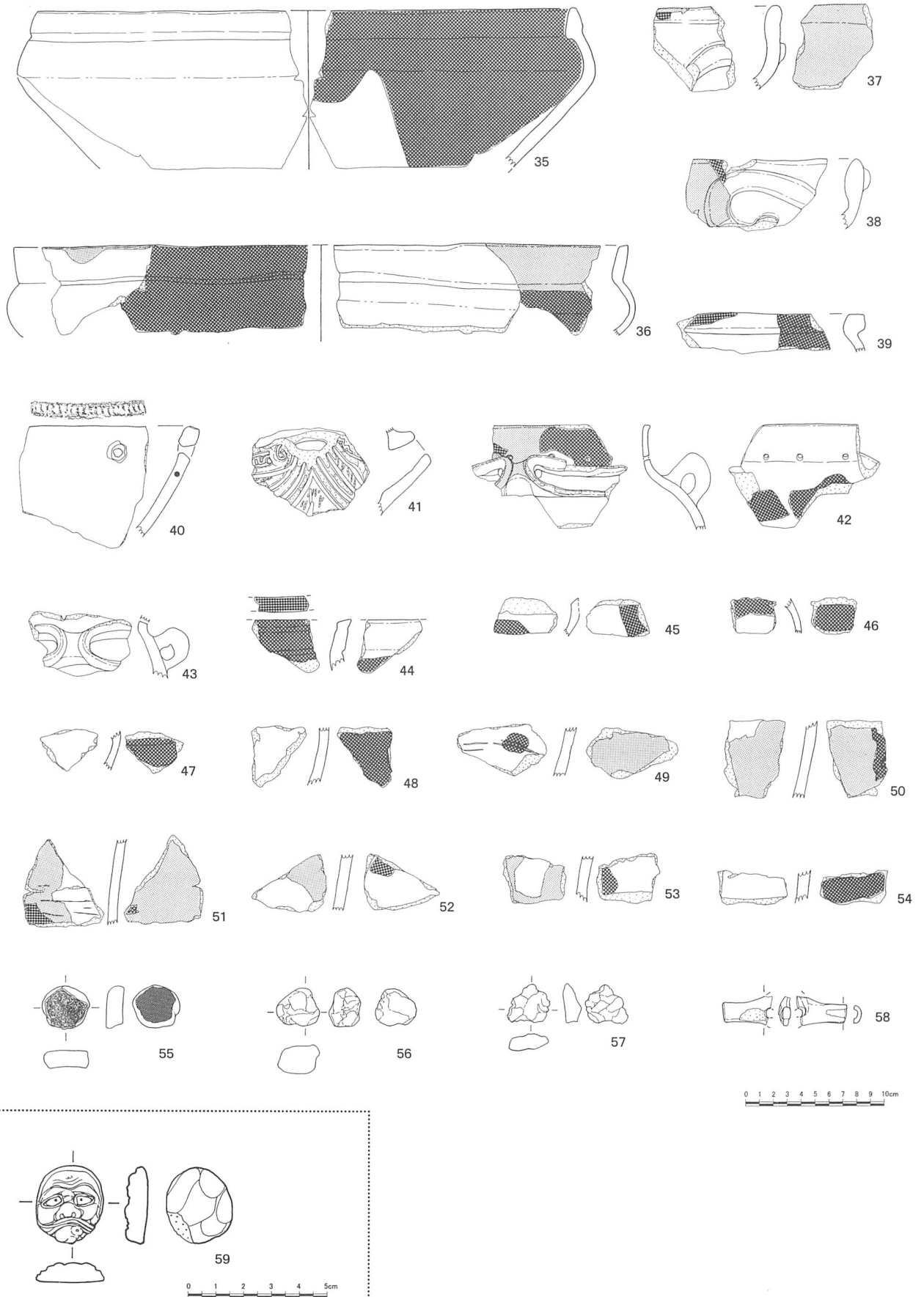
第 129 図 東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物① (1/4)



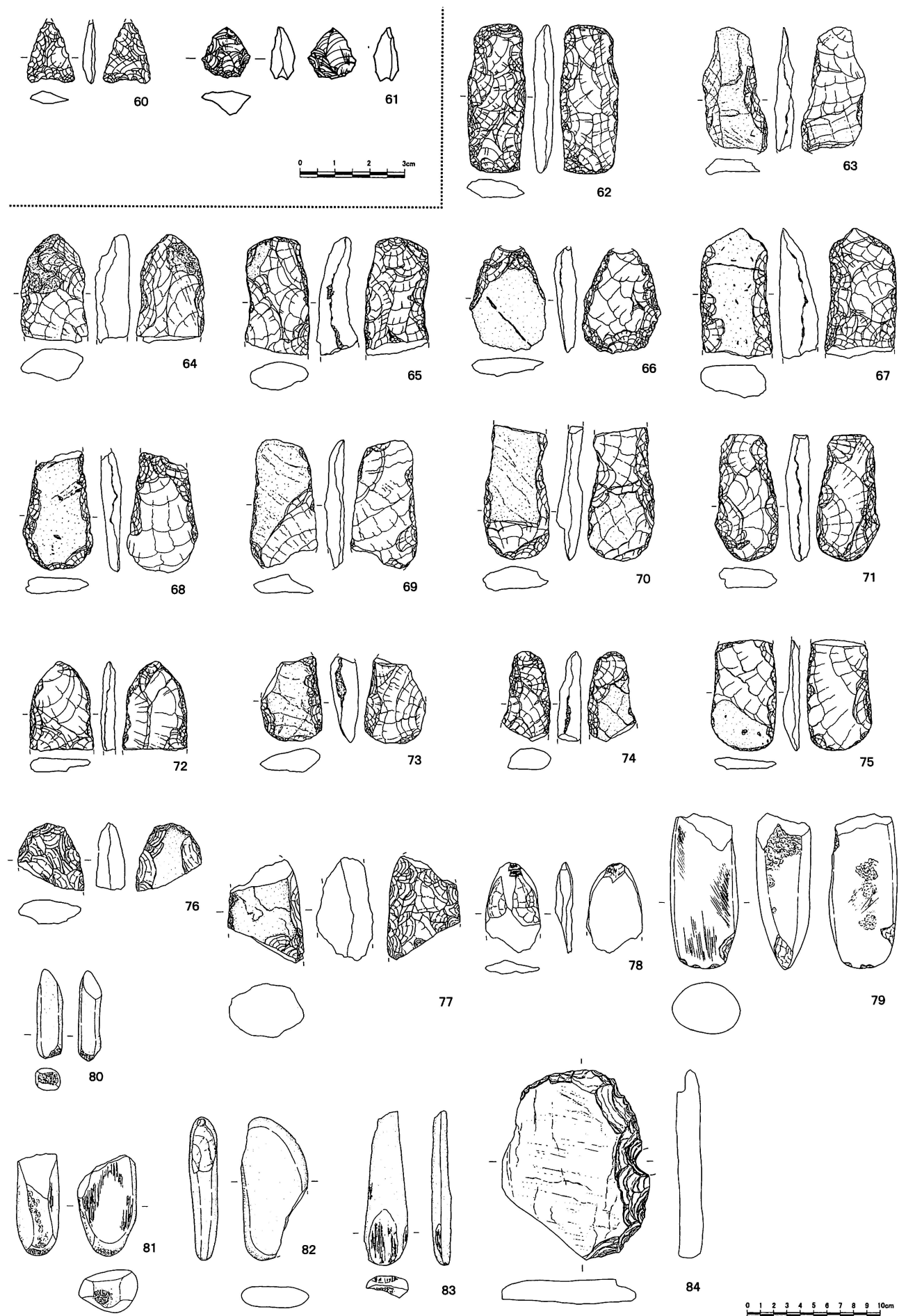
第 130 図 東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物② (1/4)



第 131 図 東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物③ (1/4)

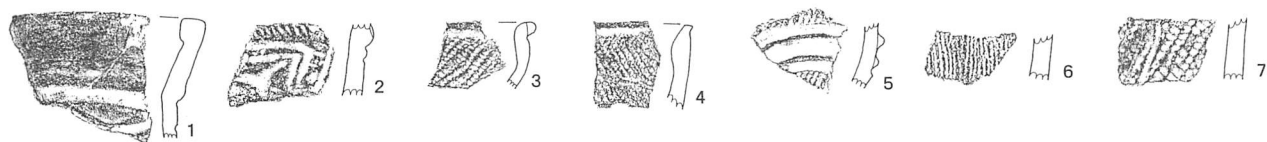


第 132 図 東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物④ (1/4・1/2)

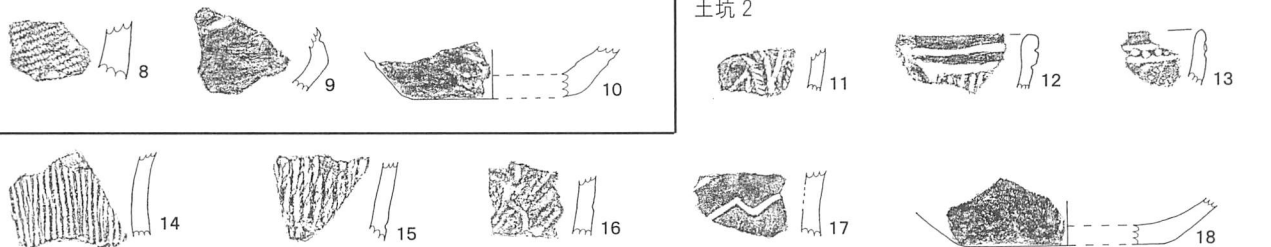


第 133 図 東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物⑤ (1/4・2/3)

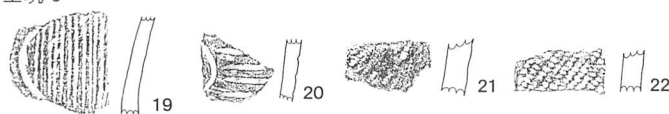
土坑 1



土坑 2



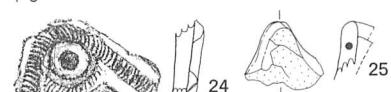
土坑 3



P3



P6



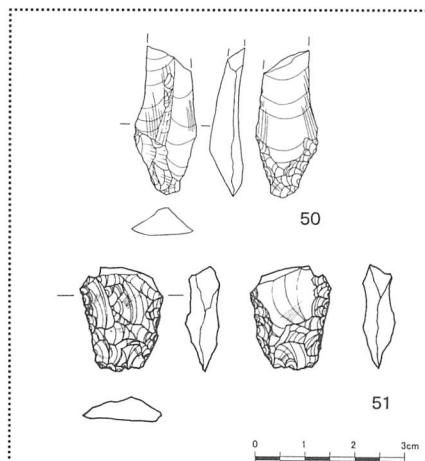
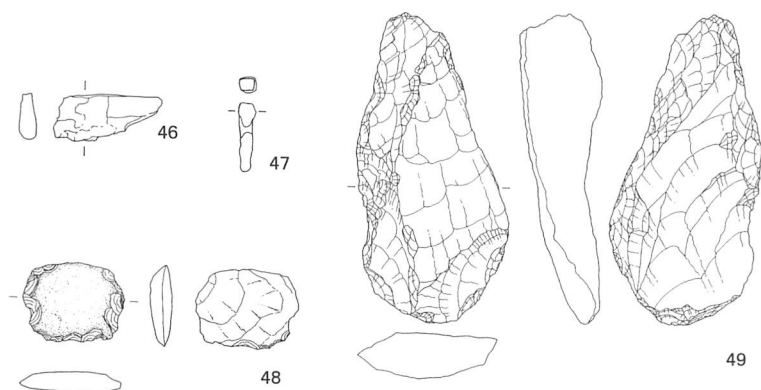
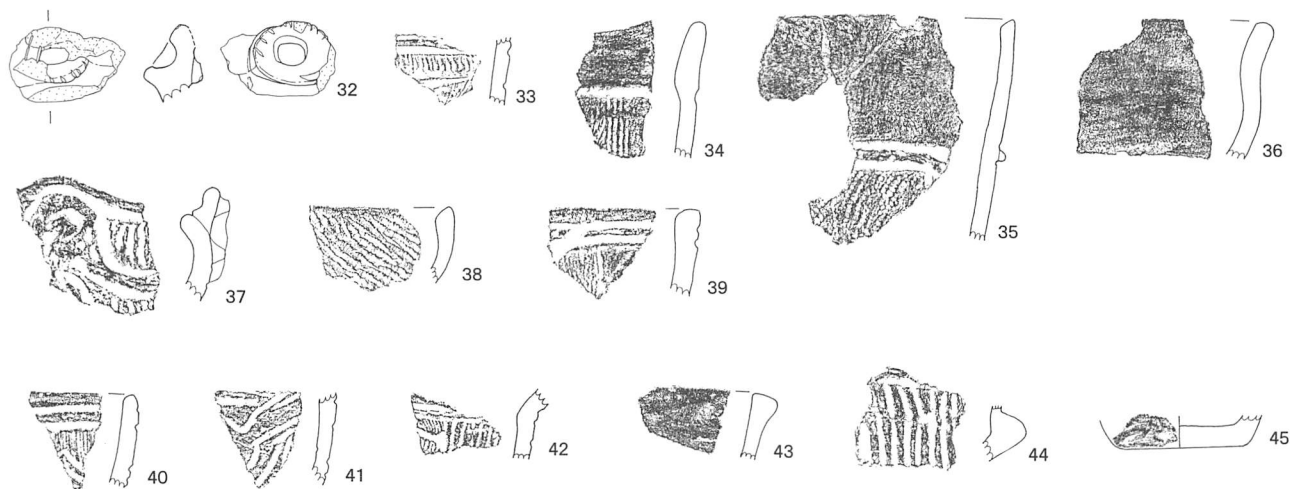
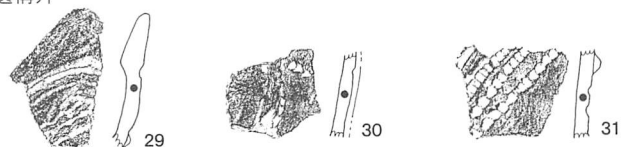
P7



P8



遺構外



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10cm

0 1 2 3cm

第 134 図 東台遺跡第 51 地点土坑・ピット・遺構外出土遺物 (1/4・2/3)

東台遺跡第 51 地点 (1)



東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡



東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡炉体



東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡炉



東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡遺物出土状況



東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡遺物出土状況

東台遺跡第 51 地点 (2)



東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡



東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡炉



東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡遺物出土状況



東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡 P1 遺物出土状況



東台遺跡第 51 地点 181 号住居跡

東台遺跡第 51 地点 (3)



東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡



東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡炉



東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡遺物出土状況

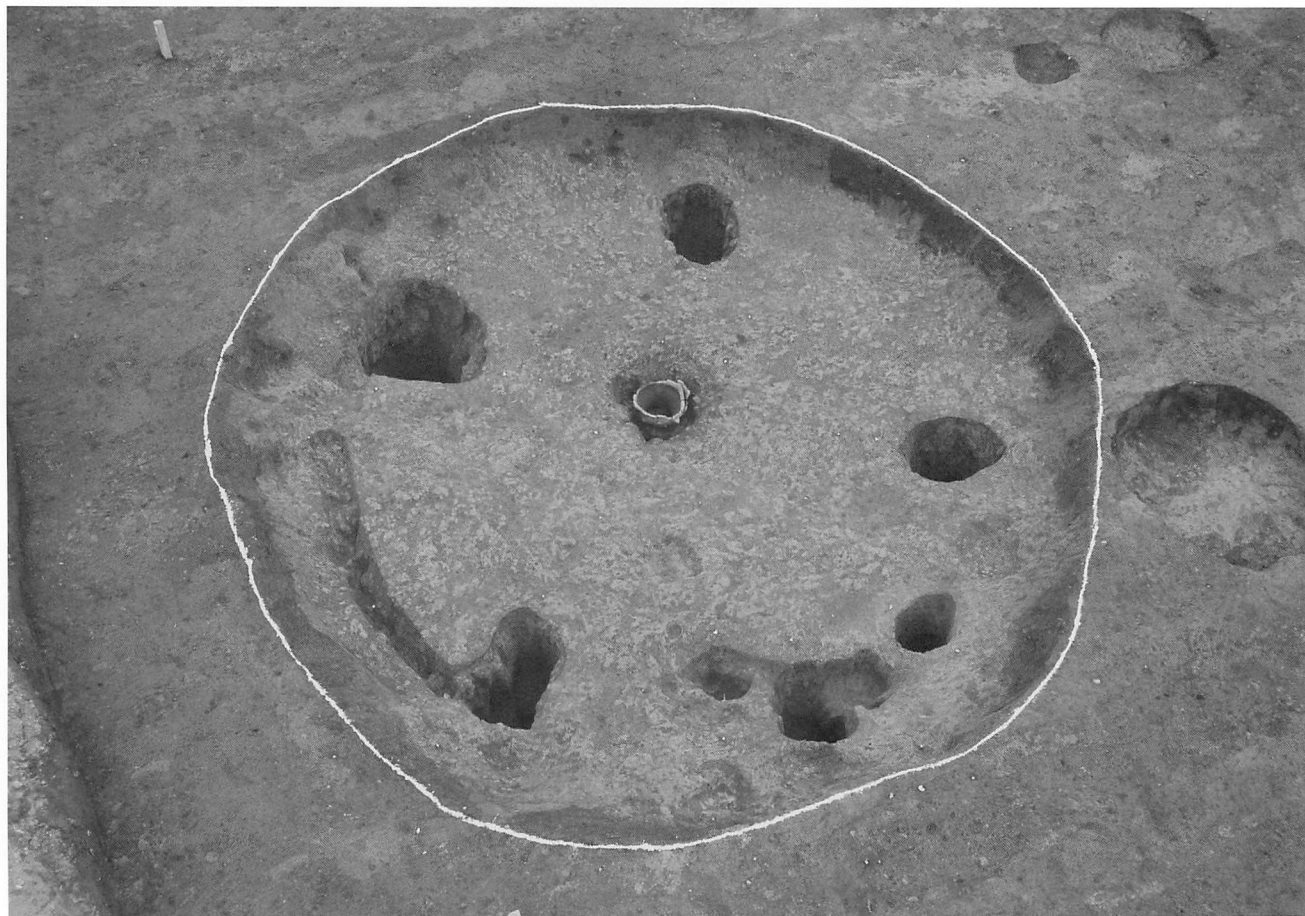


東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡遺物出土状況



東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡ピット 2

東台遺跡第 51 地点 (4)



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡炉体



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡遺物出土状況



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡遺物出土状況



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡遺物出土状況

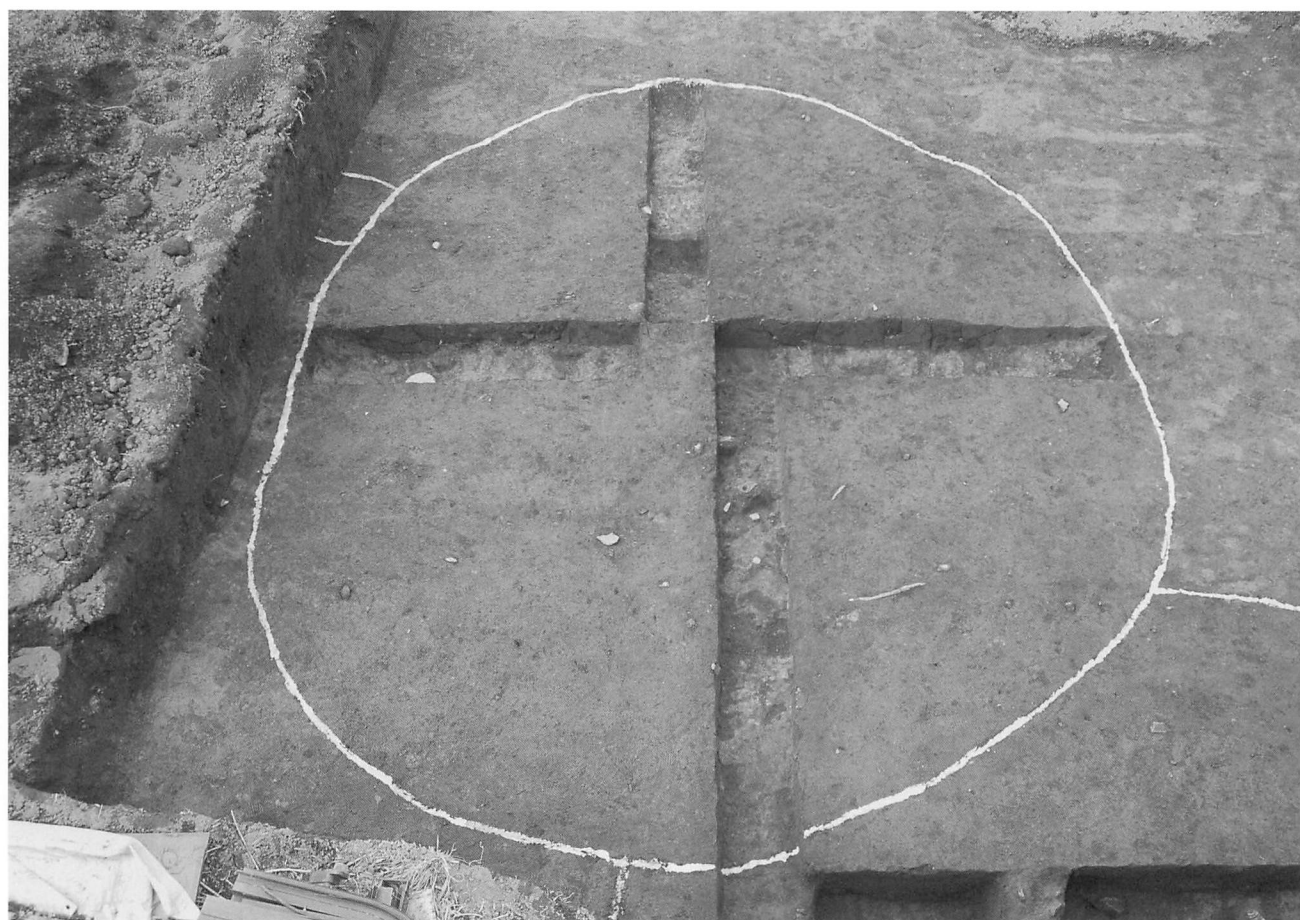
東台遺跡第 51 地点 (5)



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡遺物出土状況



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡完掘



東台遺跡第 51 地点 182 号住居跡全景

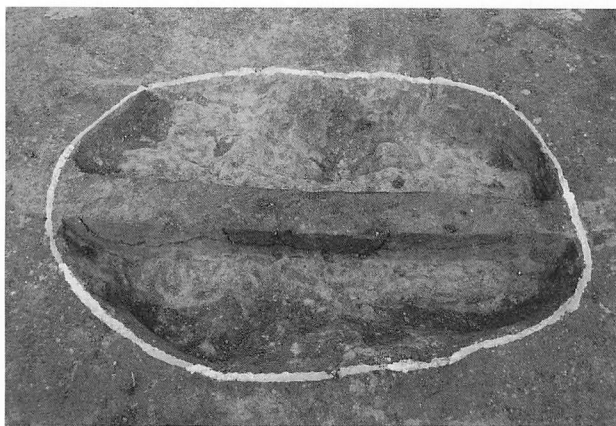


東台遺跡第 51 地点 182 号住居跡遺物出土状況

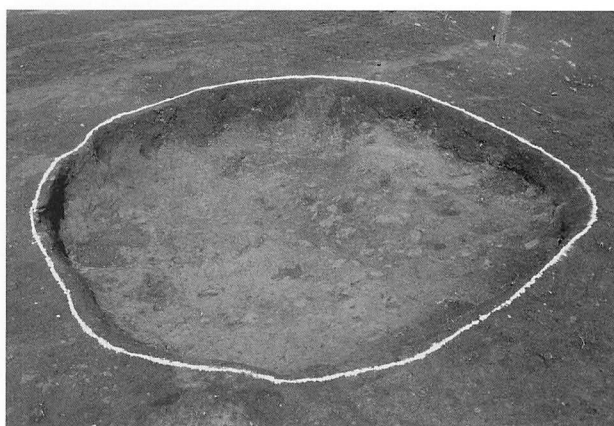


東台遺跡第 51 地点 182 号住居跡、土坑 1

東台遺跡第 51 地点 (6)



東台遺跡第 51 地点土坑 1



東台遺跡第 51 地点土坑 2



東台遺跡第 51 地点土坑 3



東台遺跡第 51 地点土坑 4



東台遺跡第 51 地点ピット 11



東台遺跡第 51 地点ピット 12

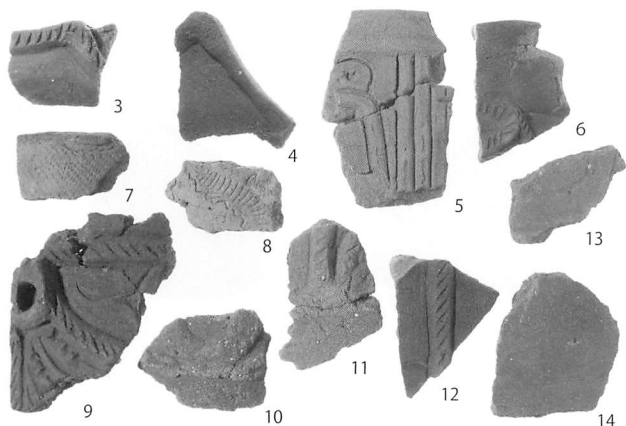


東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡出土遺物 No.1

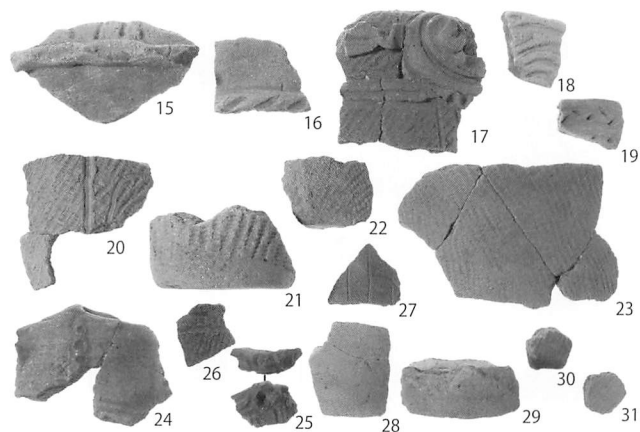


東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡出土遺物 No.2

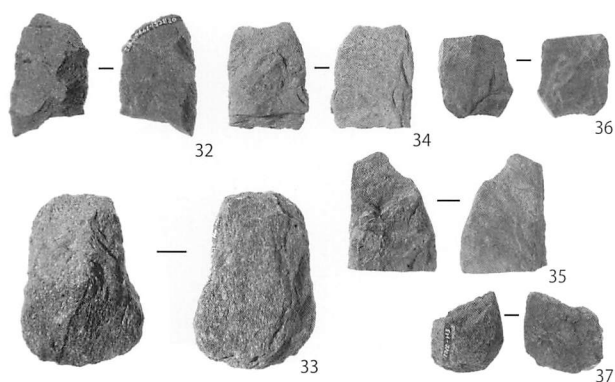
東台遺跡第 51 地点 (7)



東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡出土遺物 No.3 ~ 14



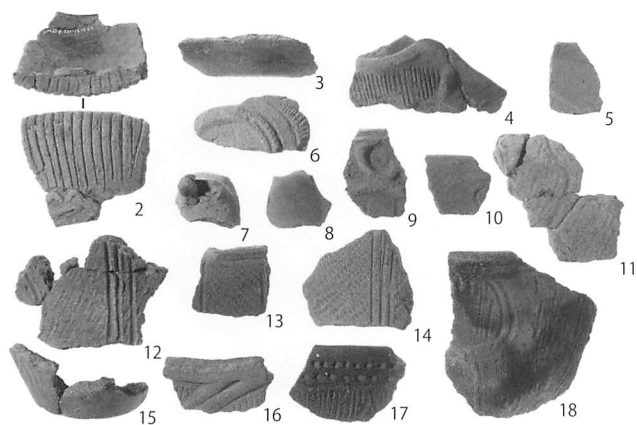
東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡出土遺物 No.15 ~ 31



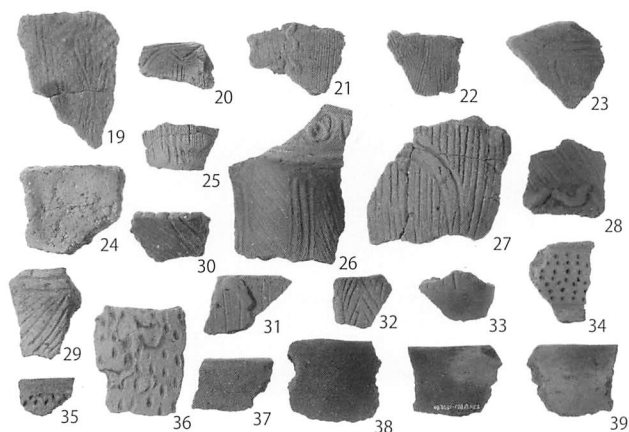
東台遺跡第 51 地点 177 号住居跡出土遺物 No.32 ~ 37



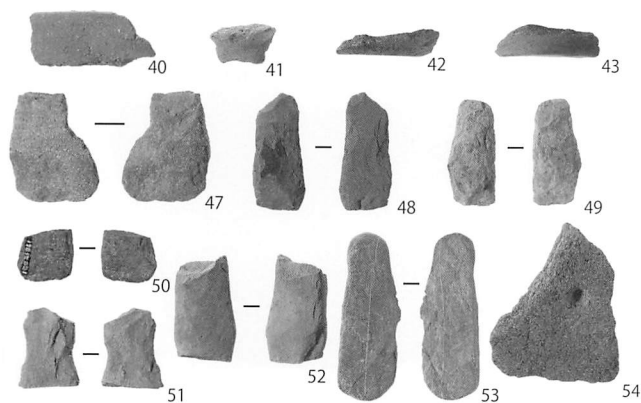
東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡出土遺物 No.1



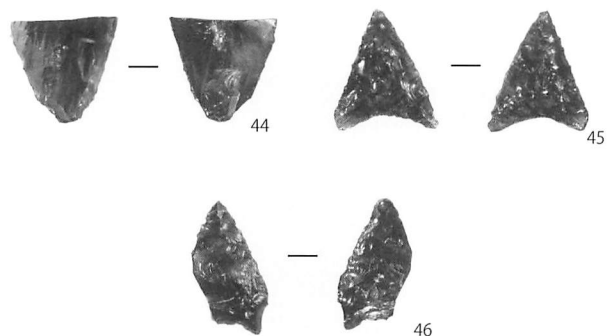
東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡出土遺物 No.2 ~ 18



東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡出土遺物 No.19 ~ 39

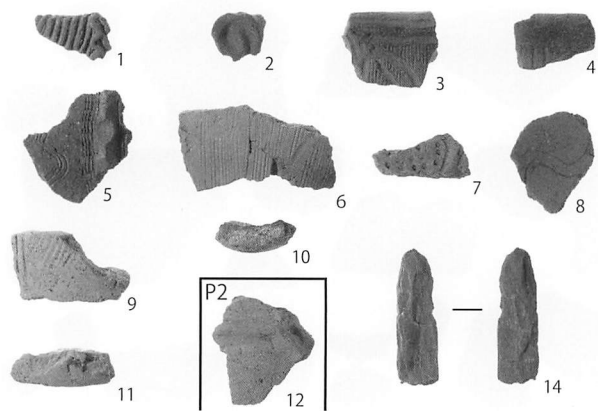


東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡出土遺物 No.41 ~ 43・47 ~ 54

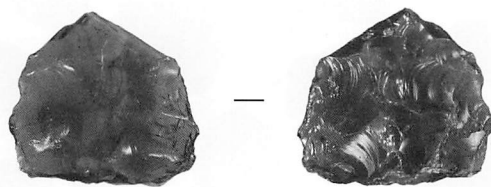


東台遺跡第 51 地点 178 号住居跡出土遺物 No.44 ~ 46

東台遺跡第 51 地点 (8)



東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡出土遺物 No.1 ~ 12・14



東台遺跡第 51 地点 179 号住居跡出土遺物 No.13



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.1



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.2



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.3



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.4

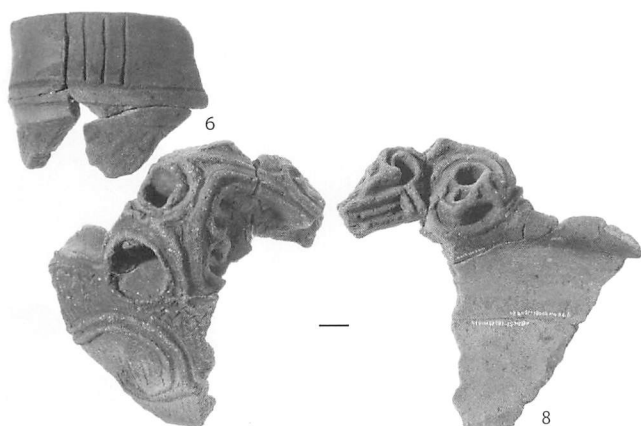


東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.5



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.5 正面

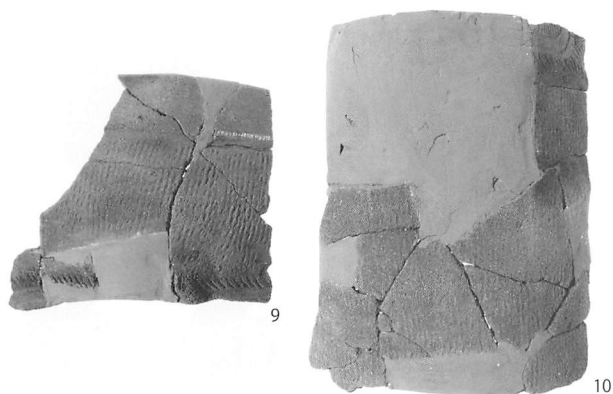
東台遺跡第 51 地点 (9)



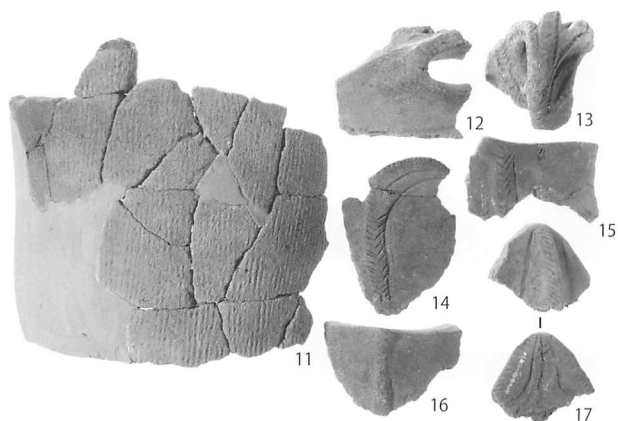
東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.6・8



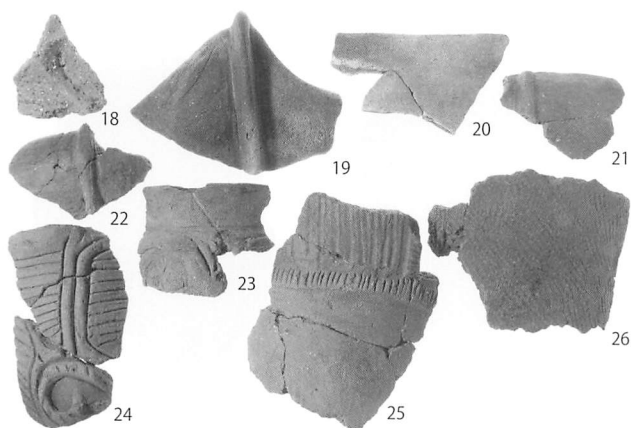
東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.7



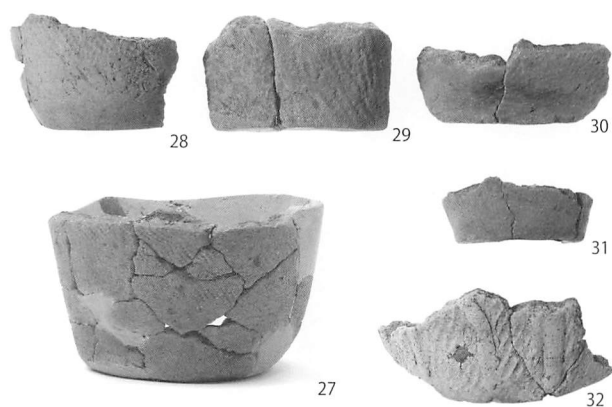
東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.9・10



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.11～17



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.18～26



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.27～32

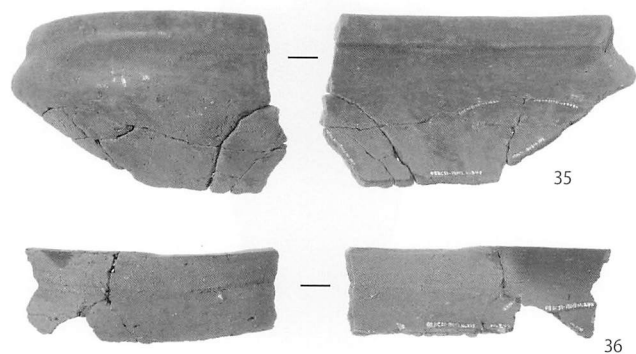


東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.33

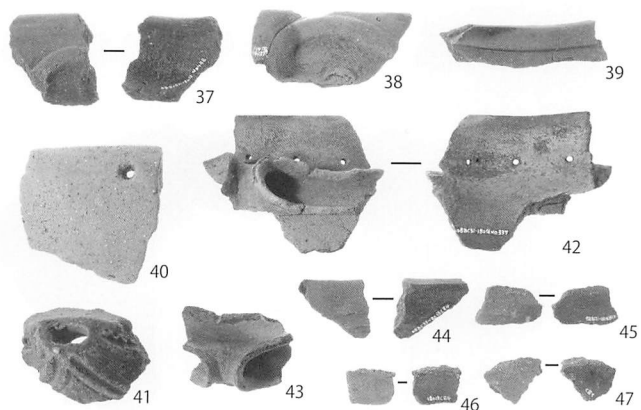


東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.34

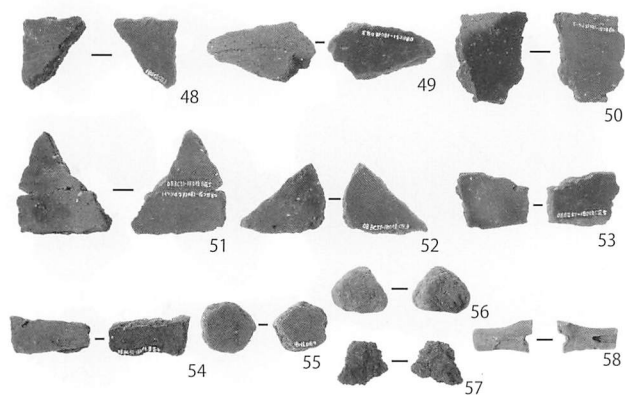
東台遺跡第 51 地点 (10)



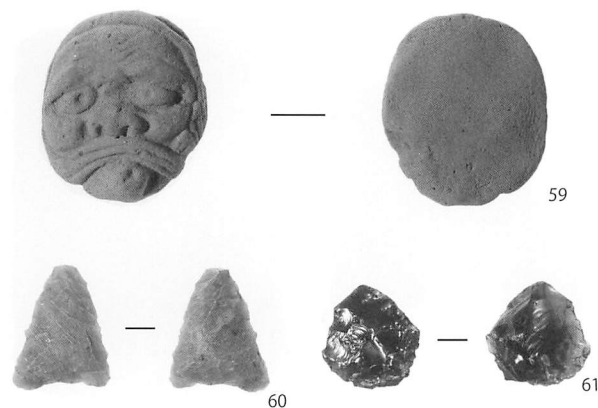
東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.35・36



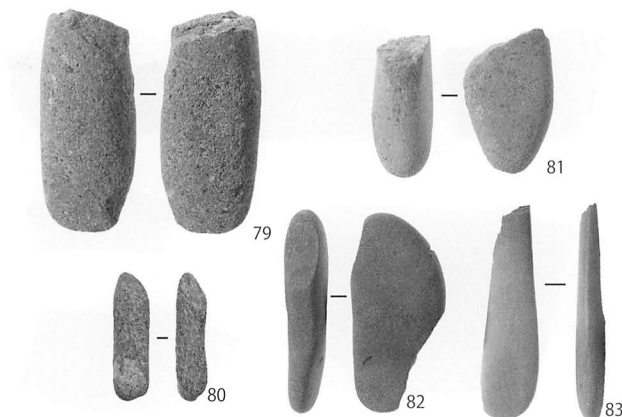
東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.37 ~ 47



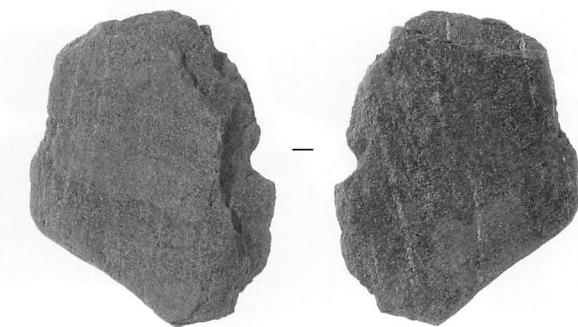
東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.48 ~ 58



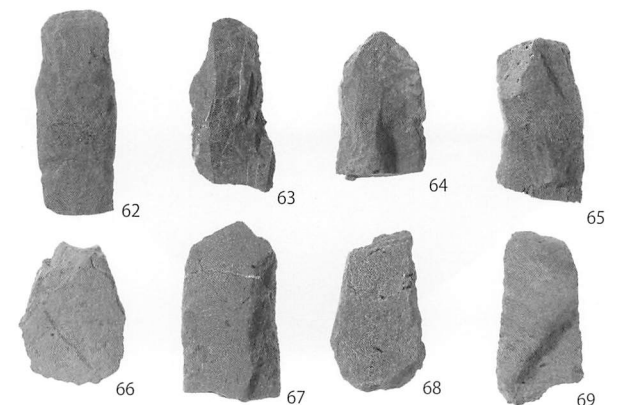
東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土遺物 No.59 ~ 61



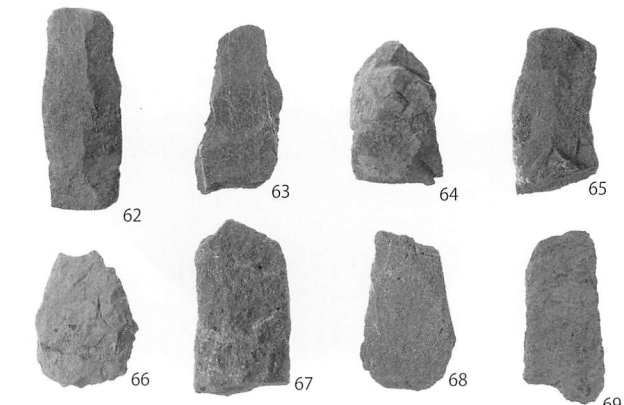
東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土石器 No.79 ~ 83



東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土石器 No.84

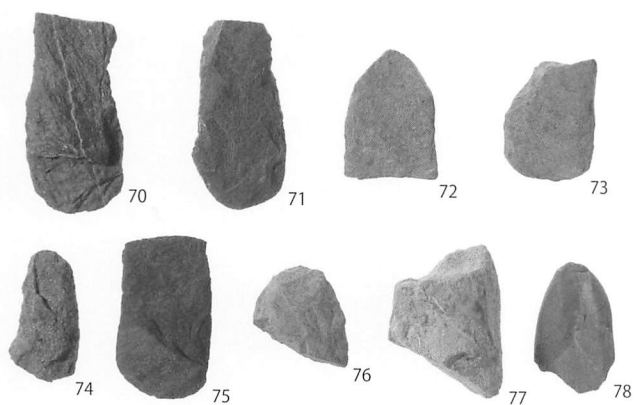


東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土石器 No.62 ~ 69 表

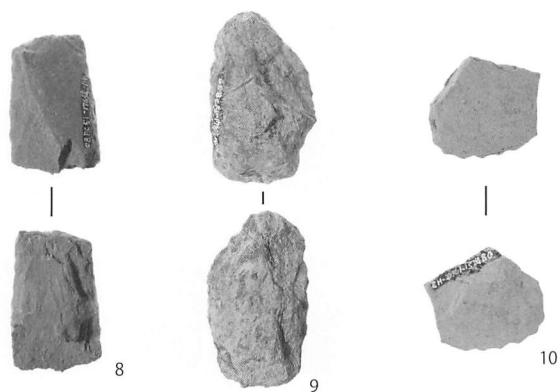


東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土石器 No.62 ~ 69 裏

東台遺跡第 51 地点 (11)

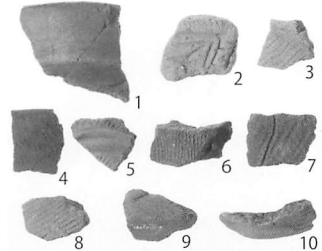


東台遺跡第 51 地点 180 号住居跡出土石器 No.70 ~ 78 表

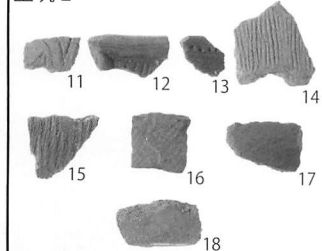


東台遺跡第 51 地点 182 号住居跡出土石器 No.8 ~ 10

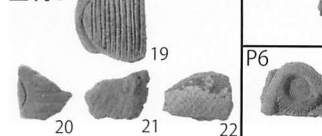
土坑 1



土坑 2



土坑 3



P3



P6



P7



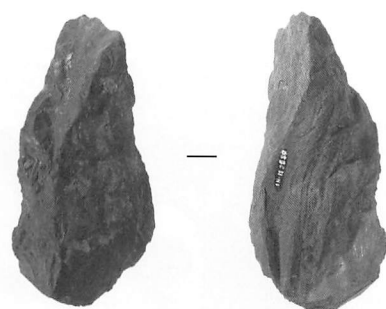
P8



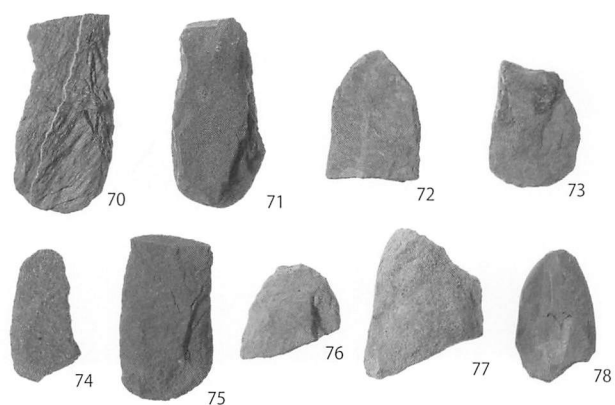
P8



東台遺跡第 51 地点土坑・ピット出土遺物



東台遺跡第 51 地点遺構外出土遺物 No.49

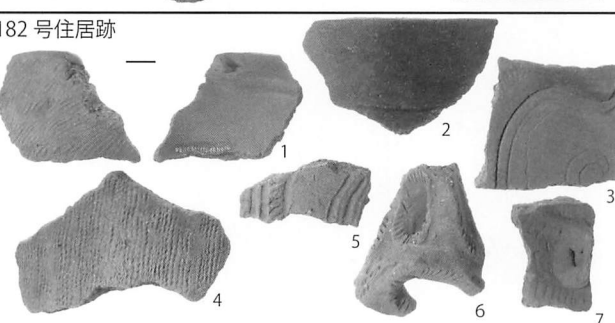


東台遺跡第 51 地点跡 180 号住居跡出土石器 No.70 ~ 78 裏

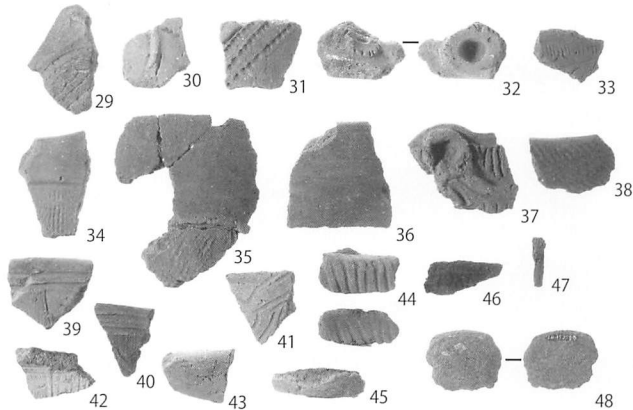
74 号住居跡



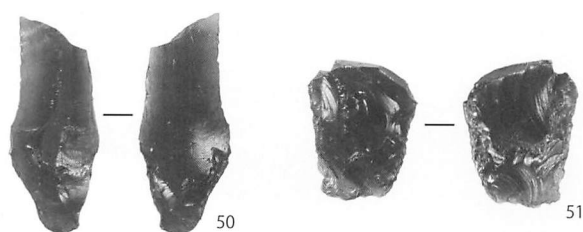
182 号住居跡



東台遺跡第 51 地点 74・182 号住居跡出土遺物



東台遺跡第 51 地点遺構外出土遺物 No.29 ~ 48



東台遺跡第 51 地点遺構外出土遺物 No.50・51

東久保遺跡第 66 地点	ふじみ野 2-19-4,19-5	112453	35° 51′ 48″	20080522	261	分譲住宅
		30-009	139° 30′ 49″	20080611		越村篤
	集落跡 / 溝 4 条、溝状遺構 2 基					
亀久保堀跡遺跡 第 31 地点	ふじみ野 2-15-4	112453	35° 51′ 45″	20090206	240	分譲住宅
		30-006	139° 30′ 53″	20090213		越村篤
	集落跡 / 古代～中世の堀跡 1 条 東西 800m に渡って存在する溝の一部を検出					
駒林遺跡第 7 地点	駒林土地区画整理事業地内 28 街区 5 画地	112453	35° 50′ 00″	20090203	54	個人住宅建設
		25-013	139° 31′ 41″	20090205		高崎直成
	集落跡 / 時期不詳の溝跡 3 条 東西方向の溝は 140 ～ 160m に渡って存在すると思われる溝の一部					
神明後遺跡第 33 地点	苗間 240-2	112453	35° 51′ 35″	20080425	209	個人住宅・ 宅地造成
		30-041	139° 31′ 39″	20080516		高崎直成
	集落跡 / 時期不明の落とし穴 1 基、中世以降の溝 6 条、井戸 2 基、土坑 38 基、ピット 16 基・ 近世～近代陶磁器、ガラス製品 中世以降の屋敷跡の一部検出					
神明後遺跡第 35 地点	苗間 293-6	112453	35° 51′ 38″	20080801	26	個人住宅建設
		30-041	139° 31′ 40″	20080801		高崎直成
	集落跡 / ピット 1					
東台遺跡第 51 地点	大井字東台 648-2	112453	35° 51′ 01″	20090310	297	個人住宅建設
		30-024	139° 31′ 28″	20090507		越村篤
	集落跡 / 縄文時代中期住居跡 6 軒、土坑 4 基・縄文土器、縄文時代石器 縄文時代中期環状集落の一部を検出					